



2025年度

神谷川橋

福山市新市町地内

橋梁修繕工事実施設計書

工
事
概
要

工事延長	L= 61.2m
橋長	L= 61.2m
有効幅員	W= 9.1m
表層工	A= 553m ²
区画線工	L= 58m
防護柵工	L= 185m
ひび割れ補修工	L= 32m
断面修復工	V= 0.49m ³
表面保護工	A= 9m ²
塗替塗装工	A= 270m ²

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（神谷川橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 現場代理人の常駐義務の緩和

現場代理人の工事現場への常駐義務緩和については、一定の要件を満たすと発注者が認める場合（※）とします。

（※）一定の要件を満たすと発注者が認める場合とは発注者との連絡体制を確保した上で、次の(1)から(4)のいずれかの条件に該当する場合です。

（必要に応じ、工事打合せ簿で協議により承諾を受けていること。）

- (1) 現場作業着手前までの期間
- (2) 工事の施工が一定期間、全面的に行われていない期間
- (3) 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- (4) 工事現場が完了した後、竣工検査までの期間

第6節 情報共有システム

1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。

2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>

3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。

4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。

5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること

6 工事情報共有システムの完了後のデータ受取方法について

作成者：受注者

納品方法：CD、DVD

作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第7節 工事に着手すべき期日について（特別な事情がある場合）

本工事は河川管理者との協議により、2025年（令和7年）10月20日までは、本体工事及び仮設工事を施工してはならない。

受注者は、この期間終了日の翌日から30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第9節 保安施設設置基準について

- ・工事標示板及び工事説明看板の挨拶文の記載については、広島県保安施設設置基準に準じたものにする。

第10節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 施工条件

第1節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：福山市上下水道局・NTT西日本（エクシオグループ株）・株中国バス
 - ・協議内容：水道管・電線管及びバス路線について
- なお、施工にあたっては、相互に関連する福山市市民局北部支所北部建設産業課発注工事の受注者間で、連絡調整を図り、協力して工事を安全かつ円滑に実施するものとする。

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 鋼部材の既設塗料に含まれる物質

- ・本橋の鋼部材に使用されている塗料には下表に示す物質が含まれていることが事前調査で判明している。

物質名	：含有量
鉛	：0.78%
P C B	：1.2mg/kg

第4節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第5節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第6節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：橋梁修繕に関する足場

第7節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第8節 特別管理産業廃棄物（既設塗料の剥離やかき落とし作業で発生する廃棄物）P C B含有量基準値超え

- ・本橋の鋼部材に使用されている塗料にはP C Bが含有しているため、塗替塗装の剥離やかき落とし作業で発生する既設塗料の廃棄物（以下、塗料廃棄物）は特別管理産業廃棄物となる。
 - ・特別管理産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。さらに、P C Bを含有する廃棄物は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」（以下、P C B特措法）を厳守し、適正に処理しなければならない。
 - ・塗料廃棄物は鋼製のペール管に密閉して保管し、速やかに処分するものとする。また、使用した作業服等の保護具も同様に保管して処分するものとする。
- なお、本工事における作業服等の防護具の購入・処分の積上げ数量は、対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な数量を見込んでいます。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による防護具の購入・処分の積上げ数量の増加に対する変更は行わない。
- ・上記のほか、塗料廃棄物の保管・収集・運搬については、「低濃度P C B廃棄物収集・運搬ガイドライン（令和25年6月）」に基づいて行うものとするが、密閉保管後の運搬処分は、別途業務委託するため、本工事では見込んでいない。

第3章 その他

第1節 福山市週休2日適用工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について

- 1 福山市週休2日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。
 - (1) 「週休2日」とは、次のアからウまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。
 - ア 「完全週休2日(土日)」とは、対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。
 - イ 「月単位の週休2日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上)のものを用いる。以下同じ。)以上であるものをいう。
 - ウ 「通期の週休2日」とは、対象期間内において現場閉所等の日数が4週8休以上のものを用いる。
 - (2) 「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (3) 「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (4) 「対象期間」とは、工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
 - (5) 「発注者指定型」とは、週休2日適用工事として発注者が指定するものをいう。
 - (6) 「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休2日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。
- 2 週休2日は、次のアからウまでに定める区分に応じ、各号に定めるところにより実施するものとする。
 - ア 完全週休2日(土日)
 - 1 (1)アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。
 - イ 月単位の週休2日
 - 1 (1)イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月においては、当該

月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実施できるものとする。

ウ 通期の週休2日

1 (1)ウに定めるところにより実施するものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 発注者指定型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

- 11 受注者希望型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の区分に応じて完全週休2日（土日）（港湾工事を除く。）又は月単位の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成したと認めるとき、当該週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

12 土木工事（港湾工事を含む。）に係る経費の補正については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）及び土木工事標準単価の補正係数の表に定める補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、月単位の週休2日を達成した場合に限り、第2号に定める補正係数及び別表港湾工事市場単価の補正係数の表に定める補正係数により、経費の補正を行うものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03

(2) 月単位の週休2日

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.01（港湾工事を除く。）
ウ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
エ 現場管理費	1.02（港湾工事を除く。）
オ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

13 12(1)ア及び12(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

14 土木工事については、完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日を達成したとき、港湾工事については、月単位の週休2日を達成したときに工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

15 週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休2日	完全 週休2日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.01

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 の週休2日
底面工	1.01
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.02
足場工	1.01
鉄筋工	1.02
吊鉄筋工	1.02
型枠工	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.02
止水板工	1.02
上蓋工	1.02
伸縮目地工	1.01
係船柱取付	1.02
防舷材取付	1.02
車止・縁金物取付	1.02
係船柱撤去	1.02
防舷材撤去	1.02
車止撤去	1.02
電気防食取付	1.02
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.02
防砂目地板取付工（水中施工）	1.02
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.02
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.01
ペトロラタム被覆	1.02
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.02
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.02
かき落とし工	1.02
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.01
汚濁防止枠設置・撤去	1.01
灯浮標設置・撤去	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.00
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.02
異形ブロック製作型枠工	1.02
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.02
異形ブロック製作給熱養生	1.01

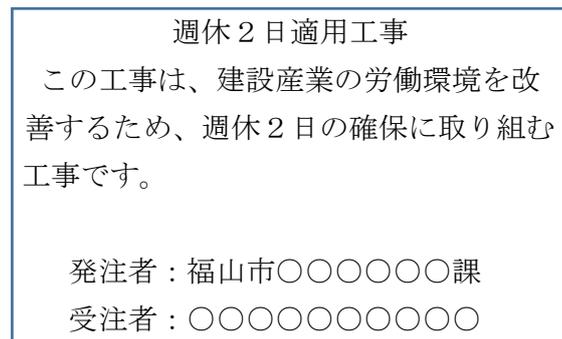
土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位の週休2日	完全週休2日(土日)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02

(1)



(2)



(A 3 サイズ以上)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 76 福山市(新市) 00-07.08.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co ……コンクリート As ……アスファルト DT ……ダンプトラック BH ……バックホウ CC ……クローラクレーン TC ……トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代 08 鋼橋架設工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3
舗装版破碎 【舗装版種別, 舗装版厚】	1	式			Y1G03040202 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	480	m2			SPK25040306 00 単第0 -0001 表
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03040205 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離7.5km以下(6.0km超)	24	m3			SPK25040155 00 単第0 -0002 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03040206 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
アスファルト殻処分費 再資源化施設搬入	57	t			F000000002 00
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G03040211 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	482	m2			SPK25040244 00 単第0 -0003 表
区画線工	1	式			Y1G030901 レベル3
溶融式区画線 【施工方法区分,規格・仕様区分,厚さ】 【排水性舗装用の有無】		m			Y1G03090101 レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	52	m			SDT00001 00 単第0 -0004 表
区画線設置(溶融式) ゼブラ_45cm	6	m			SDT00001 00 単第0 -0005 表
薄層カラー舗装工	1	式			Y1G030406 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎 【舗装版種別,舗装版厚】		m2			Y1G03040602レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	71	m2			SPK25040306 00 単第0 -0001 表
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03040605レベル4
殻運搬 舗装版破碎 D1D区間無し 運搬距離7.5km以下(6.0km超)	0.7	m3			SPK25040155 00 単第0 -0002 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03040606レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻処分費 再資源化施設搬入	2	t			F0000000002 00
薄層カラー舗装 【舗装色,規格・仕様】		m2			Y1G03040607レベル4
樹脂モルタル舗装工 厚8mm超え10mm以下 [規]50m2以上	71	m2			SS000215 00 単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵工					Y1G0307 レベル2
	1	式			
防護柵撤去工					Y1G032701 レベル3
	1	式			
防護柵撤去(ガードレール)					Y1G03270101 レベル4
		m			
高欄撤去					SPK25040122 00
	61	m			単第0 -0007 表
現場発生品運搬 【発生材種類】					Y1G03271603 レベル4
		回			
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)					SPK25040411 00
	0.97	t			単第0 -0008 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ H3					F0000000030 00
	0.71	t			
スクラップ H1					F0000000004 00
	0.26	t			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工					Y1G032706 レベル3
	1	式			
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】					Y1G03270601 レベル4
		m3			
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 人力施工					SDT00033 00
	8	m3			単第0 -0009 表
殻運搬 構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)					SPK25040155 00
	8	m3			単第0 -0010 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻処分費(有筋) 再資源化施設搬入					F000000003 00
	21	t			202506単価
現場発生品運搬 【発生材種類】					Y1G03271603 レベル4
		回			
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)					SPK25040411 00
	0.16	t			単第0 -0008 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外],現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
スクラップ H1					F0000000004 00
	0.16	t			
防止柵工					Y1G030703 レベル3
	1	式			
転落(横断)防止柵 【柵高,作業区分】					Y1G03070305 レベル4
		m			
橋梁用高欄 高欄(各種) 組立式 塗装					SPK25040298 00
	124	m			単第0 -0011 表
橋梁用高欄 高欄(各種) 組立式 塗装					SPK25040298 00
	61	m			単第0 -0012 表
橋梁付属物工					Y1G0321 レベル2
	1	式			
伸縮継手工					Y1G032101 レベル3
	1	式			
鋼・ゴム製伸縮装置補修 【工種,伸縮装置本体型式】 【仕様,伸縮装置本体材料の計上】					Y1G03210103 レベル4
		m			
伸縮装置工 シール材、バックアップ材					V0003 00
	1	式			単第0 -0013 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水施設工					Y1G032103 レベル3
	1	式			
排水柵 【柵規格】		箇所			Y1G03210301 レベル4
排水柵設置工 FRP製		箇所			V0009 00
	11	箇所			単第0 -0015 表
排水管 【管規格】		m			Y1G03210302 レベル4
排水管設置工		式			V0006 00
	1	式			単第0 -0017 表
橋梁補修工		式			Y1G0324 レベル2
	1	式			
ひび割れ補修工		式			Y1G032404 レベル3
	1	式			
充てん工法 【材料種類】		構造物			Y1G03240401 レベル4
ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長20m未満の場合		構造物			S1020031 00
	1	構造物			単第0 -0022 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
低圧注入工法 【材料種類】		構造物			Y1G03240402レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0023 表
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0024 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】		構造物			Y1G03240501レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.49m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0025 表
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工) [無]DID区間 運搬距離_7.5km以下(6.0km超)	0.5	m3			S1020051 00 単第0 -0026 表
殻運搬処分 【殻種別】		m3			Y1G03271601レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート殻処分費(無筋) 再資源化施設搬入	1	t			F0000000022 00
表面被覆工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理	1	橋			Y1G03240601 レベル4
下地処理 表面含浸工 10m2未満	1	橋			V0001 00 単第0 -0028 表
簡易清掃 表面含浸工 10m2未満	1	橋			V0010 00 単第0 -0029 表
上塗り材塗布 【材料種類】		橋			Y1G03240605 レベル4
表面含浸工 表面含浸材塗布(10m2未満) シラン系含浸材	1	橋			V0002 00 単第0 -0030 表
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
橋梁塗装工	1	式			Y1G032501 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
素地調整 【素地調整種類】		m2			Y1G03250101レベル4
循環式プラスト工法 1種ケレン・低濃度PCB・鉛対応 施工規模100m2以上500m2未満、安全費含む	1	式			V000002600 00 単第0 -0031 表
ペール缶 天蓋取り外し式バンドタイプ フタ・バンド付	54	個			F0000000067 00
下塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250102レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	270	m2			SDT00029 00 単第0 -0034 表
塗替塗装 下塗り塗装	270	m2			SDT00029 00 単第0 -0035 表
中塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250103レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	270	m2			SDT00029 00 単第0 -0036 表
上塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250104レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 上塗り塗装					SDT00029 00
仮設工	270	m2			単第0 -0037 表
工事用道路工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場 【安全ネットの有無】	1	式			Y1G032801 レベル3
補修用足場工	1	式			Y1A04140806 レベル4
足場 【安全ネットの有無】		m			V0020 00
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 単管足場 安全ネット設置	110	掛m2			単第0 -0038 表
防護施設工	1	式			Y1G03210304 レベル4
仮囲い 【作業区分,基礎形式,高さ】					S0380 00
		m			単第0 -0046 表
					Y1G032816 レベル3
					Y1G03281602 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工（鉛対応環境対策資材・ばく露防止対 プラスト2ノズル対応 日当たり施工量68m2	1	式			V000003001 00 単第0 -0047 表
仮設費（鉛対応安全衛生保護具） 各ばく露防止対策	1	式			V000003100 00 単第0 -0048 表
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G03282101 レベル4
交通誘導警備員B	276	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
安全費					Z0009
安全費	1	式			YZZ09 レベル2
安全費	1	式			YZZ09001 レベル3

本工事費 内訳表

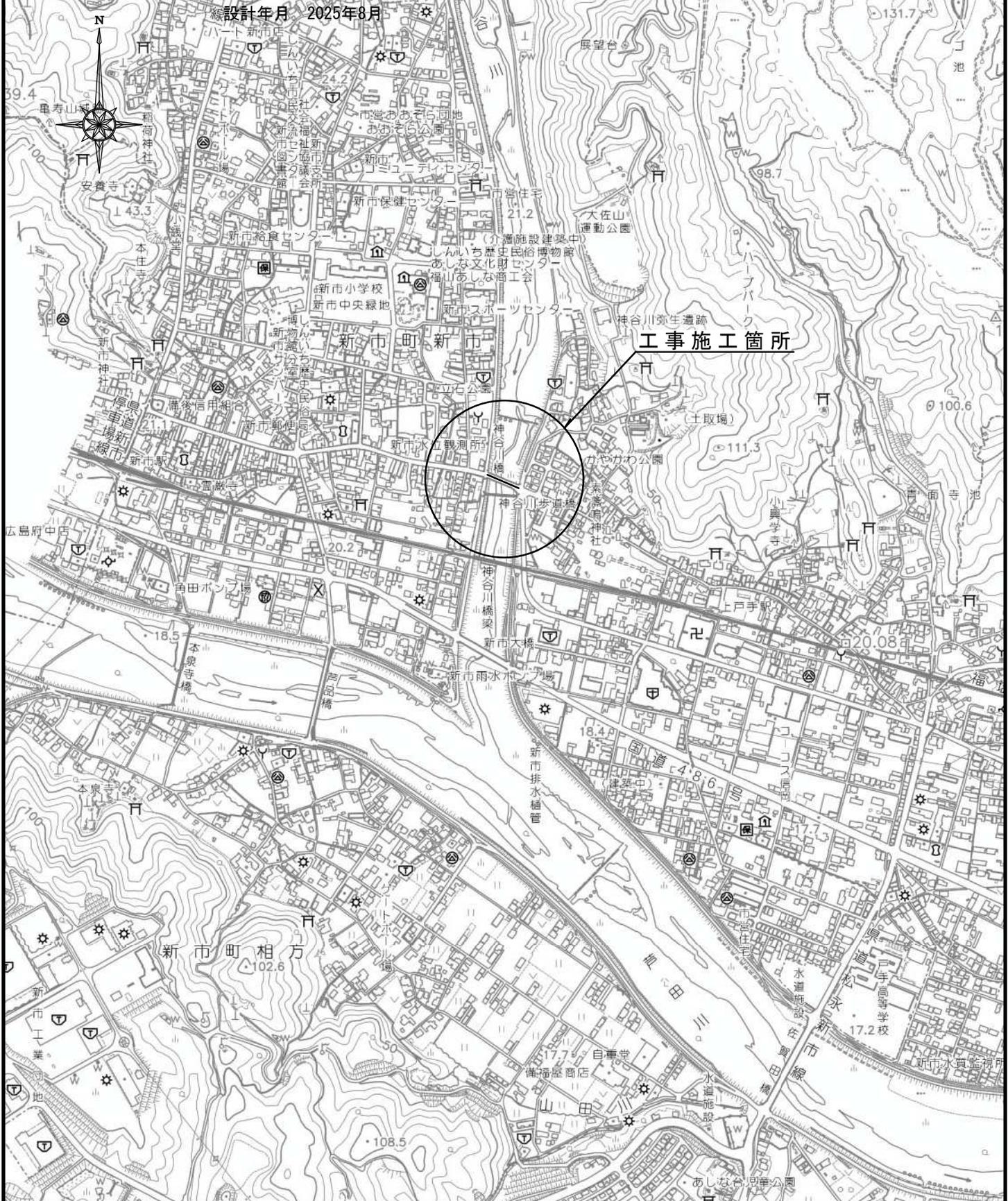
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
呼吸用保護具等費用					YZZ09001002レベル4
		式			
安全費（鉛対応安全衛生保護具・呼吸用保護 ブラスト2ノズル対応 日当たり施工量68m2	1	式			V000003000 00 単第0 -0049 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

図面番号	1/29	縮尺	1:10000
工種	橋梁修繕工事		
種別	位置図	番号	1/1
路線名 河川名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

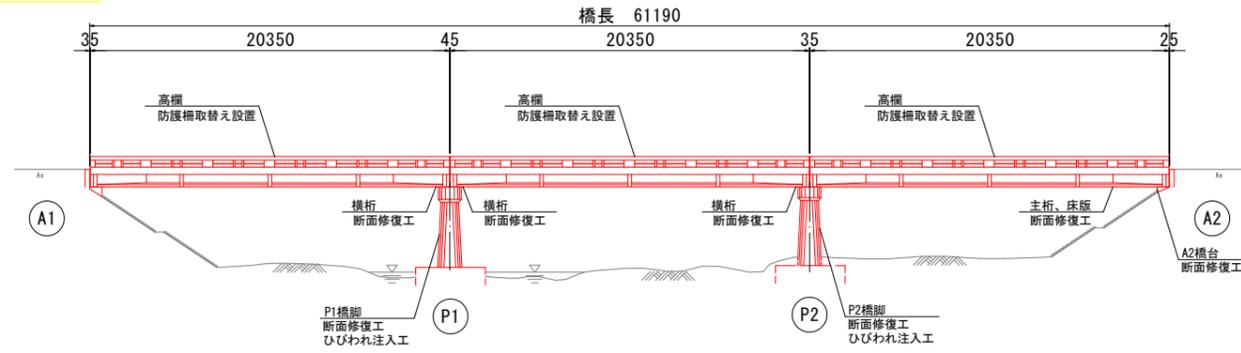
設計年月 2025年8月



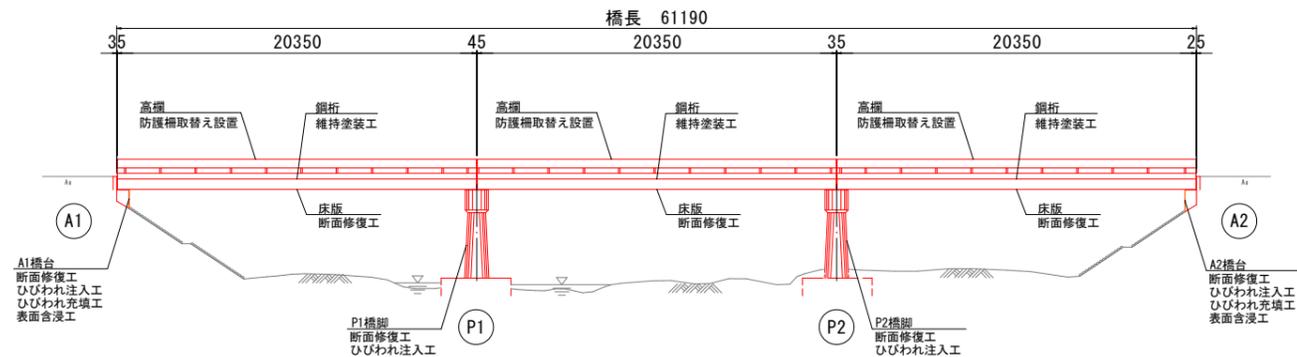
図面番号	2 / 29	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	補修一般図	番	1 / 1
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 補修一般図

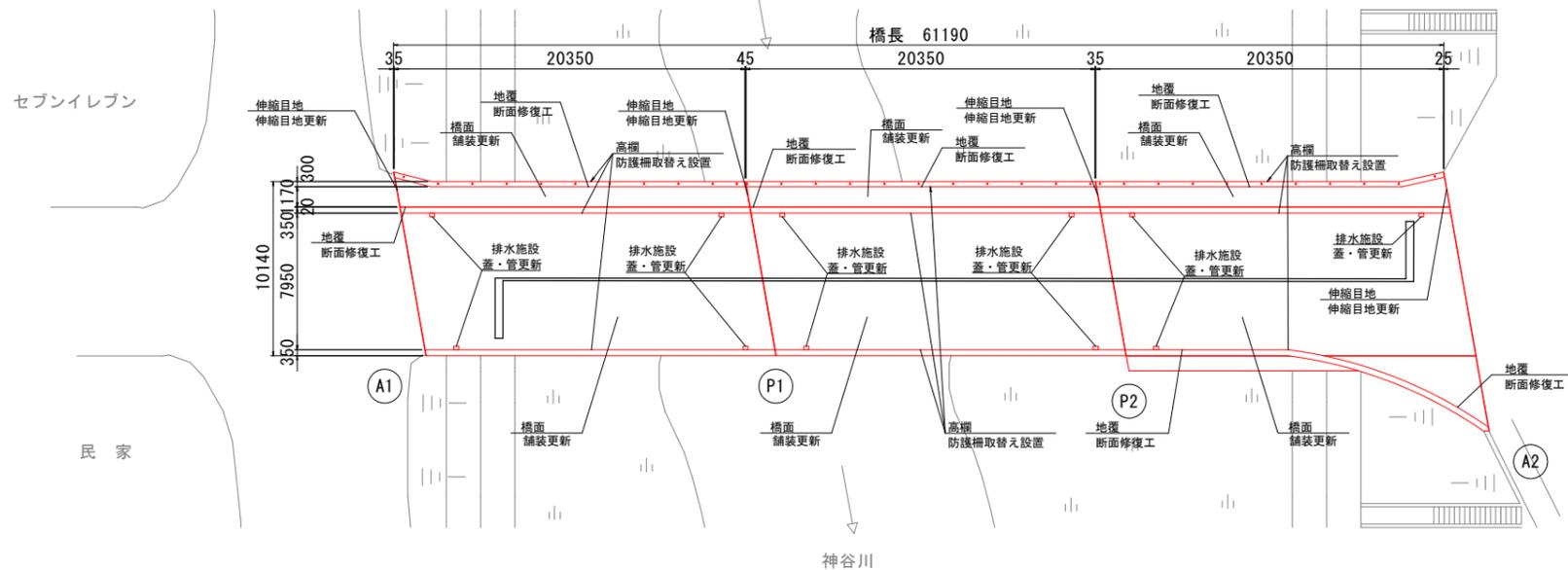
車道部側面図 S=1:200



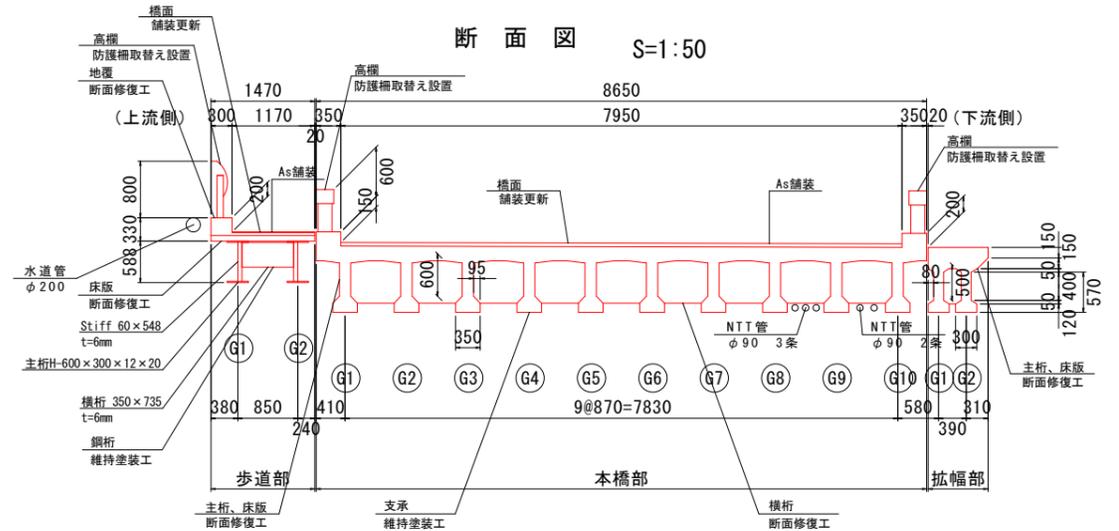
歩道部側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



断面図 S=1:50



	橋梁諸元	
	車道部	歩道部
橋梁名	神谷川橋	
所在地	福山市新市町	
路線名	新市福田幹線	
架橋年度	1962年	不明
適用示方書	不明	不明
活荷重・等級	不明	群衆荷重
上部工形式	本橋 ホリステーション方式単純PCT桁橋 (3連) 拡幅橋 プレテンション方式単純PCT桁橋	単純H型鋼橋 (3連)
下部工形式	逆T式橋台 壁式橋脚	逆T式橋台 壁式橋脚
基礎工形式	橋台 不明、橋脚 ケーソン基礎	橋台 不明、橋脚 ケーソン基礎
路下条件	神谷川	
橋長	61.19m	61.19m
幅員	全幅員 8.65m (本橋部)	全幅員 1.47m (歩道部)
点検履歴	2019年 11月	2019年 11月
補修履歴	橋脚断面補修 2007年 バチ部拡幅 不明	前回維持塗装 (A系) 1992年

補修工一覧表

部位	工種	工種
高欄	防護柵取替え設置	鋼製防護柵
地覆	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
橋面	舗装更新	アスファルト舗装 推定t=5cm 樹脂モルタル舗装
伸縮目地	伸縮目地更新	伸縮目地止水材
鋼桁	維持塗装工	Rc-I系
支承	維持塗装工	Rc-I系
主桁、床版、横桁	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
A1橋台、A2橋台	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	ひびわれ注入工	エポキシ3種
	ひびわれ充填工	可とうエポキシ樹脂
P1橋脚、P2橋脚	表面保護工	シラン系含浸材
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
排水施設	ひびわれ注入工	エポキシ1種
	蓋・管更新	

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

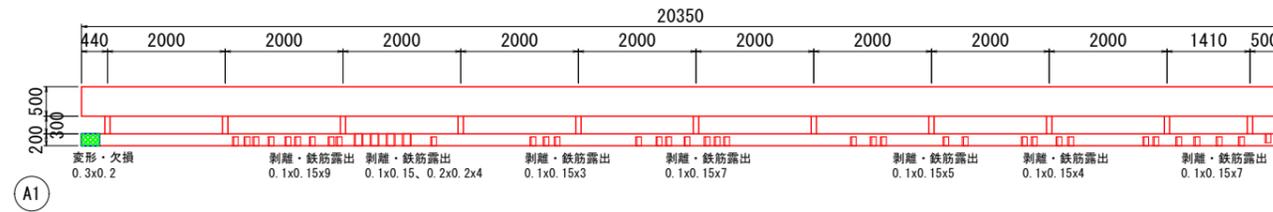
図面番号	3 / 29	縮尺	1:60
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その1)	番号	1 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 補修図(その1)

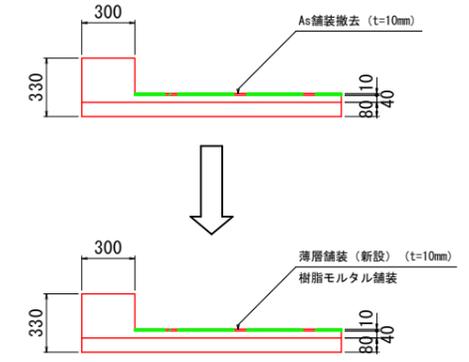
S=1:60

(A1-P1径間)
(地覆:断面修復工)
(橋面:舗装更新)

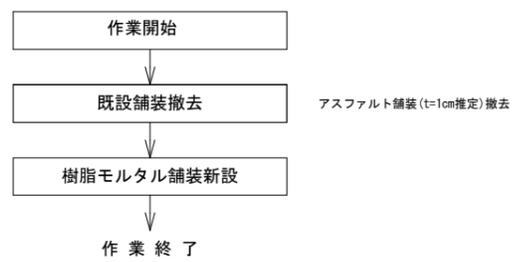
歩道部高欄上流側面図



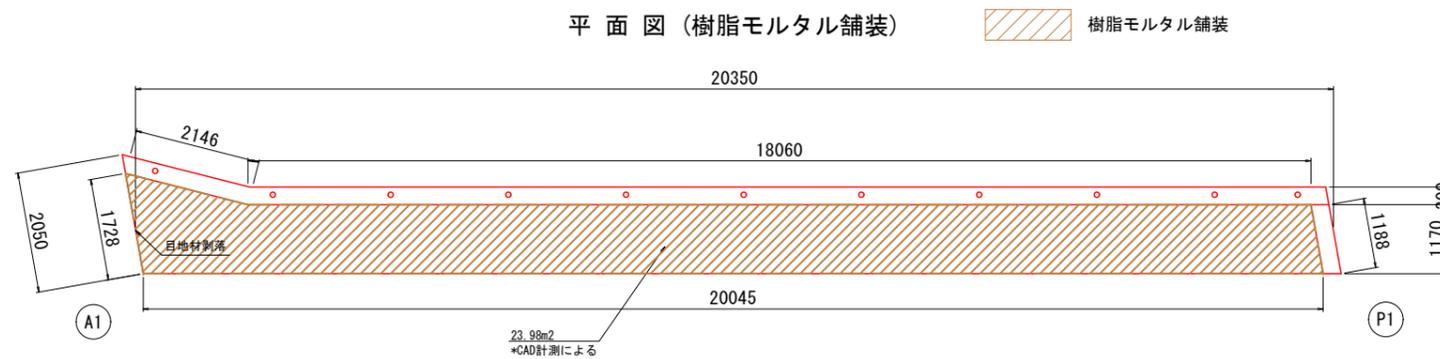
樹脂モルタル舗装詳細図



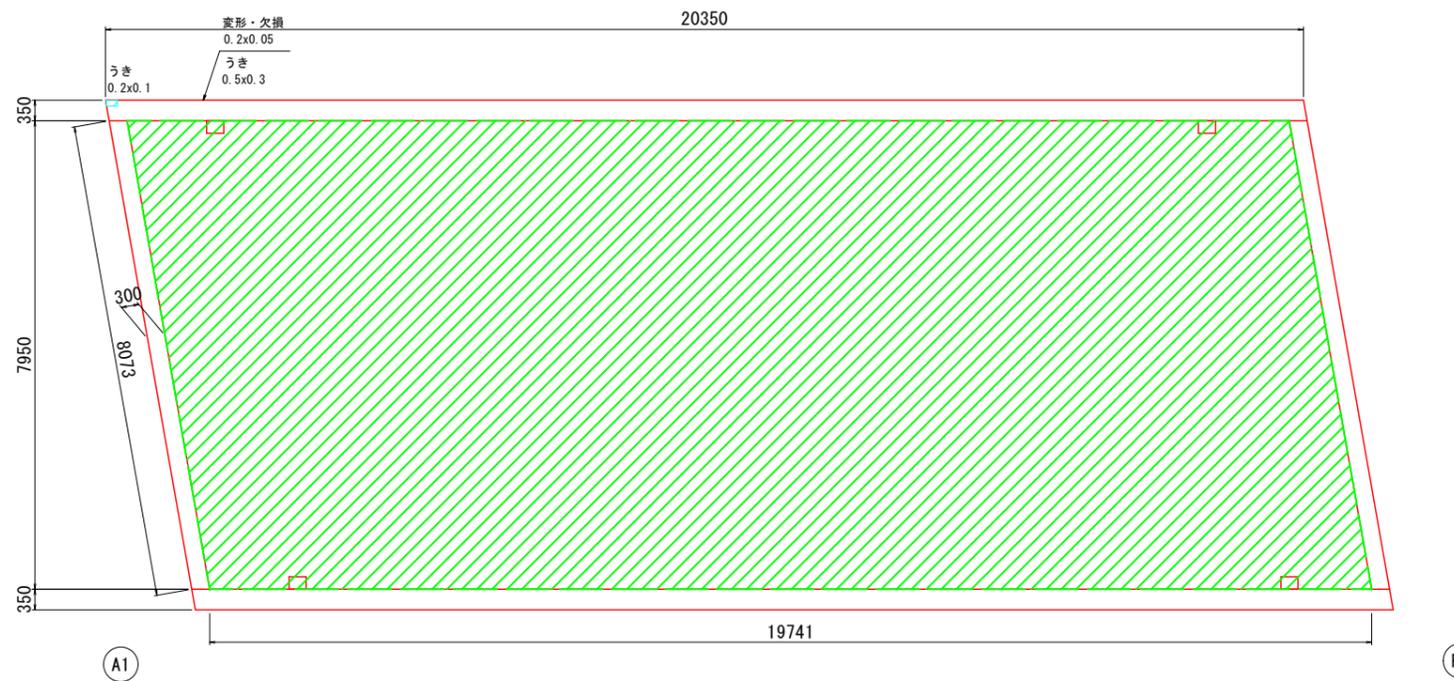
歩道部橋面補修 フローチャート



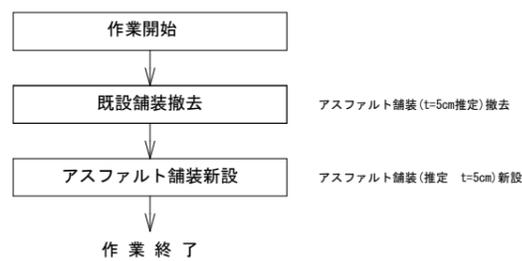
平面図 (樹脂モルタル舗装)



平面図 (アスファルト舗装)



車道部橋面補修 フローチャート



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工 (修復深さ5cm)
うき 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		
剝離・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	4 / 29	縮尺	1:60
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その2)	番号	2 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 補修図(その2)

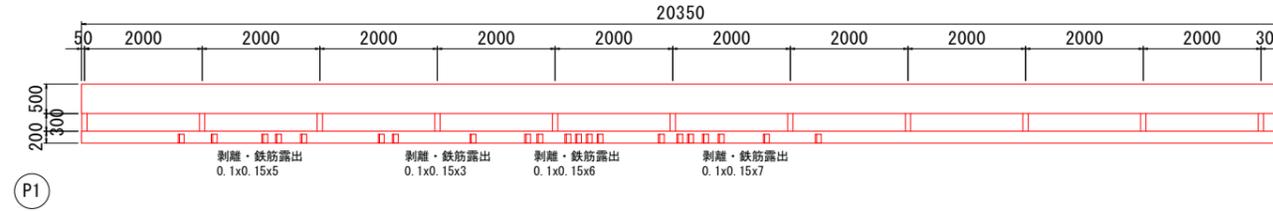
S=1:60

(P1-P2径間)

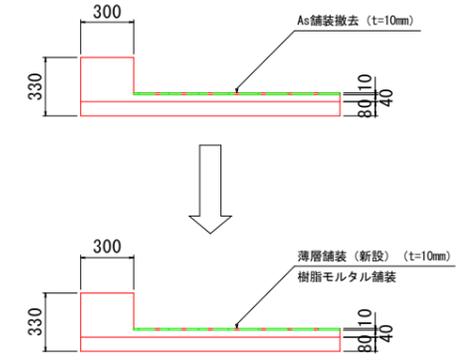
(地覆: 断面修復工)

(橋面: 舗装更新)

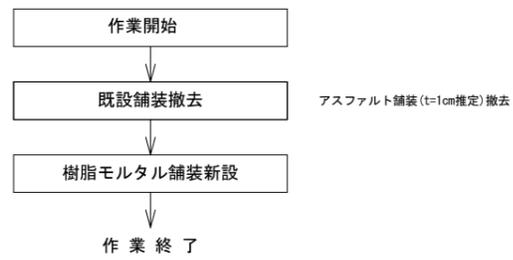
歩道部高欄上流側面図



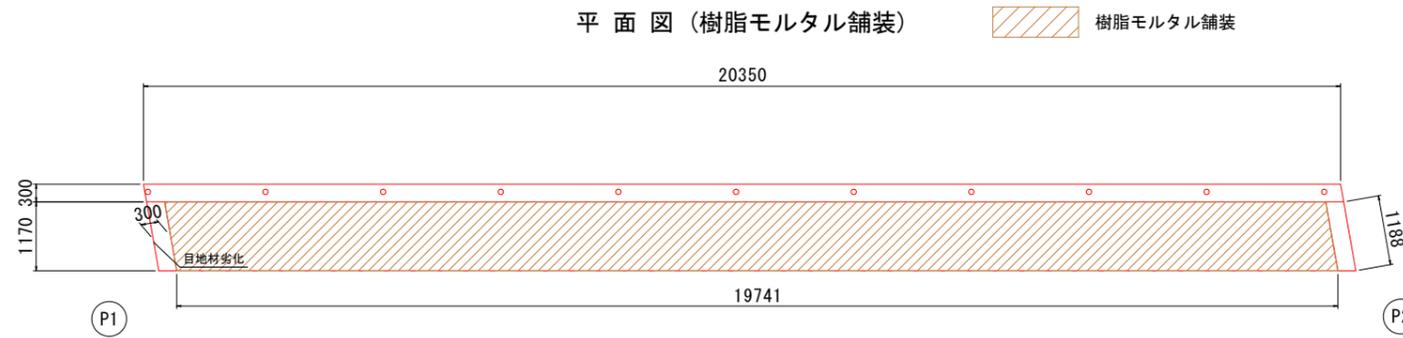
樹脂モルタル舗装詳細図



歩道部橋面補修 フローチャート



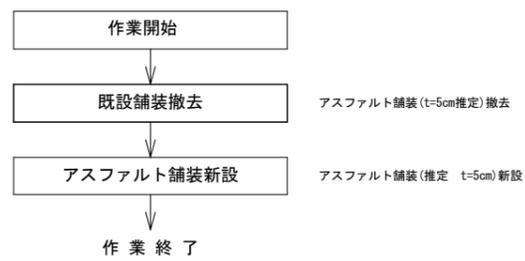
平面図 (樹脂モルタル舗装)



平面図 (アスファルト舗装)



車道部橋面補修 フローチャート



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工 (修復深さ5cm)
剝離・鉄筋露出 図中の数値は幅 x 高さ (m)を示す。		

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	5 / 29	縮尺	1:60
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その3)	番号	3 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 補修図(その3)

S=1:60

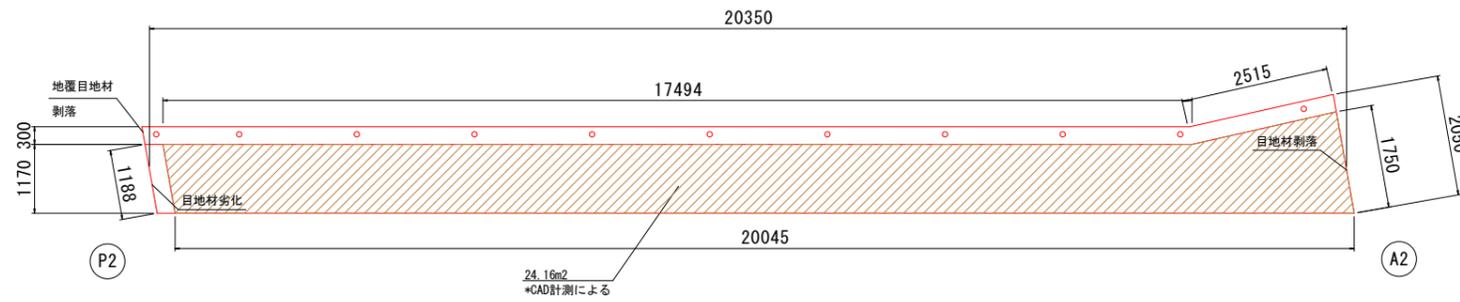
(P2-A2径間)
(地覆: 断面修復工)
(橋面: 舗装更新)

歩道部高欄上流側面図



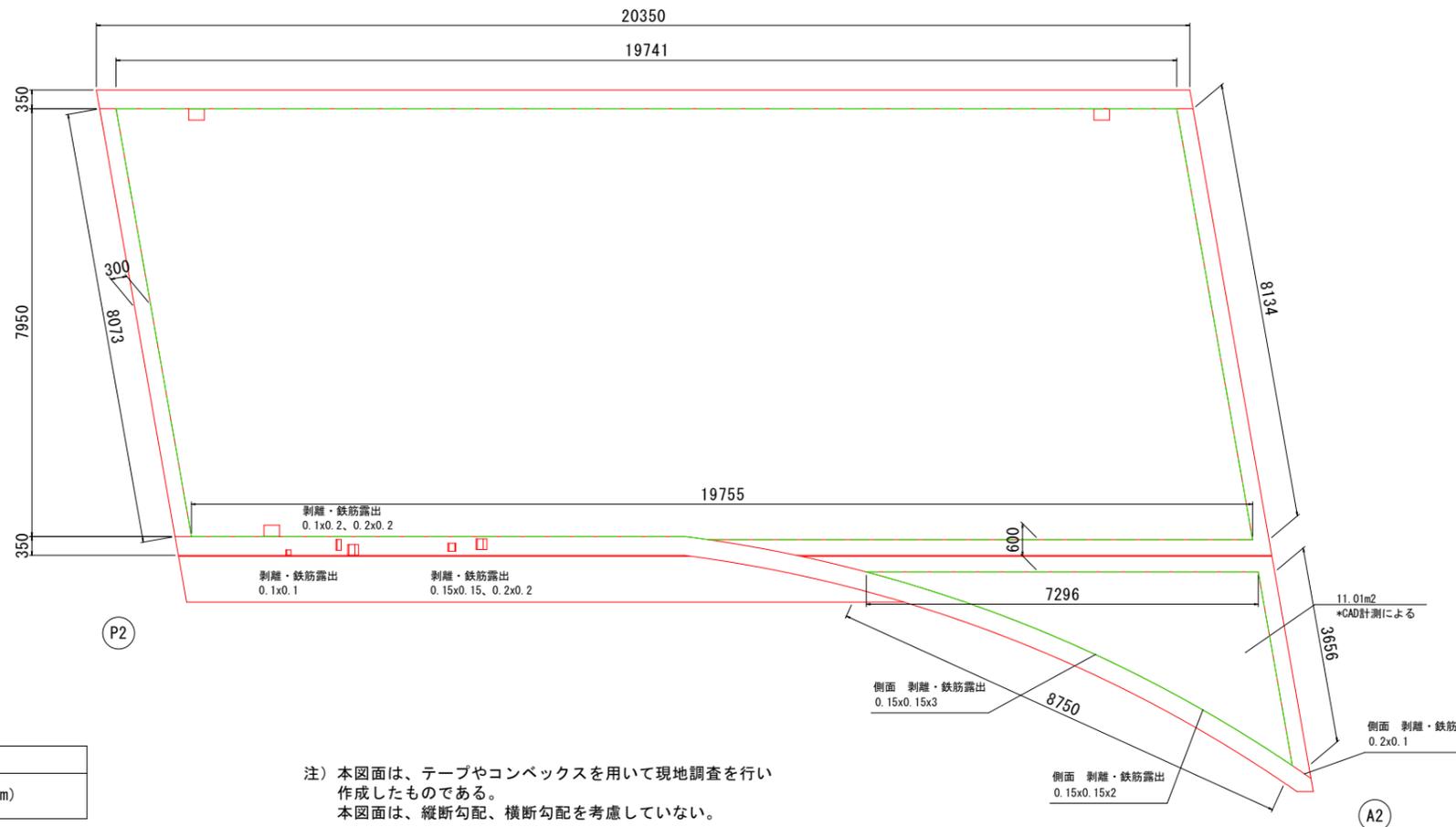
平面図(樹脂モルタル舗装)

樹脂モルタル舗装

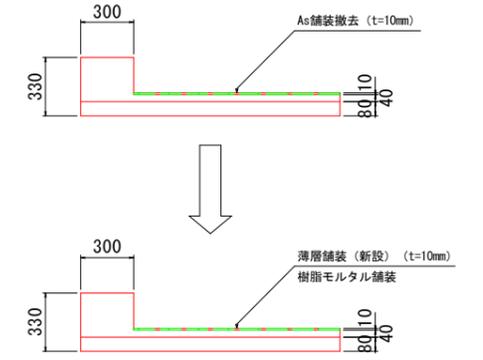


平面図(アスファルト舗装)

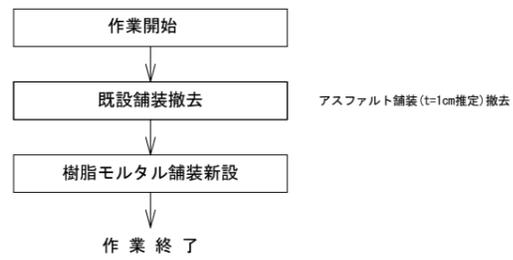
アスファルト舗装



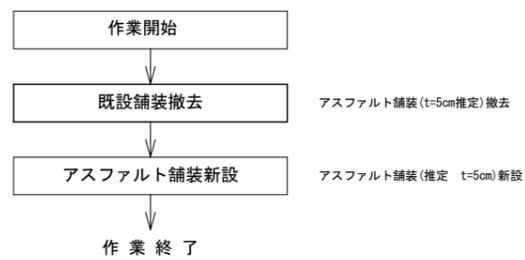
樹脂モルタル舗装詳細図



歩道部橋面補修 フローチャート



車道部橋面補修 フローチャート



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
剥離・鉄筋露出 図中の数値は幅 x 高さ (m) を示す。		断面修復工 (修復深さ5cm)

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	6 / 29	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その4)	番	4 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

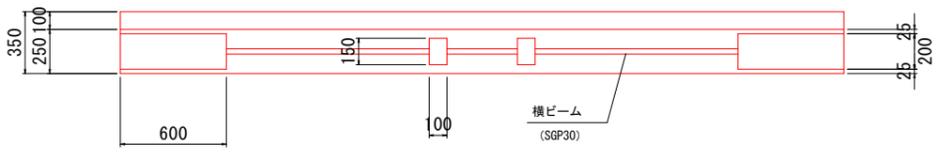
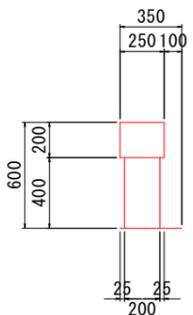
神谷川橋 補修図(その4) S=1:50

(A1-A2径間)

(車道部高欄：防護柵撤去図)



高欄防護柵詳細図 S=1:20



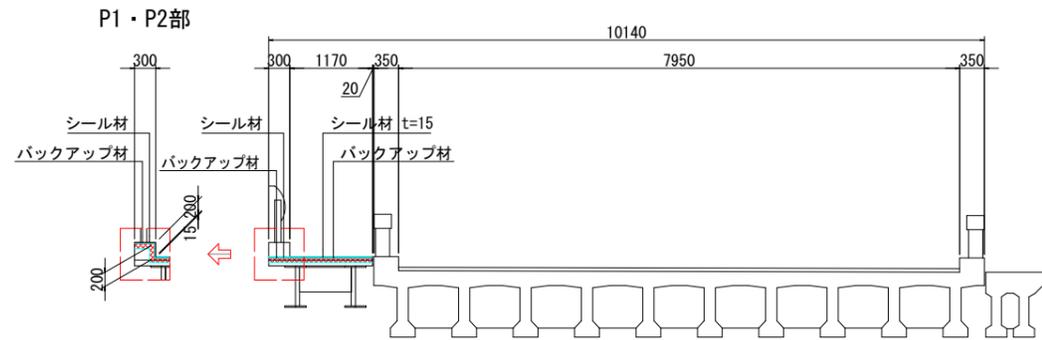
注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	7 / 29	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その5)	番号	5 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

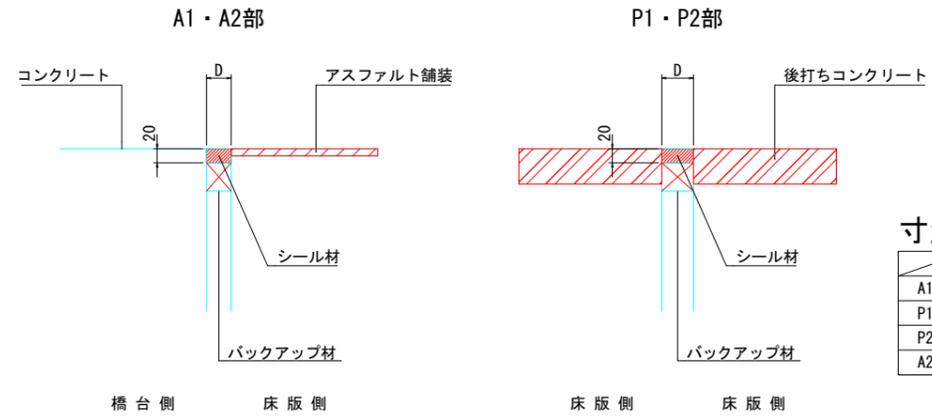
神谷川橋 補修図(その5)

(歩道部伸縮装置：伸縮目地更新)

断面図 S=1:50

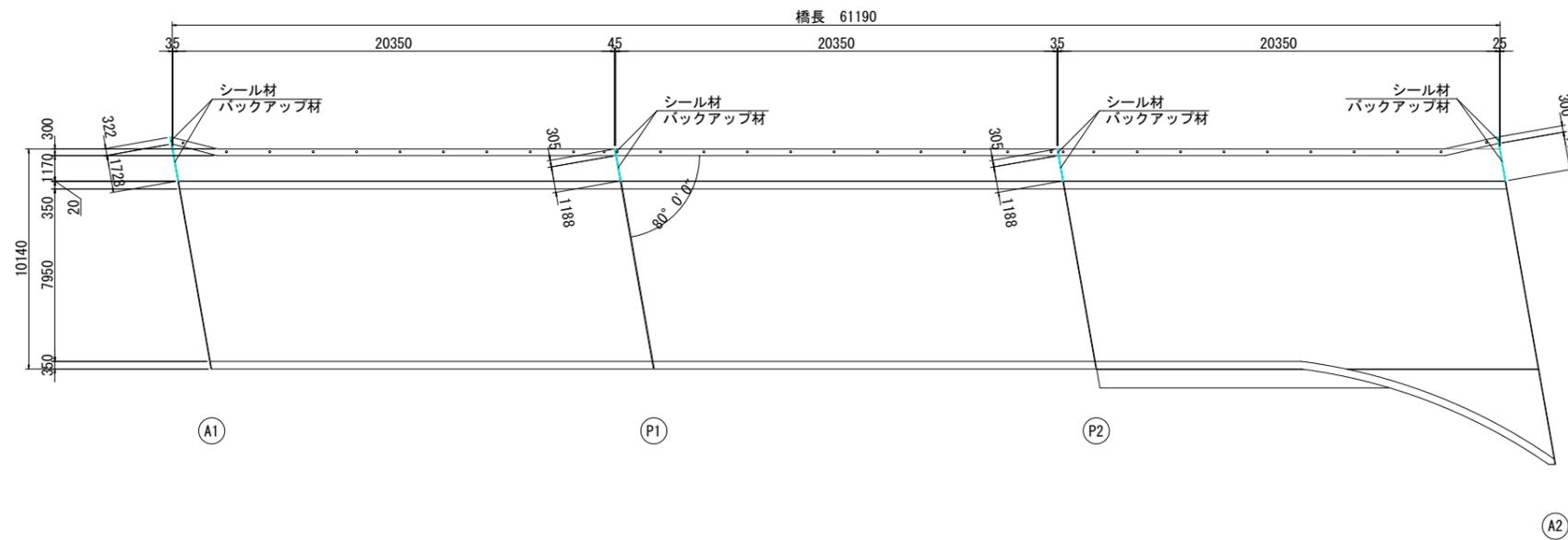


遊間処理断面図 S=1:5

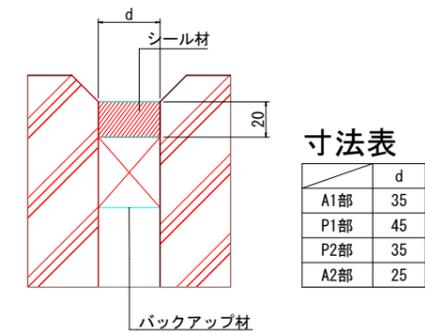


注1) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
 注2) 既設伸縮装置は、A1・A2部はノージョイント、P1・P2部は簡易鋼製ジョイントを想定。

平面図 S=1:150



地覆部断面図 S=1:2



数量表 (設置)

名称	品名又は仕様	単位	数量	備考
施工延長	-	m	7.480	
シール材	シリコン系	L	5.164	
バックアップ材	ウレタン又はポリエチレンフォーム	L	10.328	

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
 本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	8 / 29	縮尺	1 : 50
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その6)	番 号	6 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

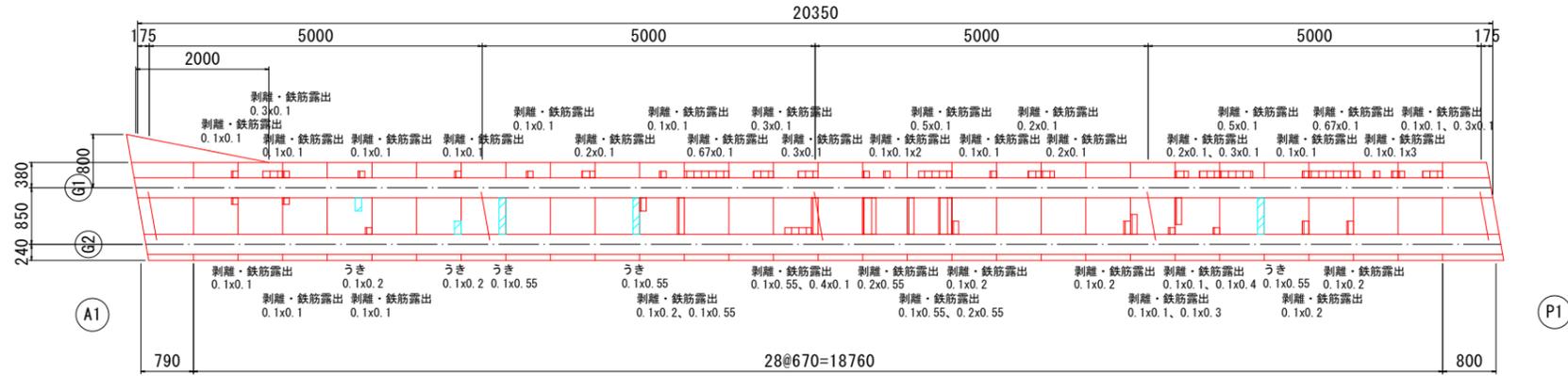
神谷川橋 補修図(その6)

S=1:50

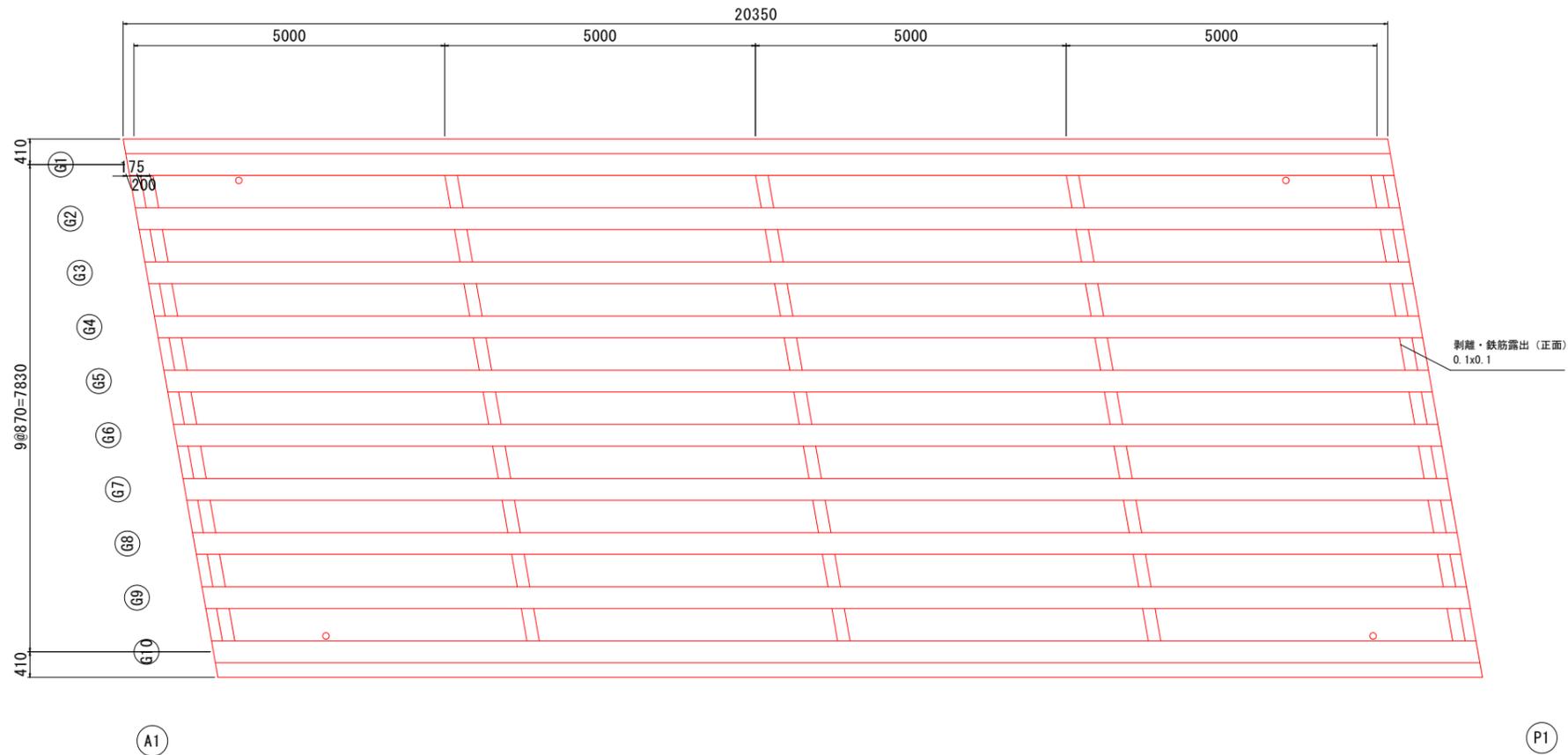
(A1-P1径間)

(床版・横桁：断面修復工)

平面図



平面図



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
うき 図中の数値は幅 x 高さ (m) を示す。		断面修復工 (修復深さ5cm)
剥離・鉄筋露出 図中の数値は幅 x 高さ (m) を示す。		

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	9 / 29	縮尺	1 : 50
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その7)	番 号	7 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

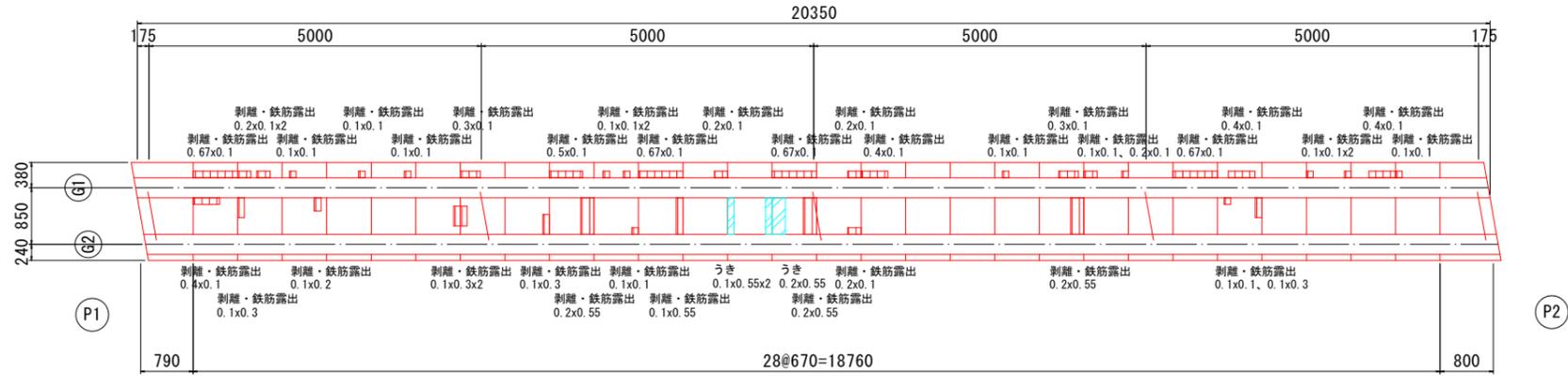
神谷川橋 補修図(その7)

S=1:50

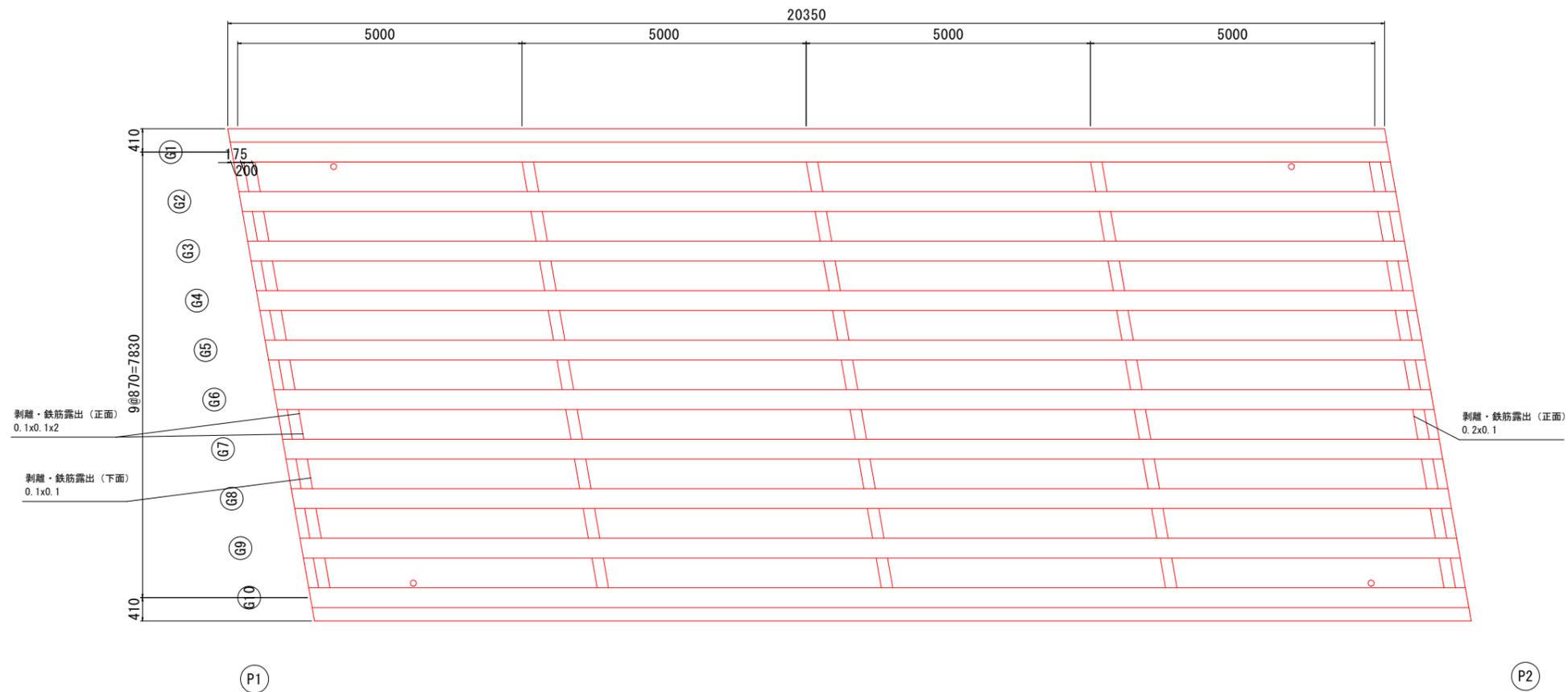
(P1-P2径間)

(床版・横桁：断面修復工)

平面図



平面図



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
うき 図中の数値は幅 x 高さ (m)を示す。		断面修復工 (修復深さ5cm)
剥離・鉄筋露出 図中の数値は幅 x 高さ (m)を示す。		

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	10 / 29	縮尺	1 : 50
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その8)	番	8 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

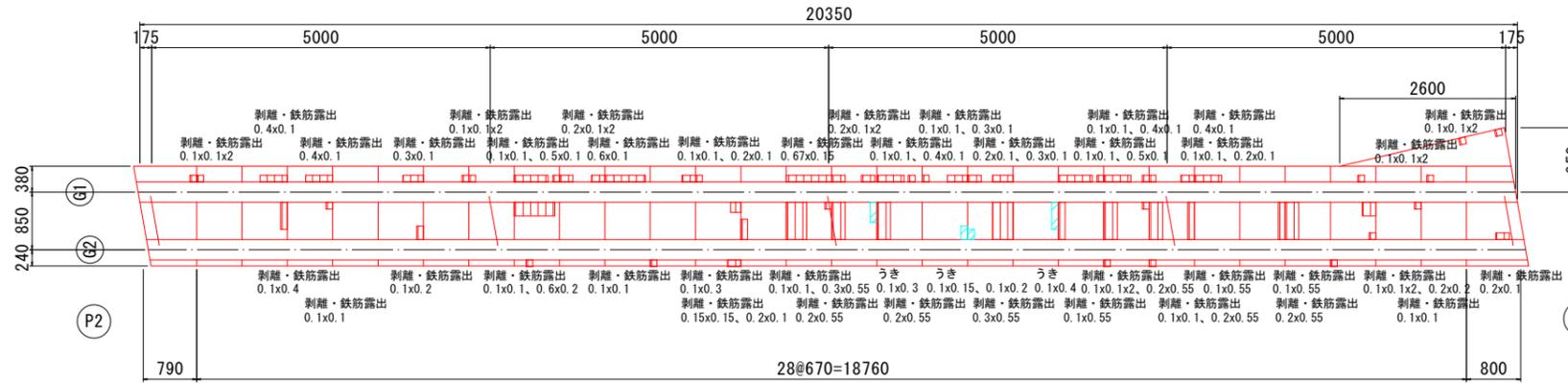
神谷川橋 補修図(その8)

S=1:50

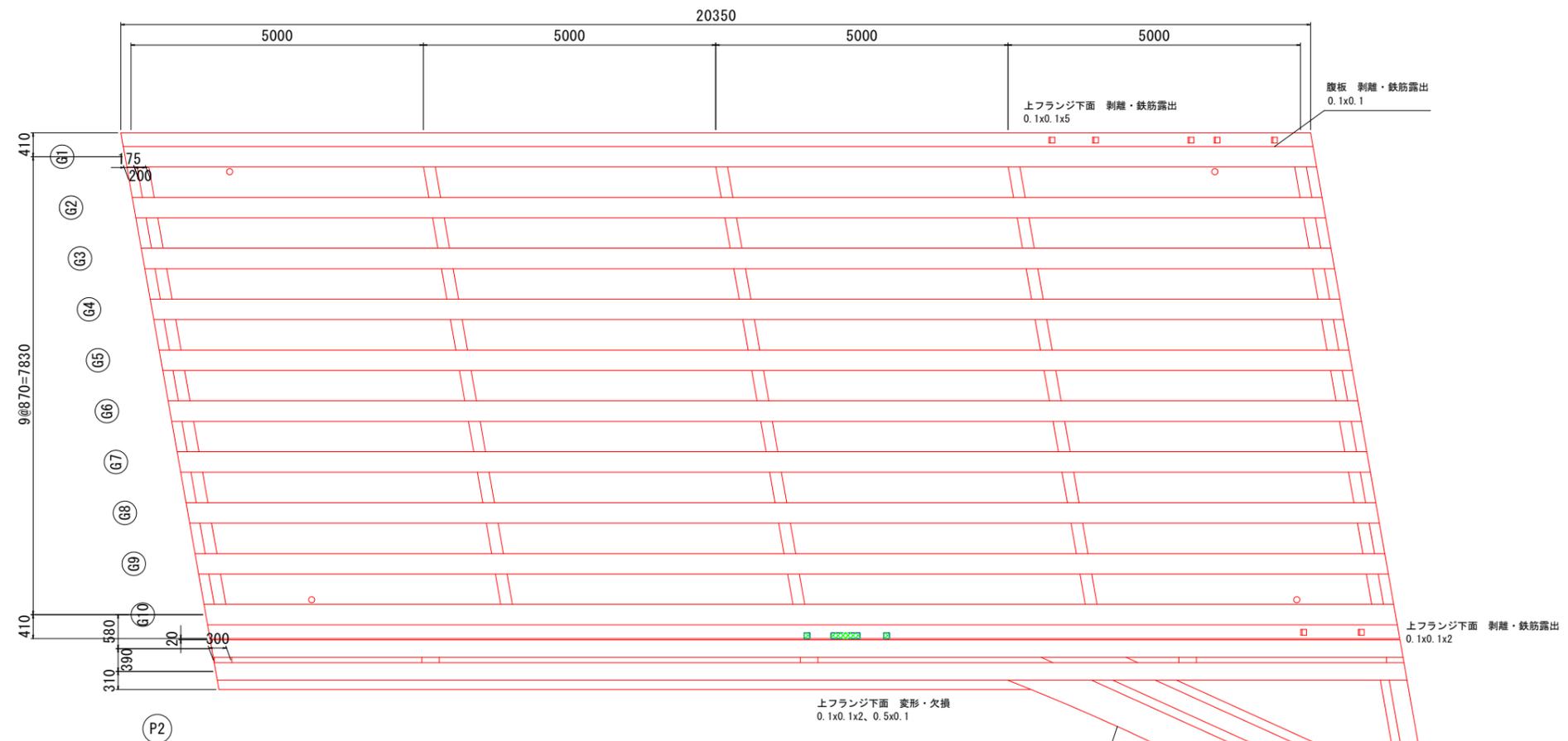
(P2-A2径間)

(主桁・床版：断面修復工)

平面図



平面図



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工 (修復深さ5cm)
うき 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		
剥離・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

A2

図面番号	11 / 29	縮尺	1 : 30
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その9)	番	9 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 補修図(その9)

S=1:30

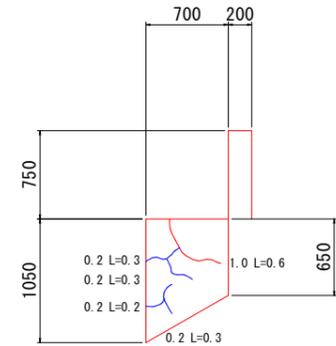
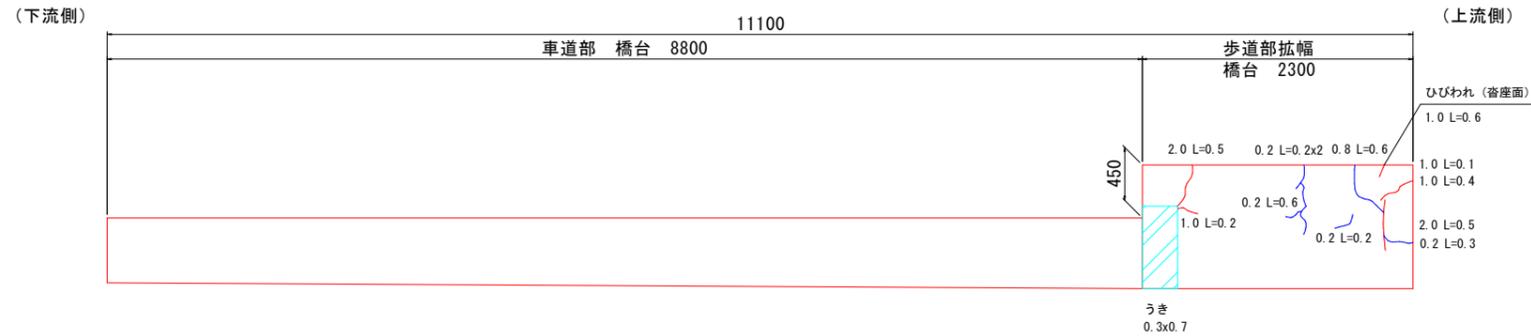
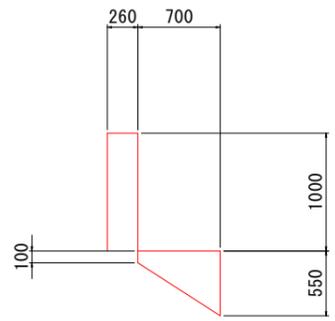
(A1、A2橋台：ひびわれ注入工、ひびわれ充填工、断面修復工)

A1橋台損傷図

側面図
(上流側)

側面図
(下流側)

正面図

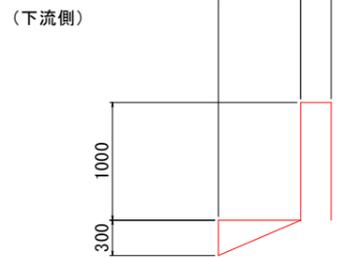
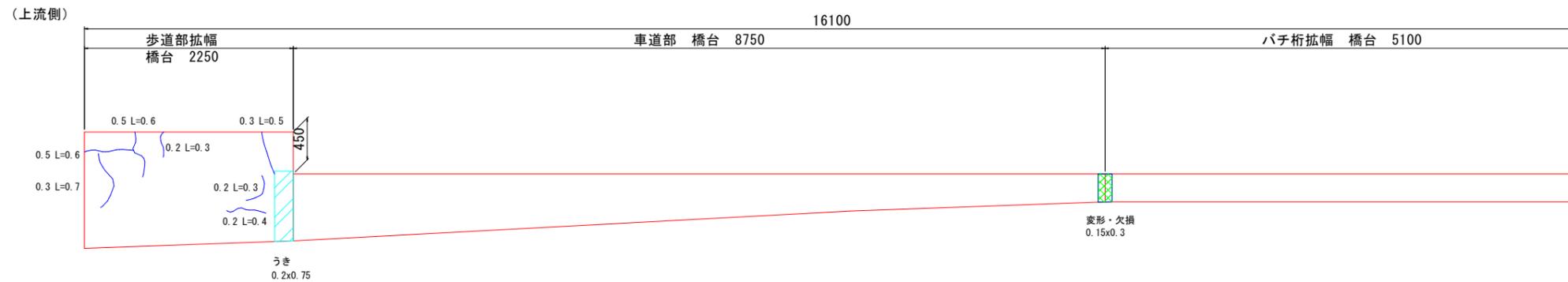
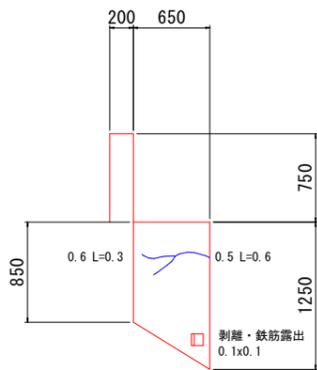


A2橋台損傷図

側面図
(下流側)

側面図
(上流側)

正面図



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
ひびわれ (W=0.2mm以上~1.0mm未満) 図中の数値は幅W (mm) x 長さL (m)を示す。		ひびわれ注入工 (エポキシ3種)
ひびわれ (W=1.0mm以上~) 図中の数値は幅W (mm) x 長さL (m)を示す。		ひびわれ充填工 (可とうエポキシ樹脂)
うき 図中の数値は幅 x 高さ (m)を示す。		断面修復工 (修復深さ10cm)
剥離・鉄筋露出 図中の数値は幅 x 高さ (m)を示す。		
変形・欠損 図中の数値は幅 x 高さ (m)を示す。		

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

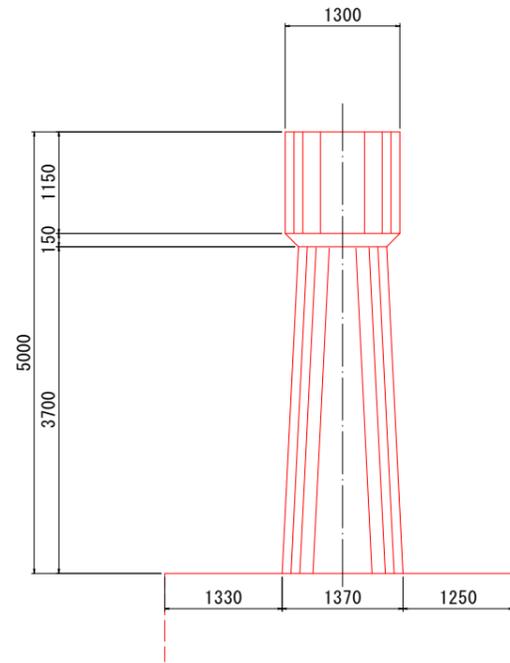
図面番号	12 / 29	縮尺	1 : 40
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その10)	番	10 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 補修図(その10)

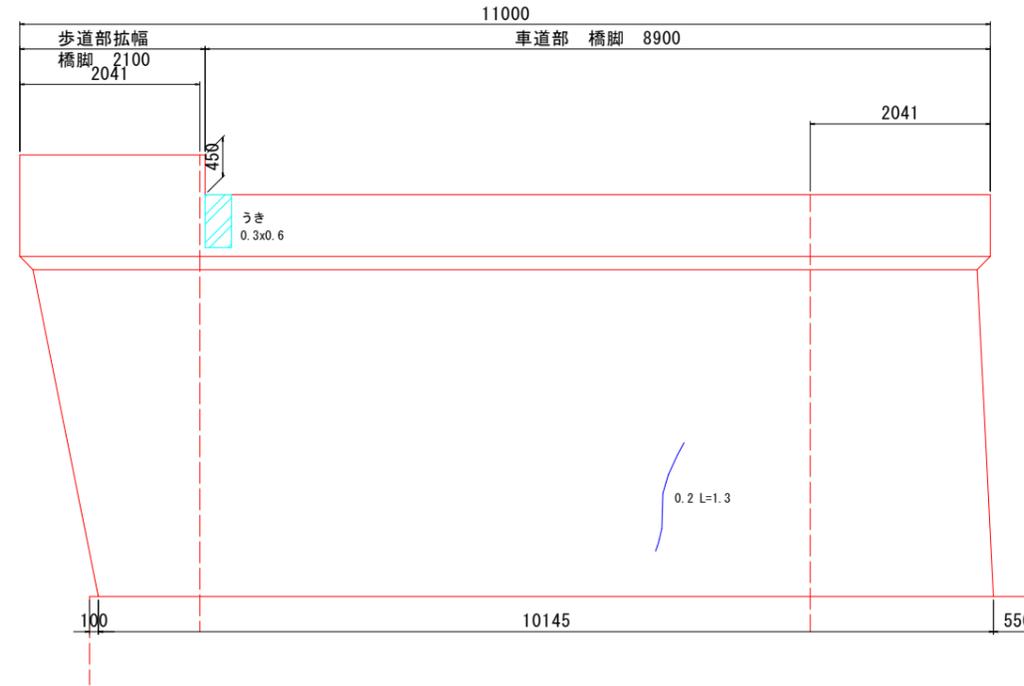
S=1:40

(P1橋脚：ひびわれ注入工、断面修復工)

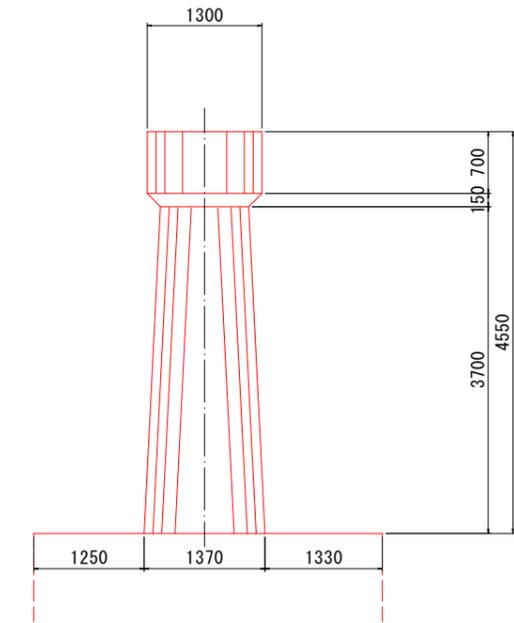
側面図
(上流側)



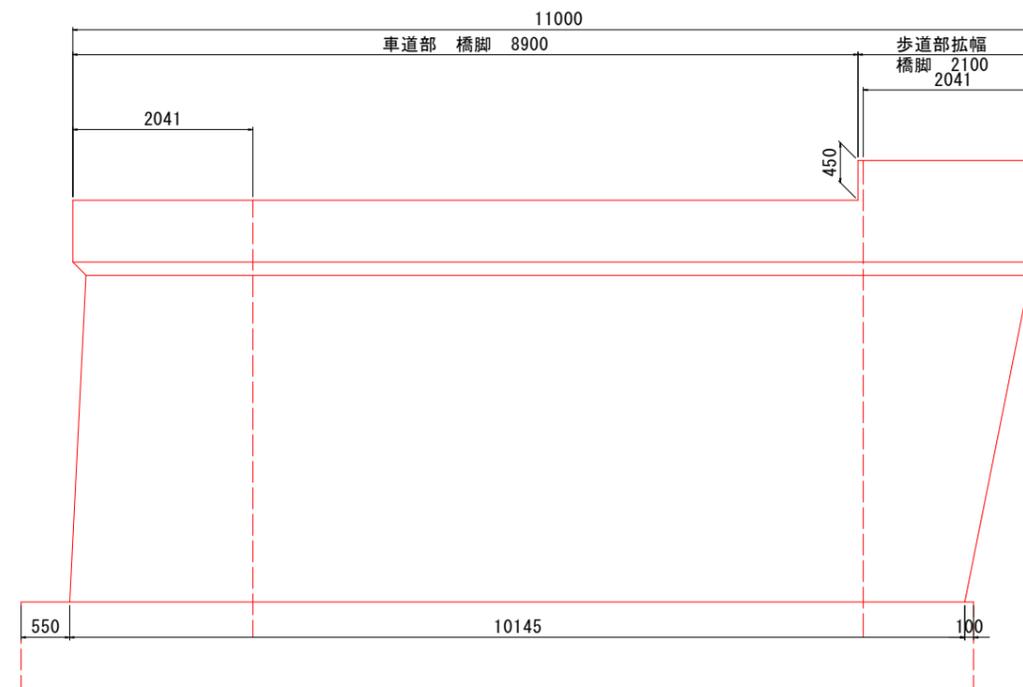
正面図(起点側)



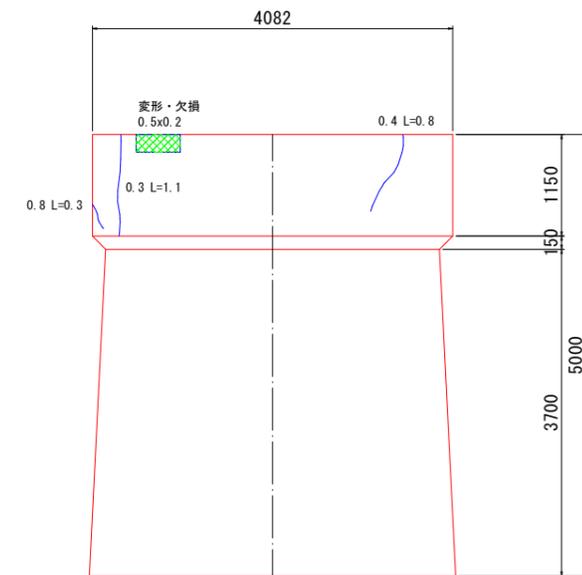
側面図
(下流側)



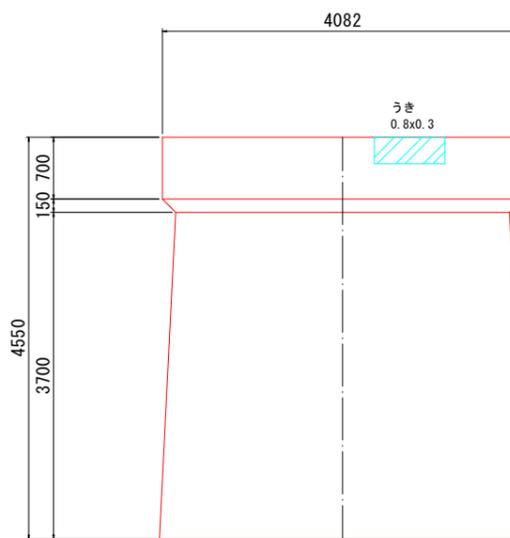
正面図(終点側)



側面展開図
(上流側)



側面展開図
(下流側)



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
ひびわれ (H=0.2mm以上~1.0mm未満) 図中の数値は幅W(mm) x 長さL(m)を示す。		ひびわれ注入工 (エポキシ1種)
うき 図中の数値は幅 x 高さ (m)を示す。		断面修復工 (修復深さ10cm)
変形・欠損 図中の数値は幅 x 高さ (m)を示す。		

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

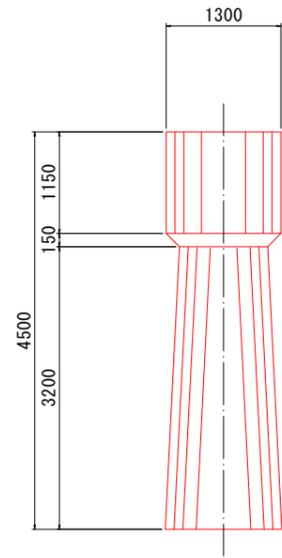
図面番号	13 / 29	縮尺	1 : 40
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その11)	冊	11 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 補修図(その11)

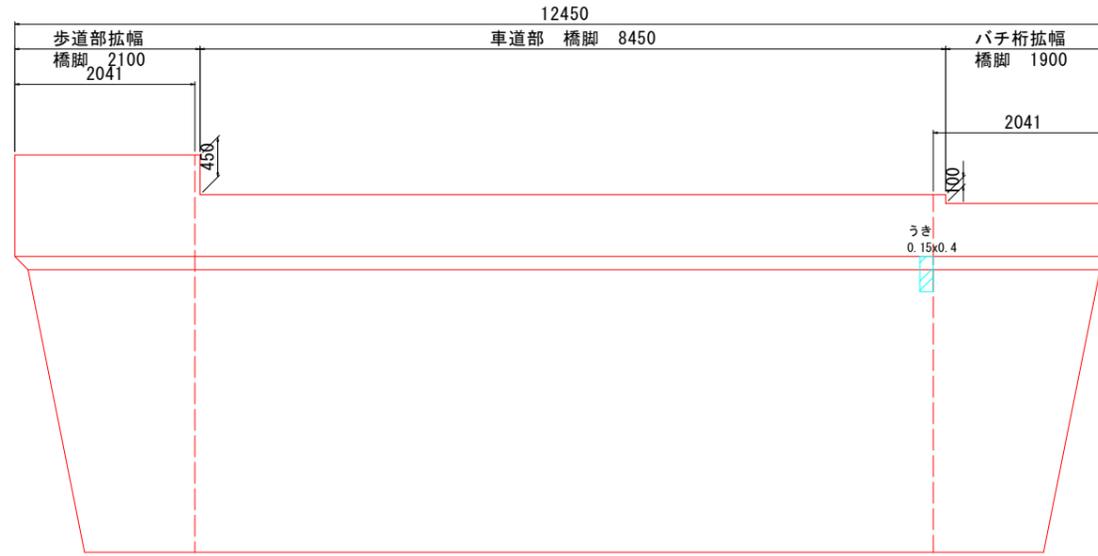
S=1:40

(P2橋脚：ひびわれ注入工、断面修復工)

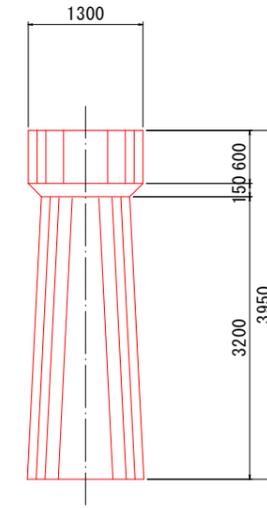
側面図
(上流側)



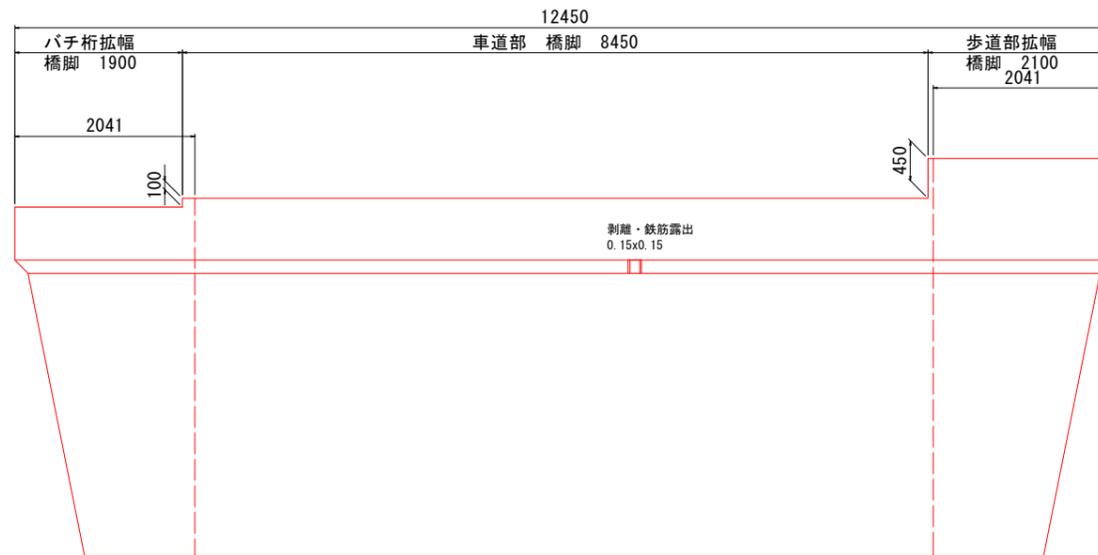
正面図(起点側)



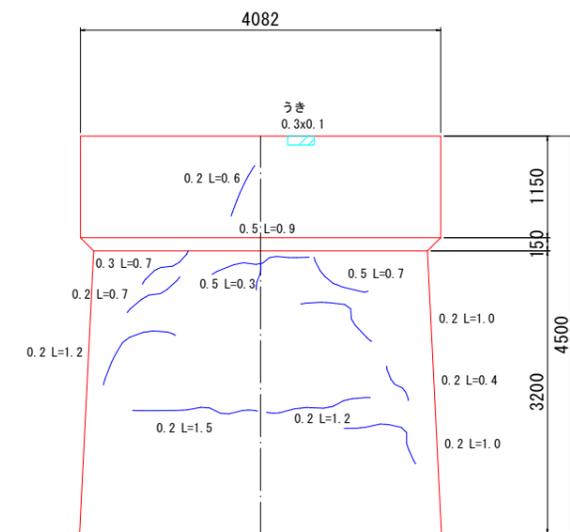
側面図
(下流側)



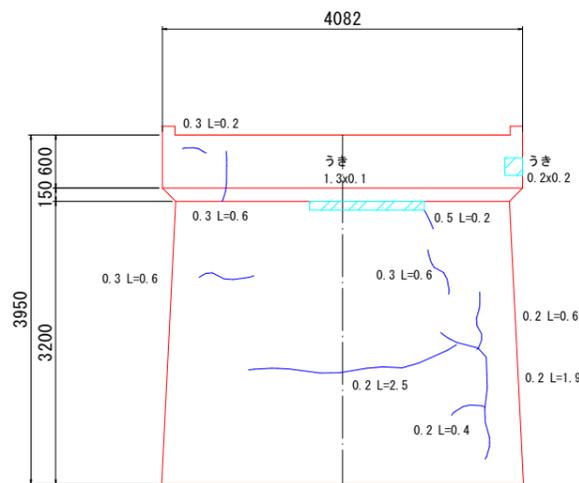
正面図(終点側)



側面展開図
(上流側)



側面展開図
(下流側)



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
ひびわれ (W=0.2mm以上~1.0mm未満) 図中の数値は幅W (mm) x 長さL (m)を示す。		ひびわれ注入工 (エポキシ1種)
うき 図中の数値は幅 x 高さ (m)を示す。		断面修復工 (修復深さ10cm)
剥離・鉄筋露出 図中の数値は幅 x 高さ (m)を示す。		

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	14 / 29	縮尺	1 : 30
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その12)	番	12 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

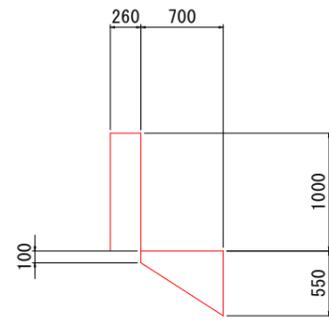
神谷川橋 補修図(その12)

S=1:30

(歩道部A1, A2橋台 : 表面含浸工)

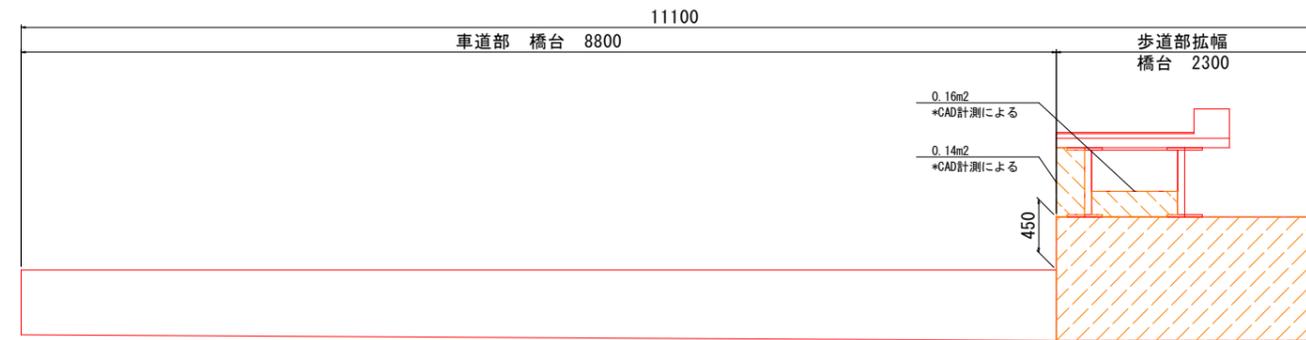
A1橋台損傷図

側面図
(下流側)



(下流側)

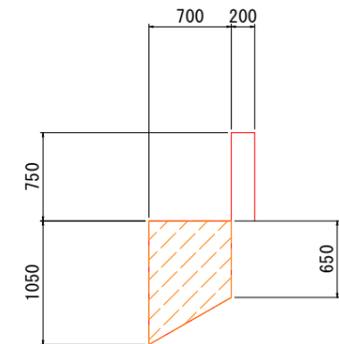
正面図



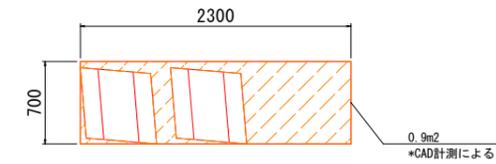
(上流側)

側面図
(上流側)

シラン系含浸材



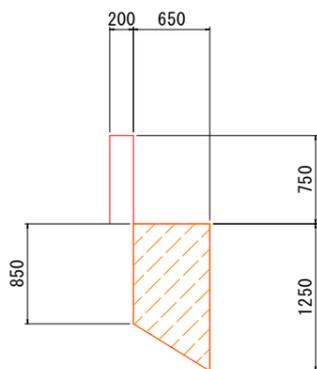
正面図(沓座面)



A2橋台損傷図

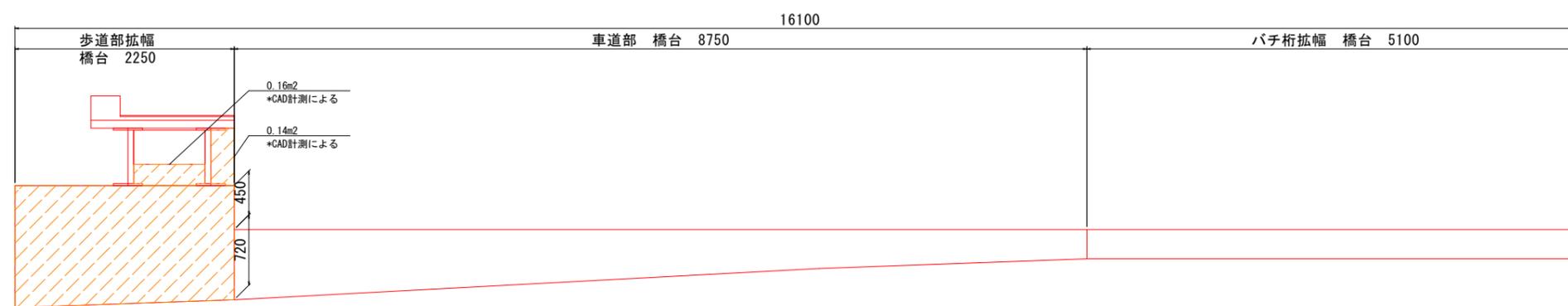
側面図
(上流側)

シラン系含浸材



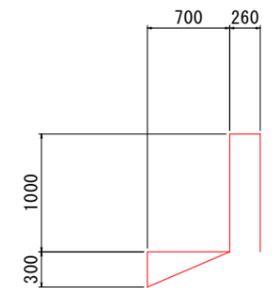
(上流側)

正面図

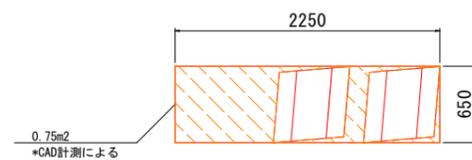


(下流側)

側面図
(下流側)



正面図(沓座面)



注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	15 / 29	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その13)	番 号	13 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

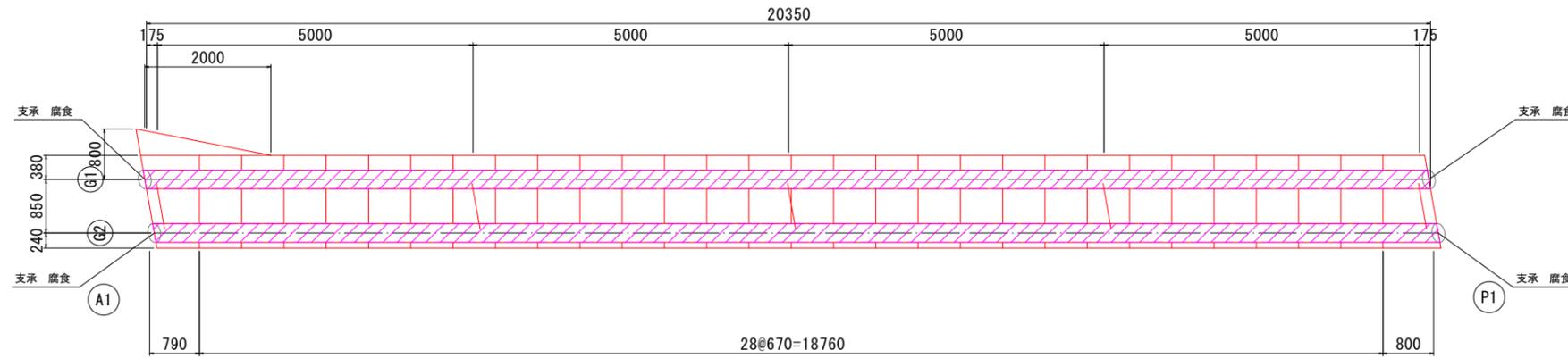
神谷川橋 補修図(その13)

S=1:50

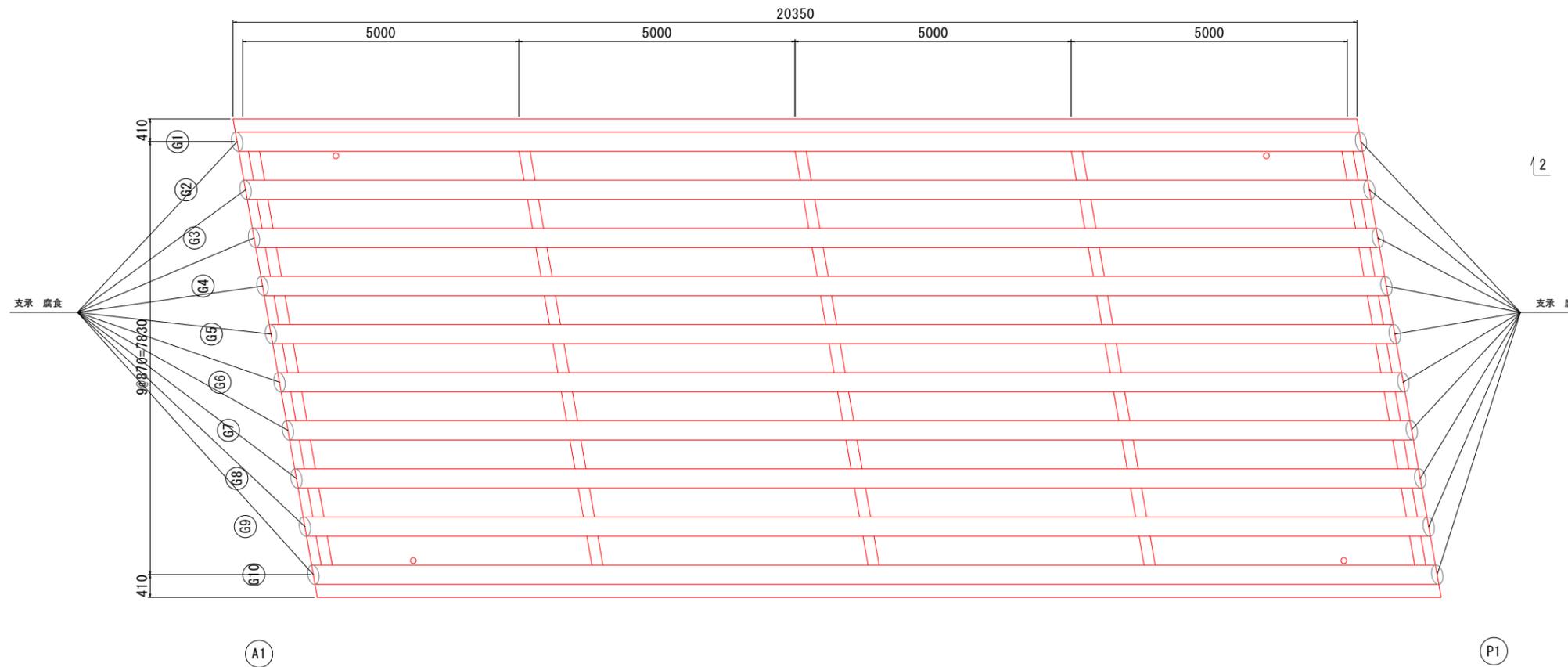
(A1-P1径間) (鋼桁、支承：維持塗装工)

注) 鋼桁には全体的に塗膜の劣化、一部に腐食(断面減少)が見られる。

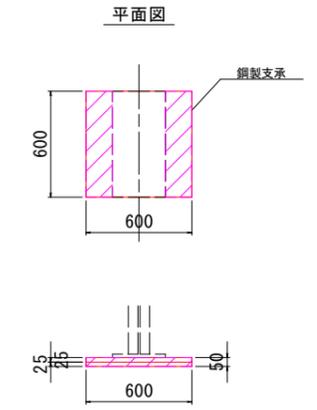
平面図



平面図

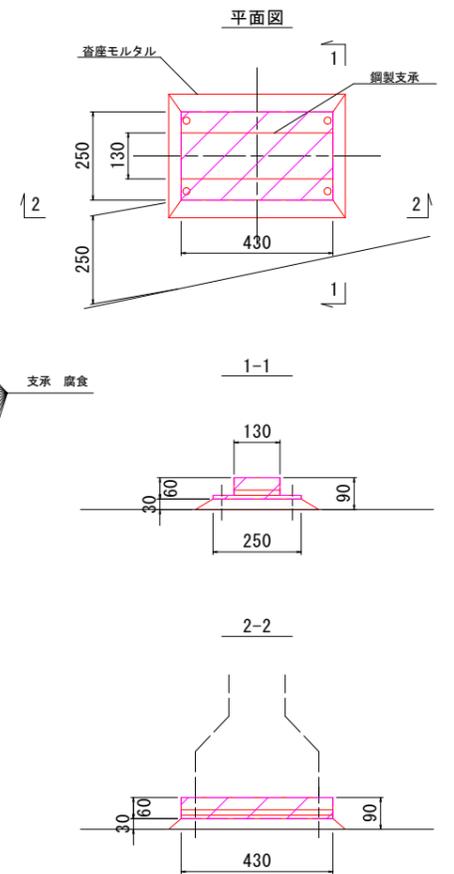


平面支承図 S=1:20



注) 支承構造は全て同じ

ポステン支承図 S=1:10



注) 支承構造は全て同じ

補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
鋼材、支承腐食	//	維持塗装工 (Rc-I系)

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

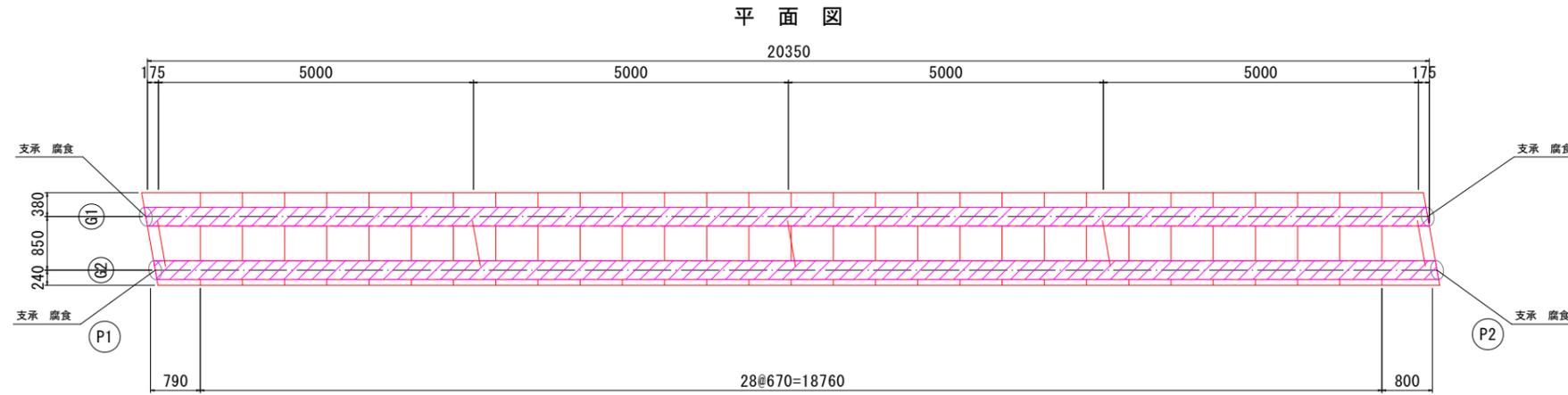
図面番号	16 / 29	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	神谷川橋 補修図(その14)	番 号	14 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 補修図(その14)

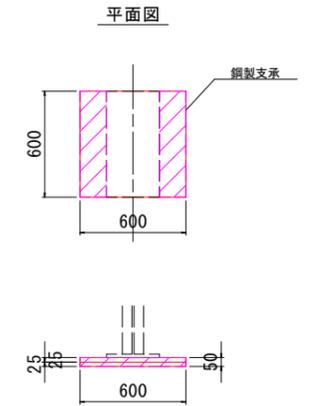
S=1:50

(P1-P2径間) (鋼桁、支承：維持塗装工)

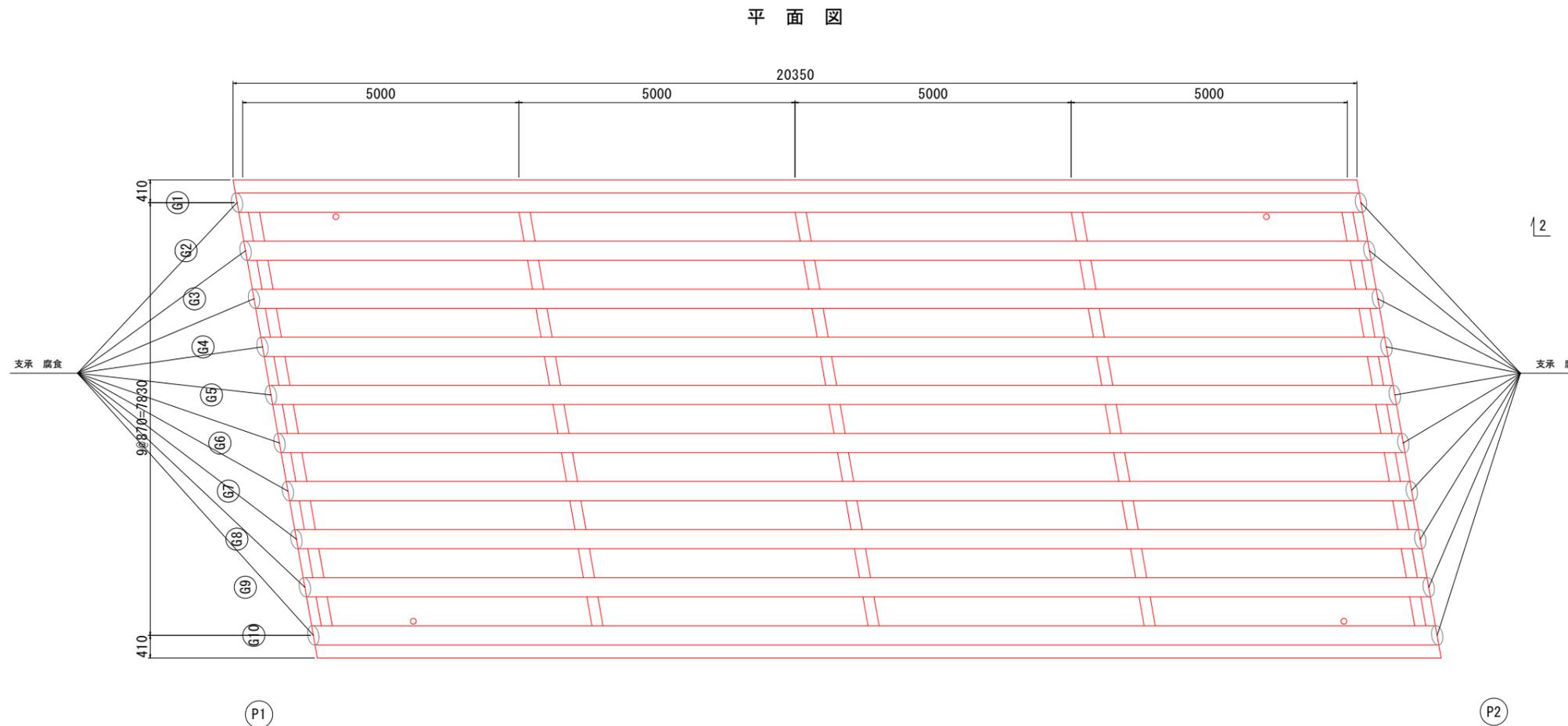
注) 鋼桁には全体的に塗膜の劣化、一部に腐食(断面減少)が見られる。



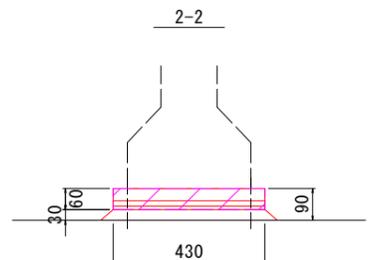
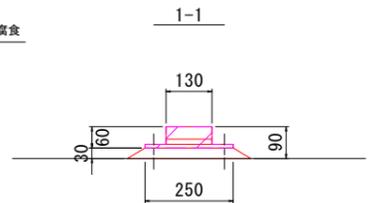
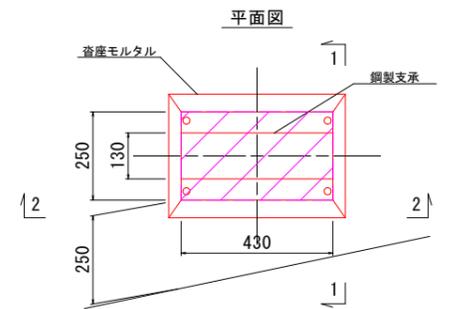
平面支承図 S=1:20



注) 支承構造は全て同じ



ポステン支承図 S=1:10



注) 支承構造は全て同じ

補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
鋼材、支承腐食	//	維持塗装工 (Rc-I系)

図面番号	17 / 29	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修図(その15)	番	15 / 15
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

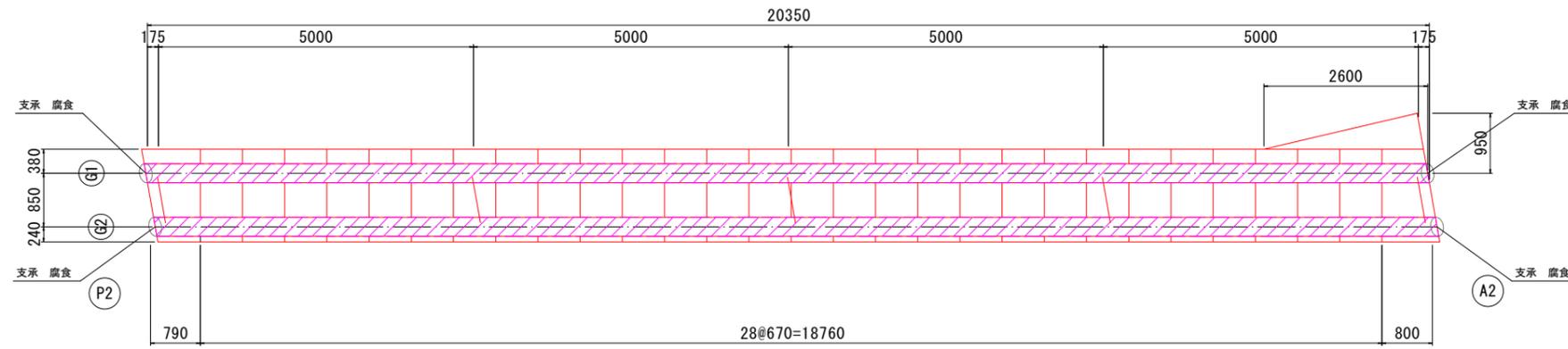
神谷川橋 補修図(その15)

S=1:50

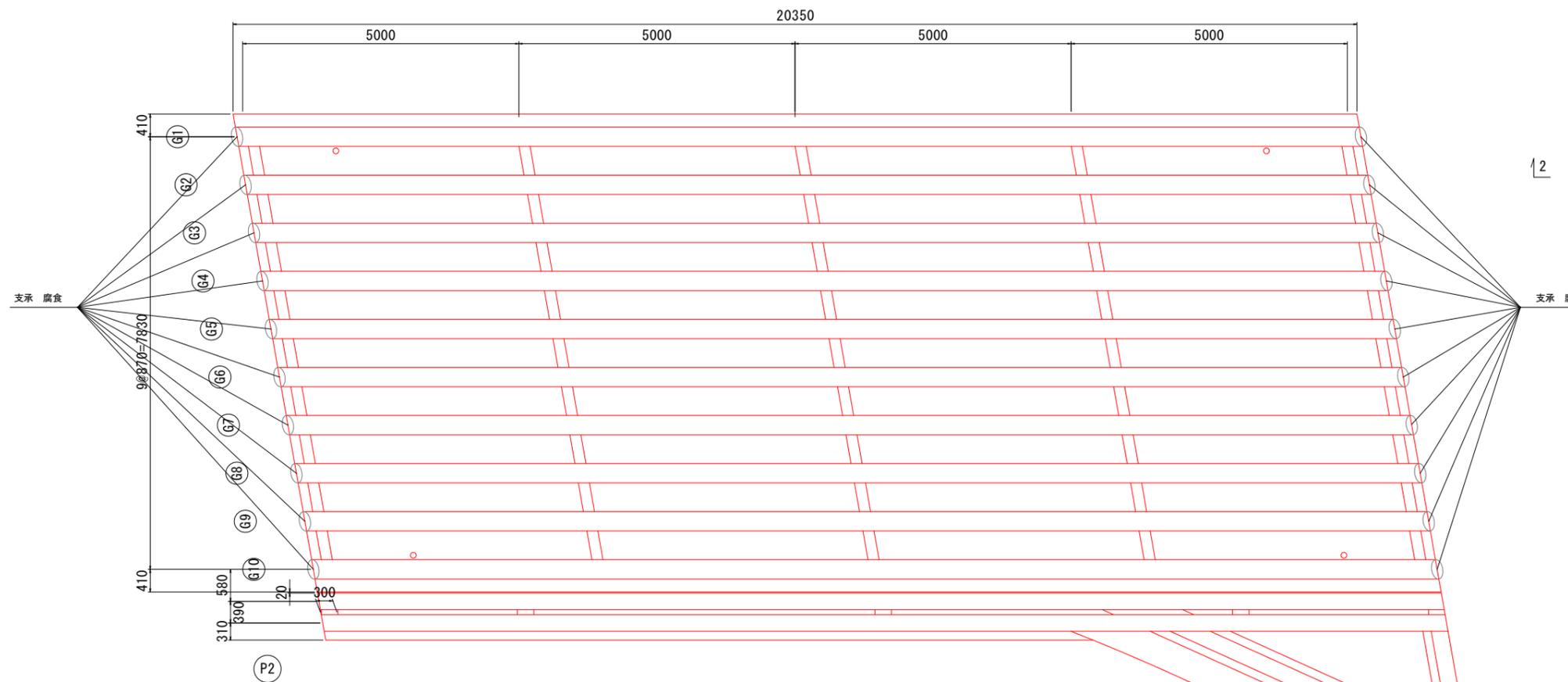
(P2-A2径間) (鋼桁、支承：維持塗装工)

注) 鋼桁には全体的に塗膜の劣化、一部に腐食(断面減少)が見られる。

平面図

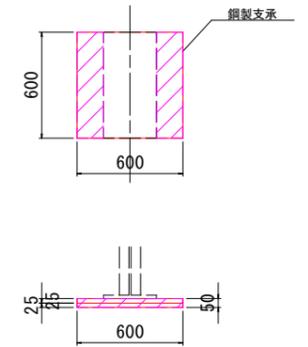


平面図



平面支承図 S=1:20

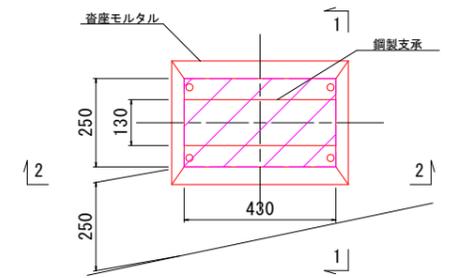
平面図



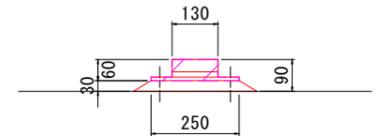
注) 支承構造は全て同じ

ポステン支承図 S=1:10

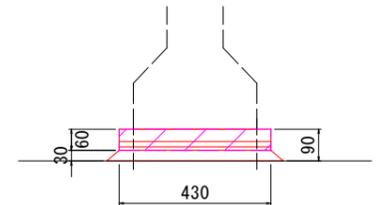
平面図



1-1



2-2



注) 支承構造は全て同じ

補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工
鋼材、支承腐食		維持塗装工 (Rc-I系)

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

A2

図面番号	18 / 29	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	車道高欄図(その1)	番	1 / 2
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

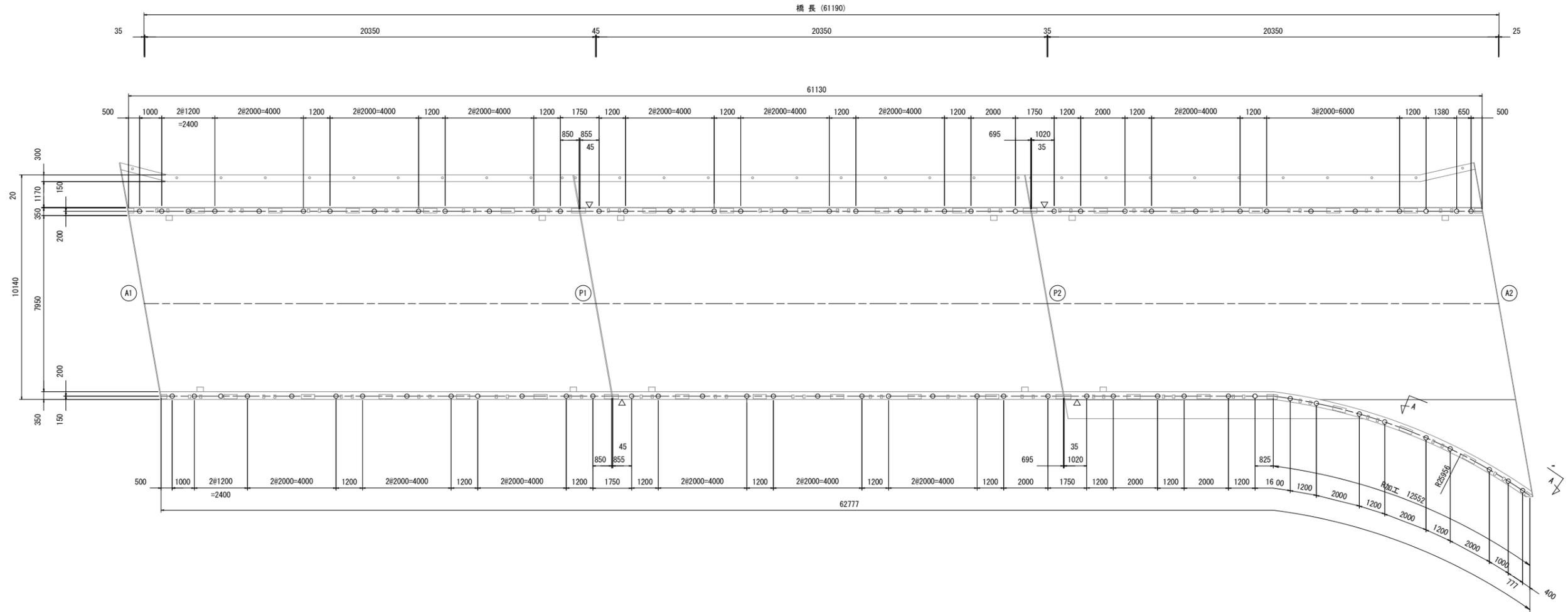
神谷川橋 車道高欄図(その1)

DSK-S-3C-75LFW

平面図 S=1/100

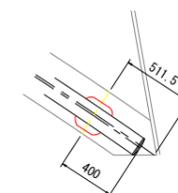
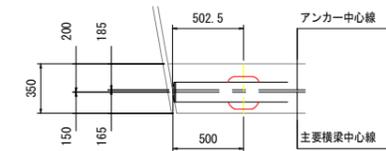
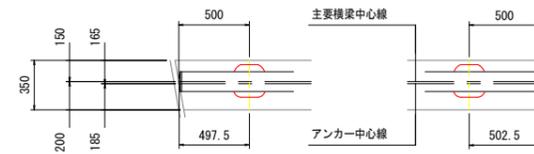
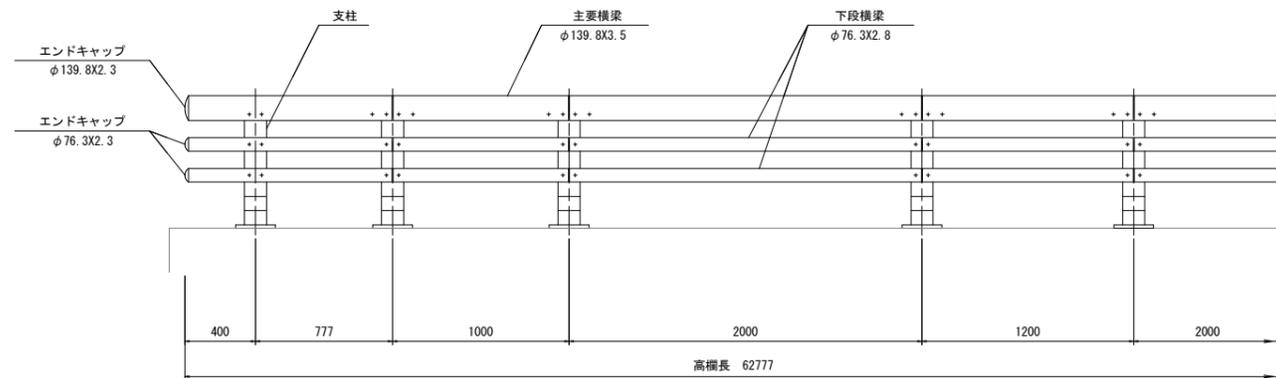
(寸法線は主要横梁中心線上で実長を示す)

▽ 伸縮継手



高欄取付図 S=1/20

A-A 矢視



注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

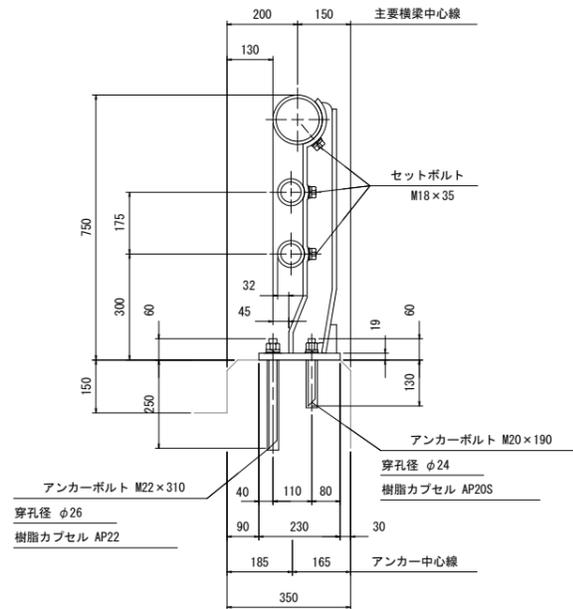
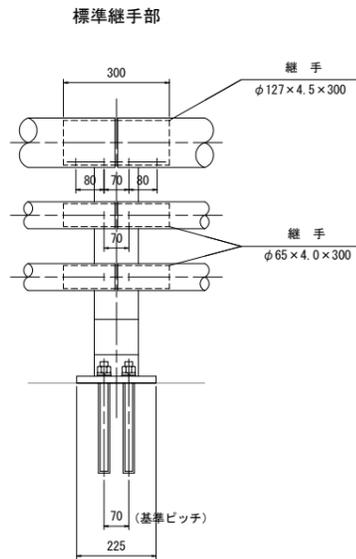
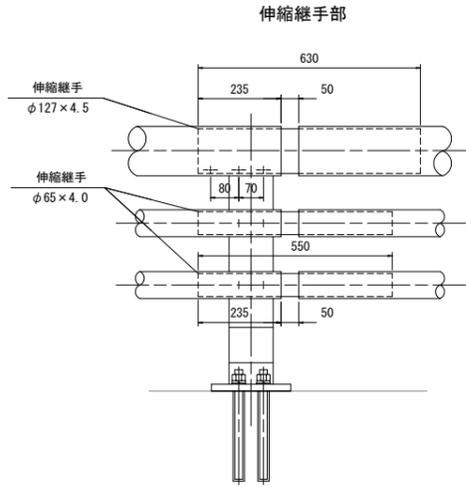
図面番号	19 / 29	縮尺	1 : 10
工種	橋梁修繕工事		
種別	車道高欄図(その2)	番	2 / 2
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 車道高欄図(その2)

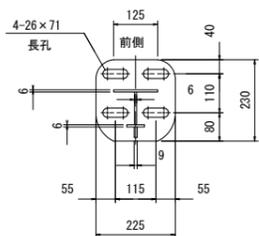
DSK-S-3C-75LFW

高欄詳細図

S = 1/10



ベースプレート



◎ 鉄筋と干渉しない場合は、標準ピッチとする。

材料表

品名	寸法	材質	数量	単重	重量	備考
DSK-S-3C-75LFW						
支柱	230X225	SS400	78	16.0 Kg/本	1248	
主要横梁	φ139.8X3.5X1995	STK400	37	11.8 Kg/m	871	
主要横梁	φ139.8X3.5X1612.5	STK400	4	11.8 Kg/m	76	
主要横梁	φ139.8X3.5X1595	STK400	1	11.8 Kg/m	19	
主要横梁	φ139.8X3.5X1477.5	STK400	2	11.8 Kg/m	35	
主要横梁	φ139.8X3.5X1375	STK400	1	11.8 Kg/m	16	
主要横梁	φ139.8X3.5X1282.5	STK400	4	11.8 Kg/m	61	
主要横梁	φ139.8X3.5X1195	STK400	24	11.8 Kg/m	338	
主要横梁	φ139.8X3.5X1154.5	STK400	1	11.8 Kg/m	14	
主要横梁	φ139.8X3.5X1127.5	STK400	1	11.8 Kg/m	13	
主要横梁	φ139.8X3.5X995	STK400	1	11.8 Kg/m	12	
下段横梁	φ76.3X2.8X1995	STK400	74	5.08 Kg/m	750	
下段横梁	φ76.3X2.8X1612.5	STK400	8	5.08 Kg/m	66	
下段横梁	φ76.3X2.8X1595	STK400	2	5.08 Kg/m	16	
下段横梁	φ76.3X2.8X1477.5	STK400	4	5.08 Kg/m	30	
下段横梁	φ76.3X2.8X1375	STK400	2	5.08 Kg/m	14	
下段横梁	φ76.3X2.8X1282.5	STK400	8	5.08 Kg/m	52	
下段横梁	φ76.3X2.8X1195	STK400	48	5.08 Kg/m	291	
下段横梁	φ76.3X2.8X1154.5	STK400	2	5.08 Kg/m	12	
下段横梁	φ76.3X2.8X1127.5	STK400	2	5.08 Kg/m	11	
下段横梁	φ76.3X2.8X995	STK400	2	5.08 Kg/m	10	
継手	φ127X4.5X300	STK400	70	13.6 Kg/m	286	
継手	φ65X4.0X300	STK400	140	6.02 Kg/m	253	
伸縮継手	φ127X4.5X630	STK400	4	13.6 Kg/m	34	
伸縮継手	φ65X4.0X550	STK400	8	6.02 Kg/m	26	
エンドキャップ	φ139.8X2.3	SPCC	4	0.35 Kg/コ	1	
エンドキャップ	φ76.3X2.3	SPCC	8	0.19 Kg/コ	2	
セットボルト	M18X35 (B, W, SW)		4.8以上	0.15 Kg/本	92	
アンカーボルト	M22X310 (B, N, W, SW)		6.8以上	1.08 Kg/本	168	ケミカルアンカー
アンカーボルト	M20X190 (B, N, W, SW)		4.6以上	0.57 Kg/本	89	ケミカルアンカー
Σ =					4906 kg	
高欄長 = 123907						
R加工 = 12552						
勾配エクストラ = 0						
伸縮継手 = 4						
突合せ加工 = 1						

注記

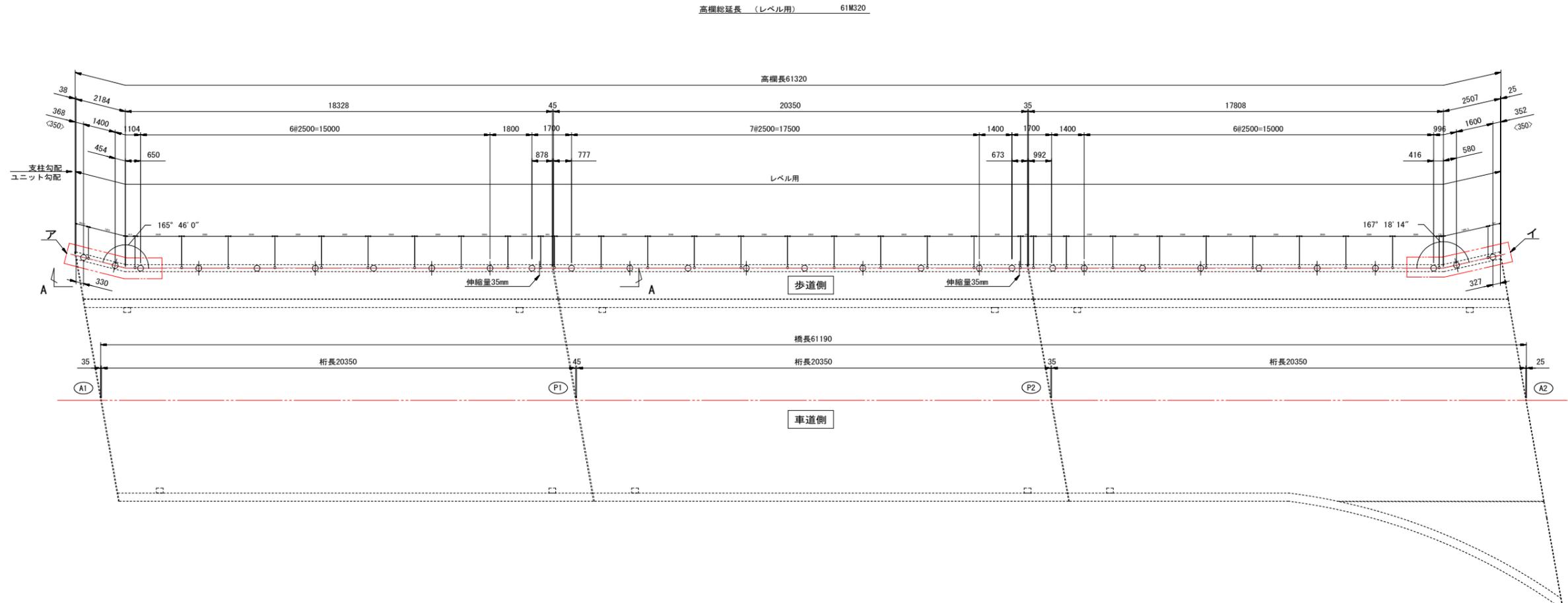
1. 表面処理 — — 亜鉛めっき
2. 支柱の製作勾配 — — 0%
3. 変化点は突合せ溶接とする。
4. 橋梁用ビーム型防護欄は(一社)全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	20 / 29	縮尺	1 : 100
工種	橋梁修繕工事		
種別	歩道高欄図(その1)	番	1 / 3
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 歩道高欄図(その1)

平面図 S=1/100



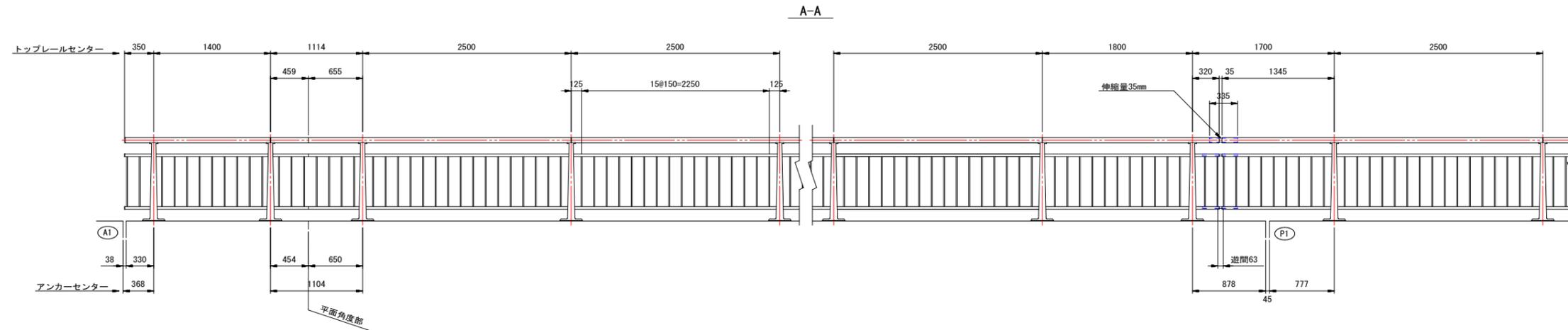
- 注記**
1. 記入寸法はアンカーセンター押さえとし、実長で示す。
 2. 図中 ○ 印は支柱取付位置を示し、+ 印はトップレール継手部を示す。
 3. < > 内寸法はトップレール寸法を示す。
 4. 記入寸法確認のこと。
 5. F、M 確認のこと。

注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

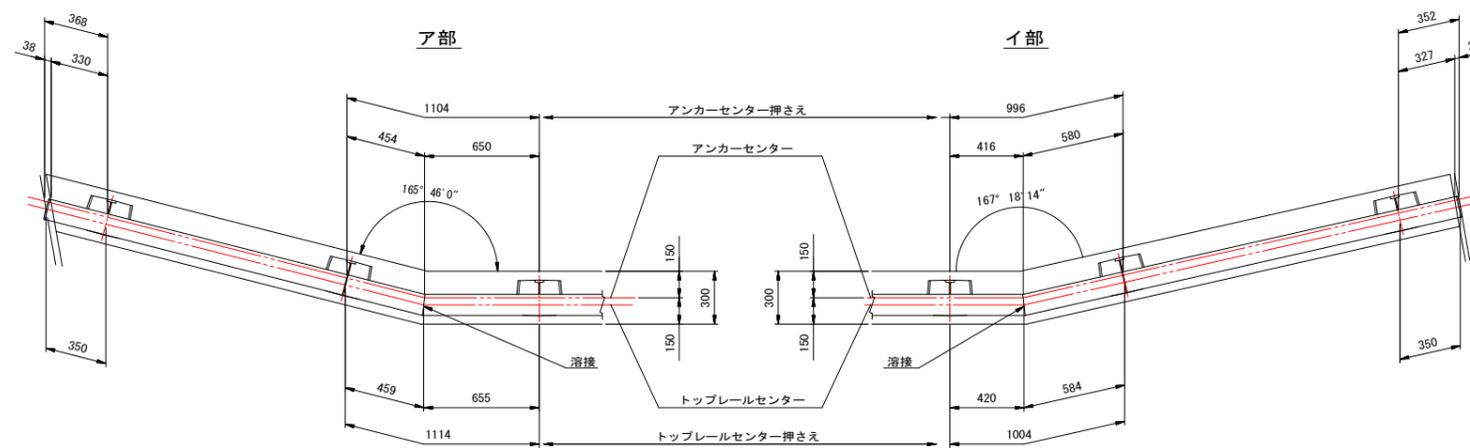
図面番号	21 / 29	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	歩道高欄図(その2)	番号	2 / 3
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 歩道高欄図(その2)

姿図 S=1/30



平面図 S=1/20



注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

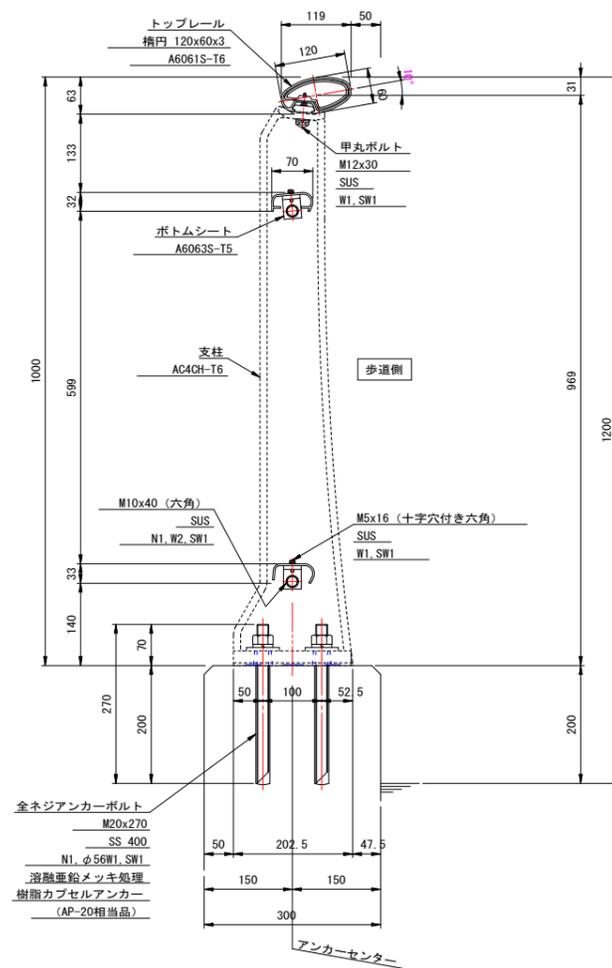
図面番号	22 / 29	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	歩道高欄図(その3)	部番	3 / 3
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 歩道高欄図(その3)

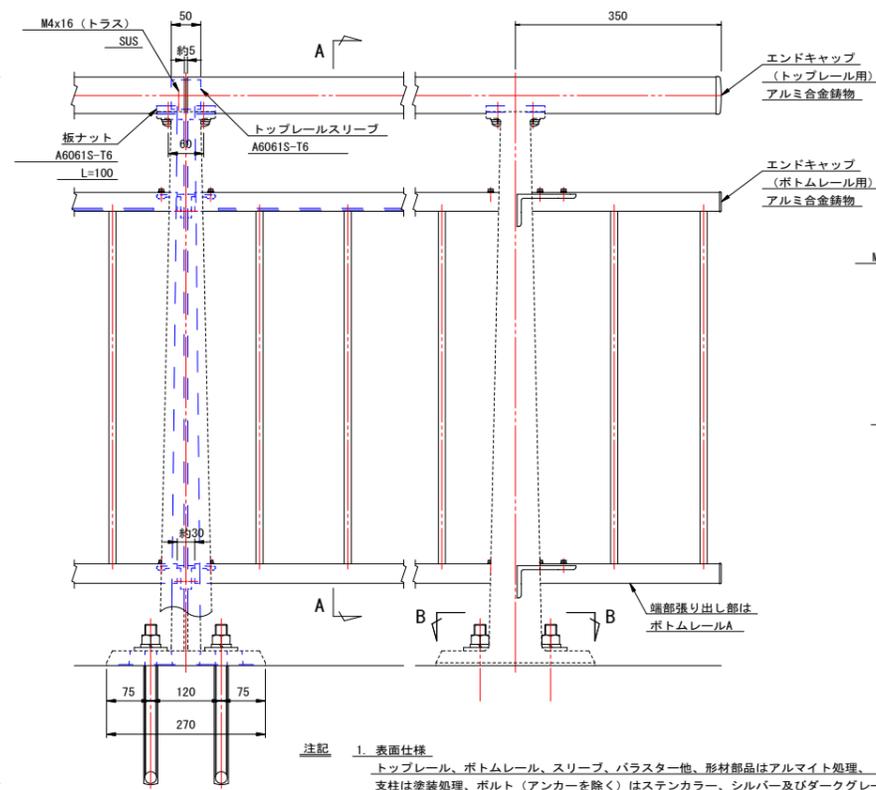
材料表

部番	名称	寸 度	数 量	単 重	1本当	総重量	材 質	備 考
1	トップレール	4995.0	2	2.592	12.95	25.9	A6061S-T6	120x60x3
2	トップレールスリーブ	50.0	2	2.398	0.12	0.2	A6061S-T6	
3	支柱		4		7.63	30.5	AC40H-T6	
4	ボトムレールA	2470.0	4	1.145	2.83	11.3	A6063S-T5	70x32
5	ボトムレールB	2390.0	4	0.461	1.10	4.4	A6063S-T5	57x3
6	ボトムレールC	2470.0	4	0.929	2.29	9.2	A6063S-T5	70x32
7	バラスト	601.0	64	0.369	0.22	14.1	A6063S-T5	30x12
8	ボトムシート	30.0	16	1.171	0.04	0.6	A6063S-T5	L-47x40
9	板ナット	100.0	4	0.986	0.10	0.4	A6061S-T6	
10	甲丸ボルト	M12x30	8		0.05	0.4	SUS	W1, SW1
11	六角ボルト	M10x40	8		0.06	0.5	SUS	N1, W2, SW1
12	十字穴付き六角ボルト	M5x16	16		0.004	0.1	SUS	W1, SW1
13	なべタッピンネジ (2種)	M4x20	256		0.002	0.5	SUS	
14	トラスタッピンネジ	M4x16	32		0.002	0.1	SUS	
15	トラスタッピンネジ	M4x16	2		0.002	-	SUS	スリーブ固定用
16	金ネジアンカーボルト	M20x270	16		0.75	12.0	SS400	N1, φ56W1, SW1
17	樹脂カプセルアンカー	AP-20相当品	16		-	-		
						総重量	110.2	Kg/10M
						M当り	11.0	Kg/M (端部は除く)

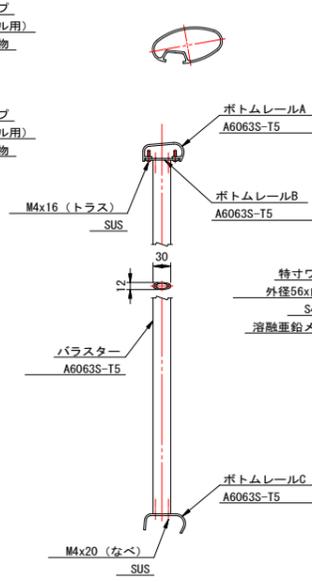
高欄取付詳細図 S=1/6



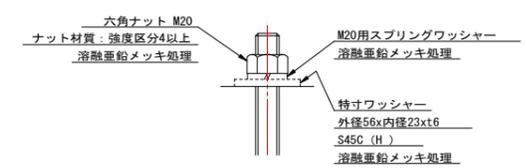
継手部 端部



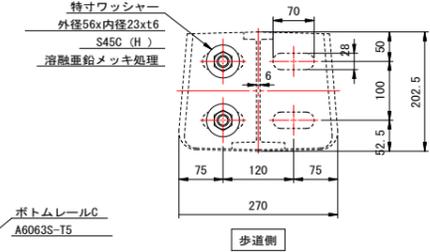
断面A-A



アンカーナット締め付け部 S=1/3



断面B-B



- 注記
- 表面仕様
トップレール、ボトムレール、スリーブ、バラスト他、形材部品はアルマイト処理。
支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
 - 本高欄の設計・製作仕様は、(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」(平成30年6月)、
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」(平成27年3月)による。
 - 本高欄の支柱は、レール用を示し、0~2.5%勾配に使用とする。
 - 強度区分の表記なきボルト類はA2-50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ok} = 21N/mm^2$ 以上

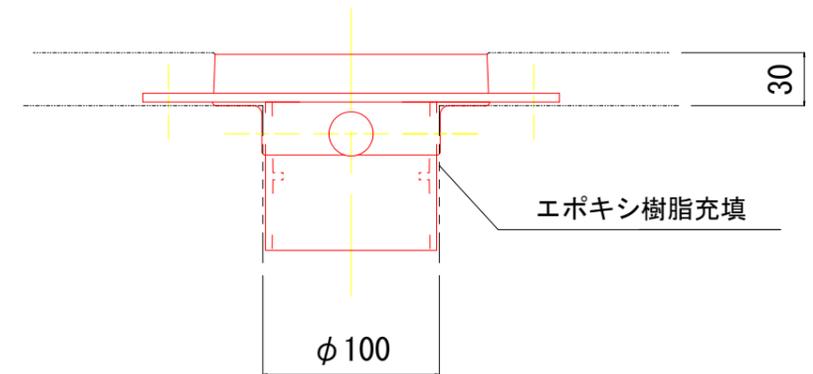
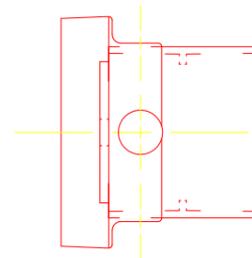
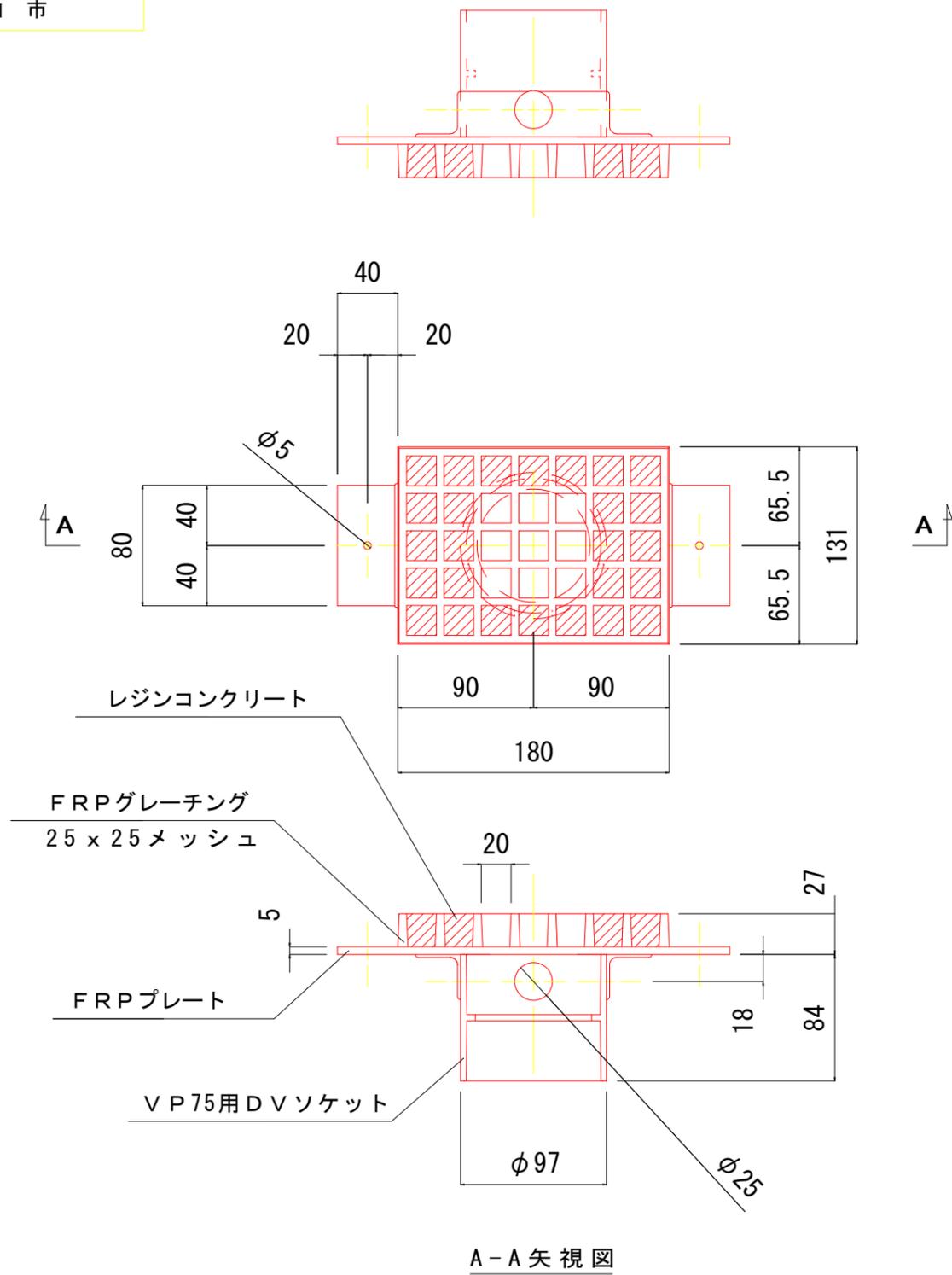
注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。

図面番号	23 / 29	縮尺	1:2
工種	橋梁修繕工事		
種別	排水装置詳細図(その1)	番号	1 / 2
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 排水装置詳細図(その1)

FRP排水柵

S=1:2



※既設管と干渉する箇所は切断すること。

設置状況図

材質	FRP
重量	1.3 kg / 体
表面処理	トップコート (黒色)

図面番号	24 / 29	縮尺	1:5
工種	橋梁修繕工事		
種別	排水装置詳細図(その2)	番号	2 / 2
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

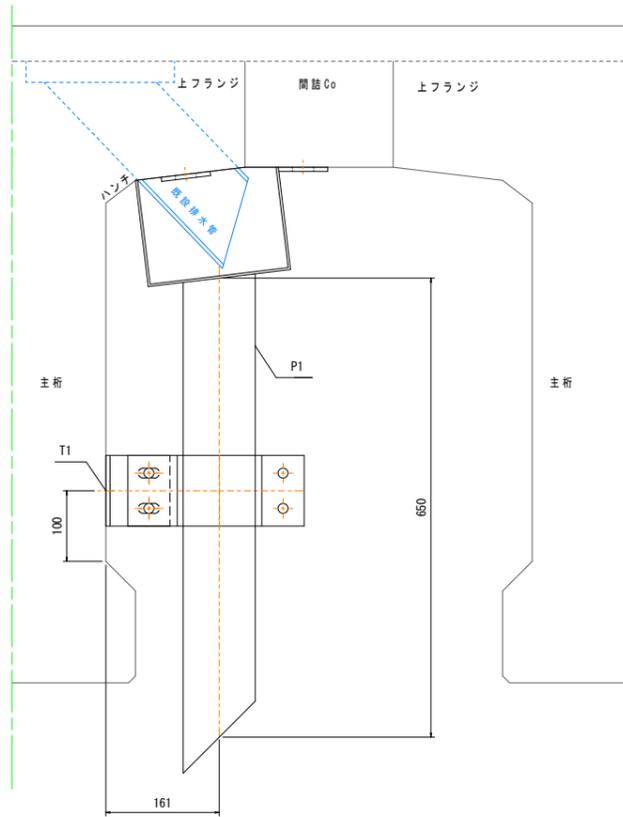
神谷川橋 排水装置詳細図(その2)

ステンレス排水装置

S=1:5

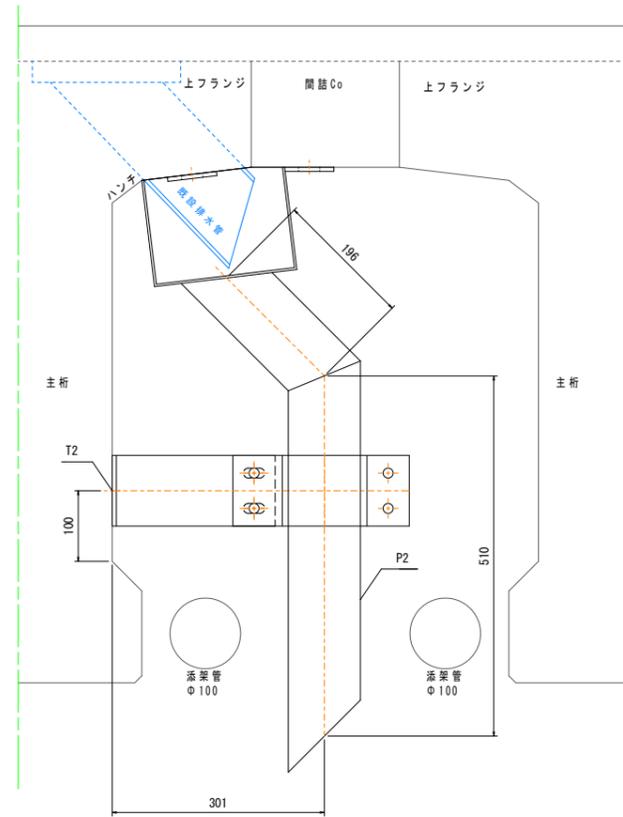
断面図

P1



断面図

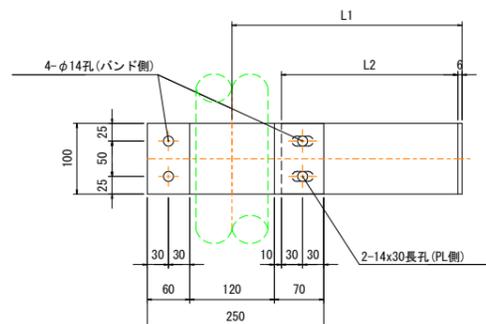
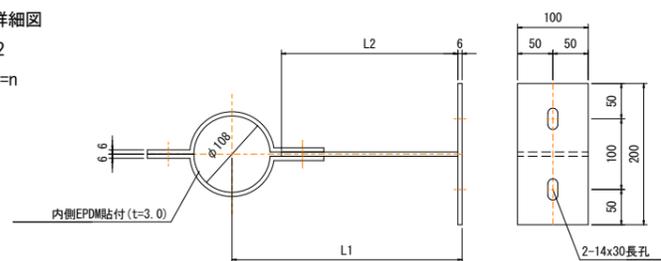
P2



取付金具詳細図

T1, T2

製作数=n



- 2-PL 100x6x306
- 1-PL 100x6xL2
- 1-PL 100x6x200
- 4-BN M12x45
- 2-アンカーボルト M12x100
- 2-EPDM 100x3x160

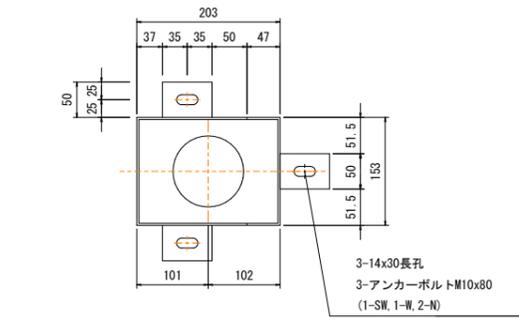
	L1	L2	n
T1	161	85	6
T2	301	225	6

ステンレス排水柵詳細図

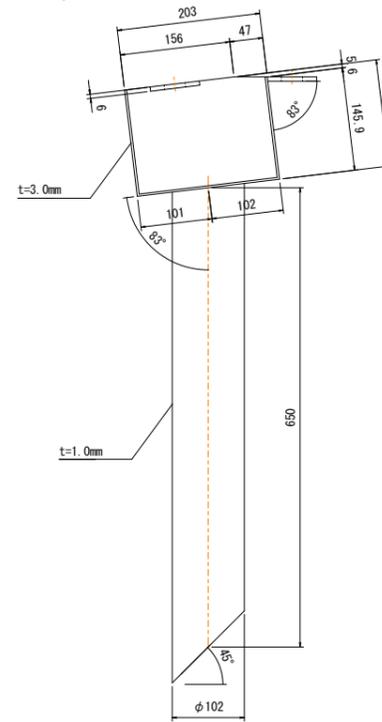
P1

製作数=6

A-A



√A

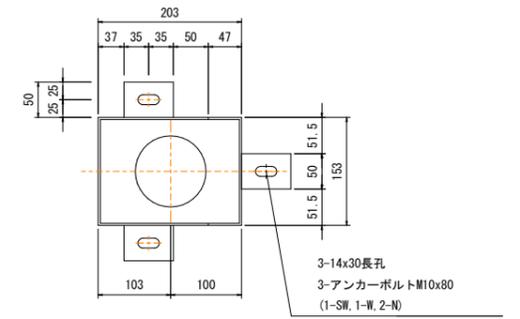


ステンレス排水柵詳細図

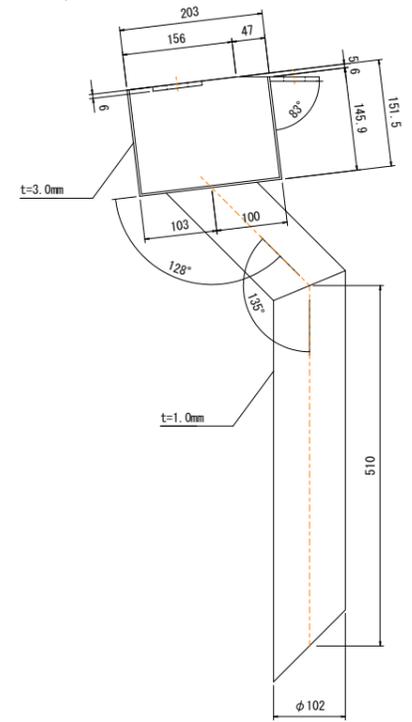
P2

製作数=6

B-B



√B

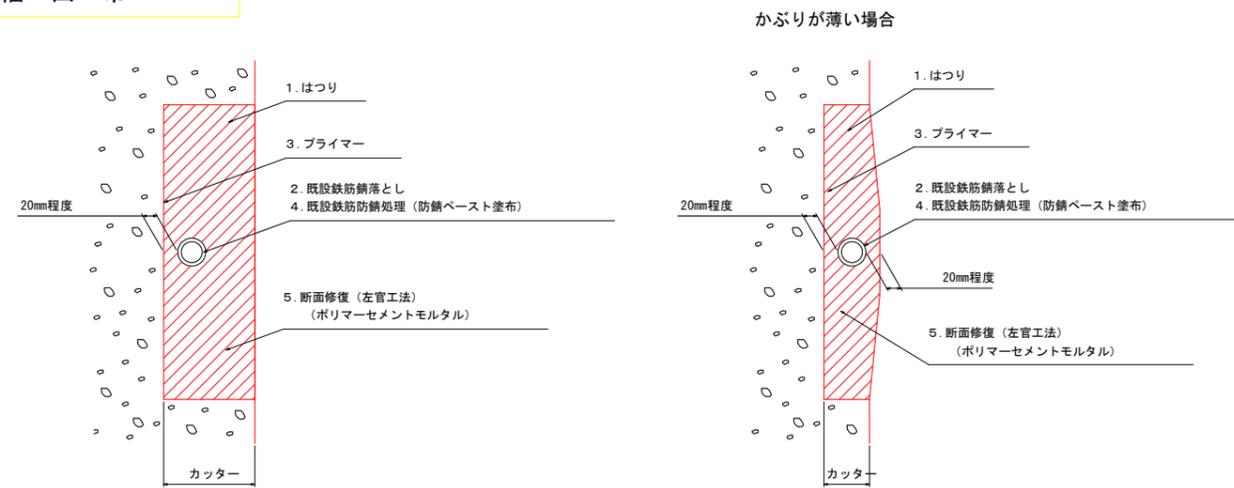


- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
- 2. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
- 3. 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
- 4. 施工時に再度現地調査を行い寸法確定後製作する。

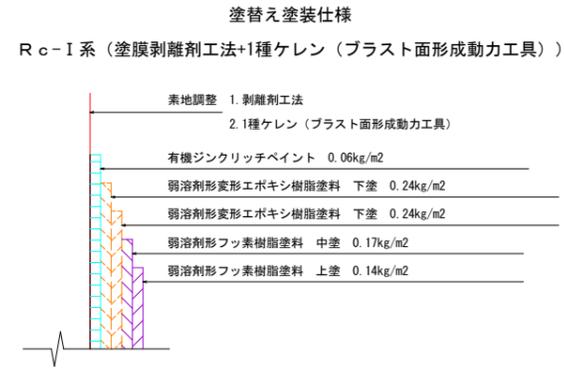
図面番号	25 / 29	縮尺	No Scale
工種	橋梁修繕工事		
種別	補修要領図	番号	1 / 1
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 補修要領図

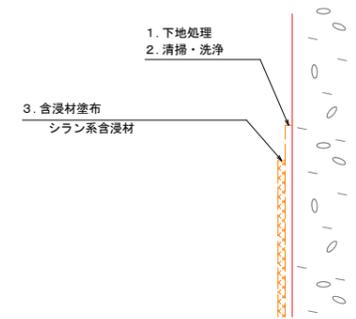
断面修復工



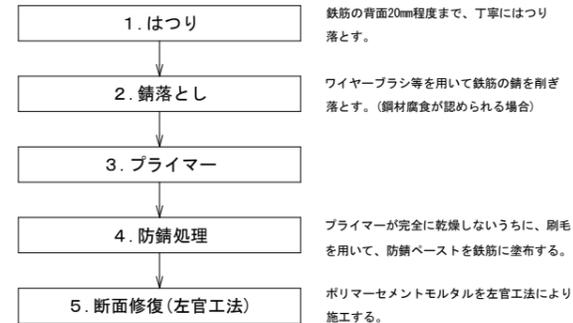
維持塗装工



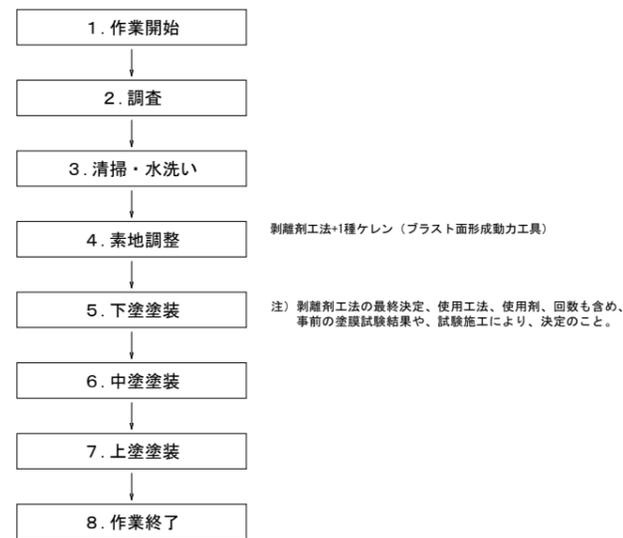
表面保護工



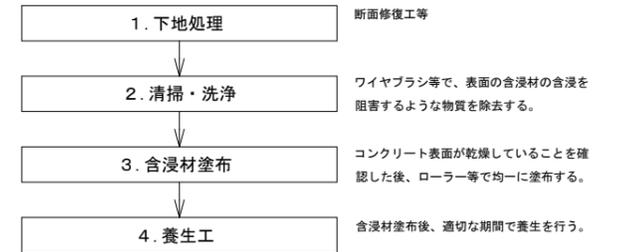
断面修復工 フローチャート



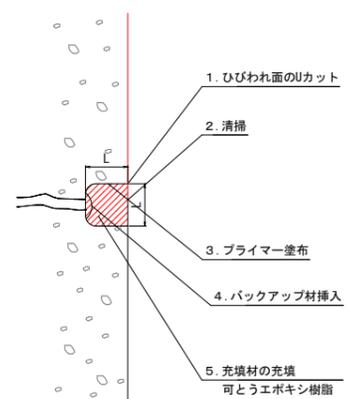
維持塗装工 フローチャート



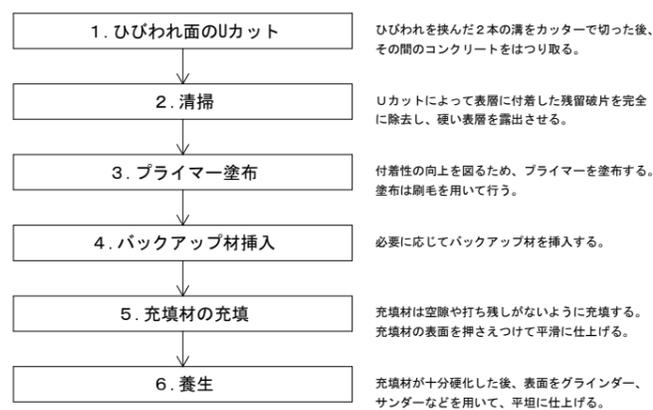
表面含浸工 フローチャート



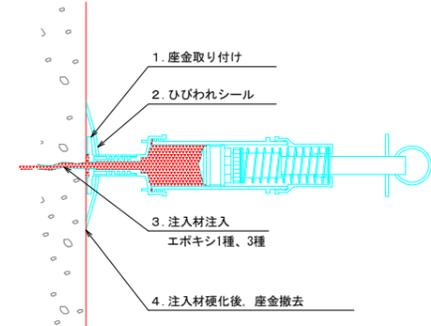
ひびわれ充填工



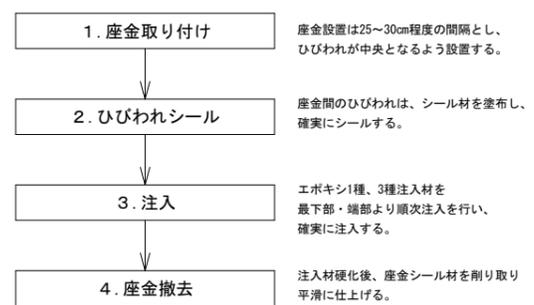
ひびわれ充填工 フローチャート



ひびわれ注入工



ひびわれ注入工 フローチャート



参考図書

施工単価表

舗装版破碎

SPK25040306

単第0 -0001 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 12.85%

労務構成比:

81.24%

材料構成比:

5.91%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

217.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 44.05% 労務構成比: 39.87%

SPK25040155

DID区間無し 運搬距離7.5km以下(6.0km超)

材料構成比: 16.08%

単第0 -0002 表

1

m3 当り

標準単価:

2,077.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=2 機械積込(騒対不要, 15cm超)又(騒対要) D=33 運搬距離7.5km以下(6.0km超)		

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0003 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.44%

労務構成比:

10.68%

材料構成比: 87.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,723.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.92%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0003 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.44%

労務構成比: 10.68%

材料構成比: 87.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,723.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	84.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.57%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

区画線設置(溶融式)
実線_15cm

SDT00001

単第0 -0004 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
路面標示用塗料(JISK5665_3種1号) 溶融,鉛・クロムフリー ガラスビーズ含有量15~18% 黄	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=2 黄色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

区画線設置(溶融式)
ゼブラ 45cm

SDT00001

単第0 -0005 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 ゼブラ_45cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	1,785.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	78.750	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	78.750	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	93.450	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=12 ゼブラ_45cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

高欄撤去

SPK25040122

単第0 -0007 表

頁0 -0025

機械構成比: 5.42% 労務構成比: 93.02% 材料構成比: 1.56% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,549.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	5.42%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
溶接工	33.35%		溶接工		RTPC00019 RTPT00019
特殊作業員	27.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	15.26%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	14.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK25040411

単第0 -0008 表

クレーン装置付BT2t積2.9t吊

片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)

1

t 当り

機械構成比: 13.79% 労務構成比:

83.40% 材料構成比: 2.81%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

5,418.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=10 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)			B=1 DID区間無し		

施工単価表

殻運搬

構造物とりこわし

機械構成比: 20.25% 労務構成比:

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)

71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0010 表

1 m3 当り
標準単価: 5,615.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=31 運搬距離7.0km以下(5.5km超)		

施工単価表

橋梁用高欄
高欄(各種)

SPK25040298

単第0 -0011 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 6.80% 材料構成比: 93.20% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m 当り 58,594.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	5.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
柵 車道 材料費	93.20%		高欄(鋼製) B種 丸・縦棧型 ビーム数3本 高さ1,000mm スパン2.0m めっき		F000000031 TTPT00106
積算単価			積算単価		EP001
A=1 組立式 C=22 高欄(各種)			B=2 塗装 D=31 【F】高欄(m)		

施工単価表

橋梁用高欄
高欄(各種)

SPK25040298

単第0 -0012 表

1 m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 6.80%

組立式 塗装

材料構成比: 93.20% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 58,594.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	5.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
柵 歩道 材料費	93.20%		高欄(鋼製) B種 丸・縦棧型 ビーム数3本 高さ1,000mm スパン2.0m めっき		F000000032 TTPT00106
積算単価			積算単価		EP001
A=1 組立式 C=22 高欄(各種)			B=2 塗装 D=32 【F】高欄(m)		

施工単価表

コンクリートアンカーボルト設置
スリーブ打込み式

SPK25040408

単第0 -0018 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

M10(W3/8) × 80 電気亜鉛めっき

1

本 当り

93.00% 材料構成比: 7.00% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,512.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	46.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	22.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	21.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
スリーブ打込み式 M10(W3/8) × 80 電気亜鉛めっき	6.87%		あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12		TTPCD0439 TTPT00217
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 足場有り C=17 M10(W3/8) × 80 電気亜鉛めっき			B=3 スリーブ打込み式		

施工単価表

コンクリートアンカーボルト設置
スリーブ打込み式

SPK25040408

単第0 -0019 表

M12(W1/2) × 100 電気亜鉛めっき

1

本 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

93.00%

材料構成比: 7.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,512.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	46.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	22.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	21.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
スリーブ打込み式 M12(W1/2) × 100 電気亜鉛めっき	6.87%		あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12		TTPCD0440 TTPT00217
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 足場有り C=18 M12(W1/2) × 100 電気亜鉛めっき			B=3 スリーブ打込み式		

施工単価表

橋梁_排水管設置

SPK25040409

単第0 -0020 表

足場有り

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

5,323.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	47.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	30.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	22.12%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 足場有り					

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0023 表

1 1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
注入材 エポキシ樹脂系1種 BLグラウト同等品	0.470	kg			
シール材 エポキシ樹脂系 BLシール同等品	4.096	kg			
注入器具 低圧注入器具	85.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=7 【F】注入材(kg) C=8 【F】シール材(kg) E=9 【F】低圧注入器具(個)			B=0.47 D=2.99 F=85		注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0024 表

1 1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
注入材 エポキシ樹脂系3種 BLグラウト100同等品	0.230	kg			
シール材 エポキシ樹脂系 BLシール同等品	1.480	kg			
注入器具 低圧注入器具	29.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=23 【F】注入材(kg) C=8 【F】シール材(kg) E=9 【F】低圧注入器具(個)			B=0.23 D=1.08 F=29		注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)

施工単価表

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル・4 t 積級

S9050

単第0 -0027 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.20	L			
運転手(一般)	0.89	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.02	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.02	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 C=19.2 E=1 G=0	オンロード・ディーゼル・4 t 積級 軽油消費量 (L / 日) 路面状況:良好 労務単価の夜間等割増率		B=0.89 D=1.02 F=1	運転労務数量 (人 / 日) 機械損料数量 (供用日 / 日)	

施工単価表

循環式プラスト工法

V000002700

単第0 -0032 表

低濃度PCB・鉛対応・制約なし

Rc-1 100m2以上500m2未満

1000

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	14.7	人			
橋りょう塗装工	117.6	人			
循環式プラストマシン 2ノズルタイプ	14.7	台			
プラストノズル・プラストホース賃料	14.7	台			
循環式プラストマシン整備料 低濃度PCB・鉛特別整備費	14.7	台			
空気圧縮機損料 可搬式・スクリュウエンジン 19.4m3/min(第2次排ガス)	14.7	台			
発動発電機損料 ディーゼルエンジン駆動 定格容量100/125KVA(第2次排ガス)	14.7	台			
トラック 4t車 車載式	29.4	日/台			
研削材賃料 スチールグリッド	1,000	m2			
燃料費 軽油(36L*8h*パトロール軽油) 空気圧縮機+発動発電機	14.7	日			
雑材料	5	%			#01 労務費の5%
全体割増		m2			

施工単価表

塗替塗装
上塗り塗装

SDT00029

単第0 -0037 表

1

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 上塗り_弱溶剤形ふっ素樹脂塗料_淡彩 スプレー,時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 E=3 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 G=2 淡彩			B=6 上塗り塗装 F=2 スプレー H=1 -		
I=1 時間的制約なし					

施工単価表

補修用足場工

V0020

単第0 -0038 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
補修用足場 タイプA3 総月数1.4月 吊足場(桁高h<1.5)	83	m2			単第0-0039 表
シート張り防護工 総月数1.4月 一般用地内・河川高水敷部等	83	m2			単第0-0040 表
補修用足場 タイプB 総月数1.4月 両面朝顔	83	m2			単第0-0041 表
板張防護工 タイプB 総月数1.4月 一般用地内・河川高水敷部等 両面朝顔 板張防護	83	m2			単第0-0042 表
シート張防護工 タイプB 総月数1.4月 一般用地内・河川高水敷部等 両面朝顔 シート張防護	83	m2			単第0-0043 表
循環式プラスト養生シート工 組立解体費+損料	83	m2			単第0-0044 表
補修用足場 タイプF 総月数0.5月 吊足場	79	m2			単第0-0045 表
循環式プラスト養生シート工 組立解体費+損料	79	m2			単第0-0044 表
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場
単管足場

S0380
安全ネット設置

単第0 -0046 表

100 掛m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			
とび工	8.400	人			安全ネット設置含む
普通作業員	1.800	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.800	日			
諸雑費	27	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=2 単管足場 C=0 潮待割増			B=2	安全ネットを設置する	

施工単価表

仮設工（鉛対応環境対策資材・ばく露防止対
 プラスト2ノズル対応
 V000003001
 日当たり施工量68m2

単第0 -0047 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉛対応集塵装置賃料 ダスミックFXN-V B160m3/min 相当	0.5	台			
鉛対応集塵機用 カートリッジフィルタ、パッキン	16	本			
エア－シャワー賃料 KAS-P04型 相当	0.5	台			
エア－シャワー用 1次フィルタ－	1	枚			
エア－シャワー用 HEPAフィルタ－	1	枚			
クリーンルーム 簡易セキュリティールーム	1	箇所			
真空掃除機賃料 1台	0.5	月			
真空掃除機用 1次フィルタ－	1	枚			
掃除機用 2次フィルタ－	1	枚			
掃除機用 HEPAフィルタ－	1	個			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

安全費（鉛対応安全衛生保護具・呼吸用保護
 プラスト2ノズル対応
 V000003000
 日当たり施工量68m2

単第0 -0049 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
送気ユニット 接続器共	12	組			
定置式ろ過筒（4人用） ろ過フィルター含む	3	台			
エアラインホース 9 L=20m 12人分	12	本			
エアラインホース 19 L=25m 定置ろ過筒3組分	3	本			
防じんマスク タイプ RL2-2相当 12人分	12	個			
防じんマスク用フィルター（交換用含む） 4日2個組使用/人	48	個			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

§ 1. 補修数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	車道部			歩道部		下部工				合計	計上数量					
					橋面工	上部工	ポステン桁 支承	橋面工	上部工	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	A2橋台							
橋面補修工	舗装更新 (車道)	舗装と りこわ し工	舗装撤去工	アスファルト舗装厚 t=50mm	面積	m ²	481.89	-	-	-	-	-	-	-	481.89	480				
			殻運搬・処理	舗装アスファルト殻	体積	m ³	24.09	-	-	-	-	-	-	-	-	24.09	24			
			重量	t	56.61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56.61	57			
		区画線 工	新設舗装	アスファルト舗装厚 t=50mm	面積	m ²	481.89	-	-	-	-	-	-	-	-	481.89	482			
			区画線設置	溶融式15cm黄実線	長さ	m	51.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51.60	52		
			区画線設置	溶融式45cm白ゼブラ	長さ	m	6.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.00	6		
	舗装更新 (歩道)	舗装と りこわ し工	舗装撤去工	アスファルト舗装厚 t=10mm	面積	m ²	-	-	-	71.24	-	-	-	-	-	71.24	71			
			殻運搬・処理	舗装アスファルト殻	体積	m ³	-	-	-	0.71	-	-	-	-	-	-	0.71	0.7		
			重量	t	-	-	-	-	1.67	-	-	-	-	-	-	1.67	2			
	防護柵更新	舗装工	新設舗装	樹脂モルタル舗装厚 t=10mm	面積	m ²	-	-	-	71.24	-	-	-	-	-	-	71.24	71		
					長さ	m	-	-	-	61.13	-	-	-	-	-	-	-	61.13	61	
					重量	t	-	-	-	0.71	-	-	-	-	-	-	-	0.71	0.71	
					重量	t	-	-	-	0.26	-	-	-	-	-	-	-	0.26	0.26	
					体積	m ³	8.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.42	8
					重量	t	21.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.04	21
		既設防護柵撤去	車道	鋼材処分	Co殻処分 (有鉄筋)	体積	m ³	8.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.42	8	
						重量	t	21.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.04	21
						重量	t	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.16	0.16
						長さ	m	123.91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	123.91	124
	新設防護柵	歩道	鋼材処分	重量	t	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.16	0.16			
長さ				m	-	-	-	61.32	-	-	-	-	-	-	-	61.32	61			
排水施設	排水柵蓋 更新	排水管 更新	P1	個数	個	11.00	-	-	-	-	-	-	-	-	11.00	11				
				個数	個	6.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.00	6		
				個数	個	5.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00	5		
伸縮目地材更新	歩道部	伸縮目地処理工	遊間30~50mm	長さ	m	-	-	-	7.48	-	-	-	-	-	7.48	7.5				
断面修復工	左官工法	ポリマーセメント モルタル	断面修復工(面積)	面積	m ²	0.466	0.370	-	1.120	5.411	0.210	0.520	0.283	0.205	8.59	8.59				
			断面修復工(体積)	体積	m ³	0.024	0.020	-	0.056	0.271	0.021	0.052	0.028	0.021	0.49	0.49				
	殻運搬・処理			体積	m ³	0.024	0.020	-	0.056	0.271	0.021	0.052	0.028	0.021	0.49	0.5				
				重量	t	0.056	0.047	-	0.132	0.636	0.049	0.123	0.066	0.049	1.16	1				
ひびわれ注入工	エポキシ樹脂系 (1種)	0.2~1.0mm未満	注入材	延長	m	-	-	-	-	-	-	3.50	17.80	-	21.30	21.00				
				体積	m ³	-	-	-	-	-	-	-	0.00006	0.00023	-	0.00029	0.00029			
				重量	kg	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.47	0.47		
				重量	kg	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.99	2.99		
	エポキシ樹脂系 (3種)	0.2~1.0mm未満	注入材	延長	m	-	-	-	-	-	-	3.20	-	-	4.30	7.50	8.00			
				体積	m ³	-	-	-	-	-	-	0.00005	-	-	0.00009	0.00014	0.00014			
				重量	kg	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.23	0.23		
				重量	kg	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.08	1.08		
ひびわれ充填工	可とうエポキシ樹 脂	1.0mm以上	延長	m	-	-	-	-	-	2.90	-	-	-	-	2.90	3.00				
				体積	m ³	-	-	-	-	-	-	0.00029	-	-	-	-	0.00029	0.00029		
				重量	kg	-	-	-	-	-	-	0.46	-	-	-	-	0.46	0.46		
表面保護工	表面含浸工	下地処理	シラン系含浸材	面積	m ²	-	-	-	-	-	4.21	-	-	4.55	8.76	8.76				
				面積	m ²	-	-	-	-	-	-	-	4.21	-	-	4.55	8.76	8.76		
				重量	kg	-	-	-	-	-	-	0.84	-	-	-	0.91	1.75	1.75		
維持塗装工	Rc-I系	素地調整(循環式ブラスト)	面積	m ²	-	-	7.13	-	260.67	-	-	-	-	-	267.80	270				
				有機ジンクリッチペイント下塗(600g/m ²)	m ²	-	-	7.13	-	260.67	-	-	-	-	-	-	267.80	270		
				弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗(240g/m ²)	m ²	-	-	7.13	-	260.67	-	-	-	-	-	-	267.80	270		
				弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗(240g/m ²)	m ²	-	-	7.13	-	260.67	-	-	-	-	-	-	267.80	270		
				弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗(170g/m ²)	m ²	-	-	7.13	-	260.67	-	-	-	-	-	-	267.80	270		
				弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗(140g/m ²)	m ²	-	-	7.13	-	260.67	-	-	-	-	-	-	267.80	270		
仮設工	吊足場	タイプA3(高さ h<1.5m)・B・養生シート	タイプF	面積	m ²	-	-	-	-	83.02	-	-	-	-	83.02	83				
				面積	m ²	-	-	79.04	-	-	-	-	-	-	-	79.04	79			
	単管足場	面積	掛m ²	-	26.00	-	-	-	-	-	5.00	82.45	-	113.45	110					

§ 2. 橋面補修工

1. 舗装更新（車道部）

1-1. 舗装とりこわし工

(1) 舗装撤去工

$$\begin{aligned}
 A1-P1 \quad A &= 19.741 \times 7.950 &= 156.94 \text{ m}^2 \\
 P1-P2 \quad A &= 19.741 \times 7.950 &= 156.94 \text{ m}^2 \\
 P2-A2 \quad A &= 0.5 \times (19.741 + 19.755) \times 7.950 + 11.01 \text{ (CAD計測)} \\
 & &= 168.01 \text{ m}^2 \\
 \hline
 \Sigma a &= 481.89 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

(2) 殻運搬・処理 : 舗装アスファルト

$$\begin{aligned}
 \text{体積} \quad V &= 481.89 \times 0.050 &= 24.09 \text{ m}^3 \\
 \text{重量} \quad W &= 24.09 \times 2.350 \text{ (t/m}^3\text{)} &= 56.61 \text{ t}
 \end{aligned}$$

1-2. 舗装工

(1) 新設舗装 アスファルト舗装厚 t= 50 mm

$$\begin{aligned}
 A1-P1 \quad A &= 19.741 \times 7.950 &= 156.94 \text{ m}^2 \\
 P1-P2 \quad A &= 19.741 \times 7.950 &= 156.94 \text{ m}^2 \\
 P2-A2 \quad A &= 0.5 \times (19.741 + 19.755) \times 7.950 + 11.01 \text{ (CAD計測)} \\
 & &= 168.01 \text{ m}^2 \\
 \hline
 \Sigma a &= 481.89 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

1-3. 舗装更新総括表 車道部

工 種		種 別	細 別	規格	単位	合 計
舗装更新	舗装とりこわし工	舗装切断工	アスファルト舗装厚 t=50mm	長さ	m	186.67
		舗装撤去工	アスファルト舗装厚 t=50mm	面積	m ²	481.89
		殻運搬・処理	舗装アスファルト殻	体積	m ³	24.09
	重量			t	56.61	
	舗装工	新設舗装	アスファルト舗装厚 t=50mm	面積	m ²	481.89

1-4. 区画線設置

(1) 溶融式

$$\begin{aligned}
 \text{黄実線15cm} \quad L &= 53.0 - 0.700 \times 2 &= 51.60 \text{ m} \\
 \text{白停止線45cm} \quad L &= 3.0 \times 2 &= 6.00 \text{ m}
 \end{aligned}$$

§ 3. 伸縮目地材更新

3. 伸縮目地材更新（歩道部）

3-1. 伸縮目地工

A1橋台	L=	1.728	+	0.322		=	2.05	m		
P1橋脚	L=	1.188	+	0.305	+	0.20	=	1.69	m	
P2橋脚	L=	1.188	+	0.305	+	0.20	=	1.69	m	
A2橋台	L=	1.750	+	0.300		=	2.05	m		
							Σa	=	7.48	m

シール材

		m		D		遊間						
A1橋台	V=	2.05	×	0.02	×	0.035	×	1000	=	1.435	L	
P1橋脚	V=	1.69	×	0.02	×	0.045	×	1000	=	1.521	L	
P2橋脚	V=	1.69	×	0.02	×	0.035	×	1000	=	1.183	L	
A2橋台	V=	2.05	×	0.02	×	0.025	×	1000	=	1.025	L	
									Σa	=	5.164	L

バックアップ材

		m		D		遊間						
A1橋台	V=	2.05	×	0.04	×	0.035	×	1000	=	2.870	L	
P1橋脚	V=	1.69	×	0.04	×	0.045	×	1000	=	3.042	L	
P2橋脚	V=	1.69	×	0.04	×	0.035	×	1000	=	2.366	L	
A2橋台	V=	2.05	×	0.04	×	0.025	×	1000	=	2.050	L	
									Σa	=	10.328	L

3-2. 伸縮目地材更新表 歩道部

	単位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	A2橋台	合計
伸縮目地工	m	2.05	1.69	1.69	2.05	7.48

2. 防護柵更新（車道部）

2-1. 既設防護柵撤去（車道部）

・SGPφ30

箇所	形状	計算式			個数	重量(kg)	備考
		長さ	×	単位重量			
		(m)		(kg/m)			
鋼製横ビーム	φ30	0.400	×	1.68	12	8.06	A1-P1
〃	〃	0.980	×	1.68	4	6.59	〃
〃	〃	1.000	×	1.68	4	6.72	〃
〃	〃	1.150	×	1.68	16	30.91	〃
〃	〃	0.400	×	1.68	12	8.06	P1-P2
〃	〃	0.980	×	1.68	4	6.59	〃
〃	〃	1.000	×	1.68	4	6.72	〃
〃	〃	1.150	×	1.68	16	30.91	〃
〃	〃	0.360	×	1.68	7	4.23	P2-A2
〃	〃	0.400	×	1.68	6	4.03	〃
〃	〃	0.970	×	1.68	1	1.63	〃
〃	〃	0.980	×	1.68	2	3.29	〃
〃	〃	1.000	×	1.68	14	23.52	〃
〃	〃	1.130	×	1.68	1	1.90	〃
〃	〃	1.150	×	1.68	8	15.46	〃
小計					=	158.62	kg
					=	0.16	ton

・コンクリート高欄

箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	×	高さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
笠木	20.35	×	0.20	×	2	=	8.140	×	0.25	=	2.0350	A1-P1
支柱	0.27	×	0.40	×	2	=	0.216	×	0.20	=	0.0432	〃
〃	0.32	×	0.40	×	2	=	0.256	×	0.20	=	0.0512	〃
〃	0.10	×	0.40	×	24	=	0.960	×	0.15	=	0.1440	〃
〃	0.60	×	0.40	×	10	=	2.400	×	0.20	=	0.4800	〃
笠木	20.35	×	0.20	×	2	=	8.140	×	0.25	=	2.0350	P1-P2
支柱	0.27	×	0.40	×	2	=	0.216	×	0.20	=	0.0432	〃
〃	0.32	×	0.40	×	2	=	0.256	×	0.20	=	0.0512	〃
〃	0.10	×	0.40	×	24	=	0.960	×	0.15	=	0.1440	〃
〃	0.60	×	0.40	×	10	=	2.400	×	0.20	=	0.4800	〃
笠木	20.35	×	0.20	×	1	=	4.070	×	0.25	=	1.0175	P2-A2
〃	22.24	×	0.20	×	1	=	4.448	×	0.25	=	1.1120	〃
支柱	0.27	×	0.40	×	1	=	0.108	×	0.20	=	0.0216	〃
〃	0.30	×	0.40	×	3	=	0.360	×	0.20	=	0.0720	〃
〃	0.32	×	0.40	×	2	=	0.256	×	0.20	=	0.0512	〃
〃	0.10	×	0.40	×	26	=	1.040	×	0.15	=	0.1560	〃
〃	0.60	×	0.40	×	10	=	2.400	×	0.20	=	0.4800	〃
合計							124		36.626		8.417	

■ 搬運・処理

$$\begin{aligned} \text{有筋コンクリート} \quad v &= 8.417 \text{ m}^3 \\ W &= 8.417 \times 2.50 = 21.043 \text{ t} \end{aligned}$$

2-2. 集計表

既設防護柵撤去	単位	合計
鋼製横ビーム	t	0.16
コンクリート高欄	m ³	8.42
	t	21.04

2-3. 防護柵撤去（歩道）

(1) 既設防護柵撤去 L= 61.13 m

(2) スクラップ

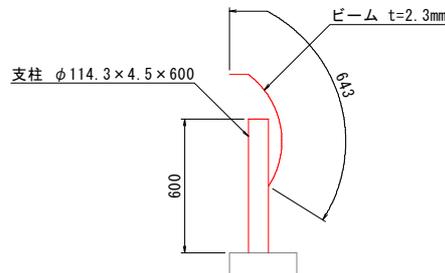
・ ビーム (ヘビー H3)

	板厚(mm)	単位面積(m ² /m)	延長(m)	体積(m ³)	単位重量(t/m ³)	重量(t)
A1-P1	2.3	0.643	20.35	0.0301	7.85	0.236
P1-P2	2.3	0.643	20.35	0.0301	7.85	0.236
P2-A2	2.3	0.643	20.35	0.0301	7.85	0.236
					合計	0.71

・ 支柱 (ヘビー H1)

1本当たり面積 $A = 2 \times \pi \times 0.05715 \times 0.600 + \pi \times 0.05715^2 = 0.2257 \text{ m}^2$

	板厚(mm)	単位面積(m ² /m)	本数	体積(m ³)	単位重量(t/m ³)	重量(t)
A1-P1	4.5	0.2257	11	0.0112	7.85	0.088
P1-P2	4.5	0.2257	11	0.0112	7.85	0.088
P2-A2	4.5	0.2257	11	0.0112	7.85	0.088
					合計	0.26



2-4. 高欄撤去（車道）

高欄撤去（左側） L= 61.05 m

高欄撤去（右側） L= 62.94 m

2-5. 新設防護柵（車道部）

L= 61.13 + 62.78 = 123.91 m

2-6. 新設防護柵（歩道部）

L= 61.32 m

2-7. 排水柵更新（車道部）

N= 11 個

2-8. 排水管更新 (車道部)

P1 N= 6 個

P2 N= 5 個

アンカー-M10×80 3 × (6 + 5) = 33 個

アンカー-M12×100 2 × (6 + 5) = 22 個

排水管 (0.1515+0.650) × 6 + (0.1515+0.196+0.510) × 5 = 9.10 m

3. 舗装更新 (歩道部)

3-1. 舗装とりこわし工 (歩道部)

(1) 舗装撤去工

A1-P1 A= 23.981 (CAD計測) = 23.98 m²

P1-P2 A= 19.741 × 1.170 = 23.10 m²

P2-A2 A= 24.158 (CAD計測) = 24.16 m²

Σ a = 71.24 m²

(2) 殻運搬・処理 : 舗装アスファルト

体積 V= 71.24 × 0.010 = 0.71 m³

重量 W= 0.71 × 2.350 (t/m³) = 1.67 t

3-2. 舗装工 (歩道部)

(1) 新設舗装 樹脂モルタル舗装厚 t= 10 mm

A1-P1 A= 23.981 (CAD計測) = 23.98 m²

P1-P2 A= 19.741 × 1.170 = 23.10 m²

P2-A2 A= 24.158 (CAD計測) = 24.16 m²

Σ a = 71.24 m²

3-3. 舗装更新総括表 歩道部

工 種		種 別	細 別	規格	単位	合 計
舗装更新	舗装とりこわし工	舗装切断工	アスファルト舗装厚 t=10mm	長さ	m	128.02
		舗装撤去工	アスファルト舗装厚 t=10mm	面積	m ²	71.24
		殻運搬・処理	舗装アスファルト殻	体積	m ³	0.71
	重量			t	1.67	
	舗装工	新設舗装	樹脂モルタル舗装厚 t=10mm	面積	m ²	71.24

§ 4. 断面修復工

1. 橋面工、及び上部工

1-1. 地覆(車道部)

(1) 剥離・鉄筋露出

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 50 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
A1-P1	0.20	×	0.05	×	1	=	0.010	0.500	0.010	×	0.05	=	0.0005	側面
P1-P2	0.20	×	0.10	×	1	=	0.020	0.600	0.020	×	0.05	=	0.0010	〃
P2-A2	0.10	×	0.10	×	1	=	0.010	0.400	0.010	×	0.05	=	0.0005	上面
〃	0.10	×	0.20	×	1	=	0.020	0.600	0.020	×	0.05	=	0.0010	〃
〃	0.15	×	0.15	×	1	=	0.023	0.600	0.023	×	0.05	=	0.0012	〃
〃	0.15	×	0.15	×	5	=	0.113	3.000	0.113	×	0.05	=	0.0057	側面
〃	0.20	×	0.10	×	1	=	0.020	0.600	0.020	×	0.05	=	0.0010	〃
〃	0.20	×	0.20	×	2	=	0.080	1.600	0.080	×	0.05	=	0.0040	上面
合計						13	0.296	7.900					0.015	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積)	=	0.296	m ²
カッター延長	=	7.900	m
はつり工	=	0.015	m ³
プライマー工	=	0.296	m ²
断面修復 (体積)	=	0.015	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.015	m ³
	W = 0.015 × 2.35	=	0.035 t

(2) うき

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 50 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
A1-P1	0.20	×	0.10	×	1	=	0.020	0.600	0.020	×	0.05	=	0.0010	上面
〃	0.50	×	0.30	×	1	=	0.150	1.600	0.150	×	0.05	=	0.0075	側面
合計						2	0.170	2.200					0.009	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積)	=	0.170	m ²
カッター延長	=	2.200	m
はつり工	=	0.009	m ³
プライマー工	=	0.170	m ²
断面修復 (体積)	=	0.009	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.009	m ³
	W = 0.009 × 2.35	=	0.021 t

(3) 断面修復工集計表 (車道部 地覆)

地覆(車道部)	単位	剥離・鉄筋露出	うき	合計
断面修復工(面積)	m ²	0.296	0.170	0.466
カッター延長	m	7.900	2.200	10.100
はつり工	m ³	0.015	0.009	0.024
プライマー工	m ²	0.296	0.170	0.466
断面修復工(体積)	m ³	0.015	0.009	0.024

殻運搬・処理	m ³	0.015	0.009	0.024
	t	0.035	0.021	0.056

1-2. 地覆(歩道部)

(1) 剥離・鉄筋露出、変形・欠損

■断面修復工面積・体積 ・補修深さ t= 50 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
A1-P1 地覆	0.10	×	0.15	×	36	=	0.540	18.000	0.540	×	0.05	=	0.0270	左側
〃	0.20	×	0.20	×	4	=	0.160	3.200	0.160	×	0.05	=	0.0080	〃
〃	0.30	×	0.20	×	1	=	0.060	1.000	0.060	×	0.05	=	0.0030	〃
P1-P2 地覆	0.10	×	0.15	×	21	=	0.315	10.500	0.315	×	0.05	=	0.0158	〃
P2-A2 地覆	0.10	×	0.15	×	3	=	0.045	1.500	0.045	×	0.05	=	0.0023	〃
合計						65	1.120	34.200				0.056		

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工(左官工法)

断面修復(面積)	=	1.120	m ²
カッター延長	=	34.200	m
はつり工	=	0.056	m ³
プライマー工	=	1.120	m ²
断面修復(体積)	=	0.056	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.056	m ³
	W = 0.056 × 2.35	=	0.132 t

(2) 断面修復工集計表(歩道部 地覆)

地覆(歩道部)	単位	剥離・鉄筋露出、変形・欠損	合計
断面修復工(面積)	m ²	1.120	1.120
カッター延長	m	34.200	34.200
はつり工	m ³	0.056	0.056
プライマー工	m ²	1.120	1.120
断面修復工(体積)	m ³	0.056	0.056

殻運搬・処理	m ³	0.056	0.056
	t	0.132	0.132

1-3. 車道部上部工（主桁、横桁）

(1) 剥離・鉄筋露出

■断面修復工面積・体積 ・補修深さ t= 50 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
P2-A2 G1	0.10	×	0.10	×	5	=	0.050	2.000	0.050	×	0.05	=	0.0025	上フランジ下面
"	0.10	×	0.10	×	1	=	0.010	0.400	0.010	×	0.05	=	0.0005	腹板
P2-A2 G10	0.10	×	0.10	×	4	=	0.040	1.600	0.040	×	0.05	=	0.0020	上フランジ下面
"	0.50	×	0.10	×	1	=	0.050	1.200	0.050	×	0.05	=	0.0025	"
P2-A2 バチ桁	0.10	×	0.20	×	1	=	0.020	0.600	0.020	×	0.05	=	0.0010	腹板
A1-P1 横桁	0.10	×	0.10	×	1	=	0.010	0.400	0.010	×	0.05	=	0.0005	正面
P1-P2 横桁	0.10	×	0.10	×	2	=	0.020	0.800	0.020	×	0.05	=	0.0010	正面
"	0.10	×	0.10	×	1	=	0.010	0.400	0.010	×	0.05	=	0.0005	下面
"	0.20	×	0.10	×	1	=	0.020	0.600	0.020	×	0.05	=	0.0010	正面
合計							17	0.230	8.000				0.012	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工（左官工法）

断面修復（面積）	=	0.230	m ²
カッター延長	=	8.000	m
はつり工	=	0.012	m ³
プライマー工	=	0.230	m ²
断面修復（体積）	=	0.012	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.012	m ³
	W = 0.012 × 2.35	=	0.028 t

(2) 断面修復工集計表（車道部 主桁、横桁）

主桁、横桁 (車道部)	単位	剥離・鉄筋露出		合計
断面修復工(面積)	m ²	0.230		0.230
カッター延長	m	8.000		8.000
はつり工	m ³	0.012		0.012
プライマー工	m ²	0.230		0.230
断面修復工(体積)	m ³	0.012		0.012

殻運搬・処理	m ³	0.012		0.012
	t	0.028		0.028

1-4. 車道部上部工（床版）

(1) 剥離・鉄筋露出

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 50 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
P2-A2 張り出し床版	0.10	×	0.10	×	6	=	0.060	2.400	0.060	×	0.05	=	0.0030	側面
〃	0.30	×	0.10	×	1	=	0.030	0.800	0.030	×	0.05	=	0.0015	下面
合計						7	0.090	3.200				0.005		

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工（左官工法）

断面修復（面積）	=	0.090	m ²
カッター延長	=	3.200	m
はつり工	=	0.005	m ³
プライマー工	=	0.090	m ²
断面修復（体積）	=	0.005	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.005	m ³
	W =	0.005 × 2.35	= 0.012 t

(2) うき

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 50 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
P2-A2 張り出し床版	0.10	×	0.10	×	1	=	0.010	0.400	0.010	×	0.05	=	0.0005	下面
〃	0.10	×	0.10	×	1	=	0.010	0.400	0.010	×	0.05	=	0.0005	側面
〃	0.30	×	0.10	×	1	=	0.030	0.800	0.030	×	0.05	=	0.0015	〃
合計						3	0.050	1.600				0.003		

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工（左官工法）

断面修復（面積）	=	0.050	m ²
カッター延長	=	1.600	m
はつり工	=	0.003	m ³
プライマー工	=	0.050	m ²
断面修復（体積）	=	0.003	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.003	m ³
	W =	0.003 × 2.35	= 0.007 t

(3) 断面修復工集計表（車道部 床版）

車道部上部工 （床版）	単位	剥離・鉄筋露出	うき	合計
断面修復工（面積）	m ²	0.090	0.050	0.140
カッター延長	m	3.200	1.600	4.800
はつり工	m ³	0.005	0.003	0.008
プライマー工	m ²	0.090	0.050	0.140
断面修復工（体積）	m ³	0.005	0.003	0.008

殻運搬・処理	m ³	0.005	0.003	0.008
	t	0.012	0.007	0.019

1-5. 歩道部上部工（床版）

(1) 剥離・鉄筋露出

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 50 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カット延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
A1-P1 床版01	0.10	×	0.10	×	14	=	0.140	5.600	0.140	×	0.05	=	0.0070	下面
"	0.20	×	0.10	×	4	=	0.080	2.400	0.080	×	0.05	=	0.0040	"
"	0.30	×	0.10	×	5	=	0.150	4.000	0.150	×	0.05	=	0.0075	"
"	0.50	×	0.10	×	2	=	0.100	2.400	0.100	×	0.05	=	0.0050	"
"	0.67	×	0.10	×	2	=	0.134	3.080	0.134	×	0.05	=	0.0067	"
A1-P1 床版02	0.10	×	0.10	×	5	=	0.050	2.000	0.050	×	0.05	=	0.0025	"
"	0.10	×	0.20	×	5	=	0.100	3.000	0.100	×	0.05	=	0.0050	"
"	0.10	×	0.30	×	1	=	0.030	0.800	0.030	×	0.05	=	0.0015	"
"	0.10	×	0.40	×	2	=	0.080	2.000	0.080	×	0.05	=	0.0040	"
"	0.10	×	0.55	×	3	=	0.165	3.900	0.165	×	0.05	=	0.0083	"
"	0.20	×	0.55	×	2	=	0.220	3.000	0.220	×	0.05	=	0.0110	"
P1-P2 床版01	0.10	×	0.10	×	10	=	0.100	4.000	0.100	×	0.05	=	0.0050	"
"	0.20	×	0.10	×	5	=	0.100	3.000	0.100	×	0.05	=	0.0050	"
"	0.30	×	0.10	×	2	=	0.060	1.600	0.060	×	0.05	=	0.0030	"
"	0.40	×	0.10	×	3	=	0.120	3.000	0.120	×	0.05	=	0.0060	"
"	0.50	×	0.10	×	1	=	0.050	1.200	0.050	×	0.05	=	0.0025	"
"	0.67	×	0.10	×	4	=	0.268	6.160	0.268	×	0.05	=	0.0134	"
P1-P2 床版02	0.10	×	0.10	×	2	=	0.020	0.800	0.020	×	0.05	=	0.0010	"
"	0.10	×	0.20	×	1	=	0.020	0.600	0.020	×	0.05	=	0.0010	"
"	0.10	×	0.30	×	5	=	0.150	4.000	0.150	×	0.05	=	0.0075	"
"	0.10	×	0.55	×	1	=	0.055	1.300	0.055	×	0.05	=	0.0028	"
"	0.20	×	0.10	×	1	=	0.020	0.600	0.020	×	0.05	=	0.0010	"
"	0.20	×	0.55	×	3	=	0.330	4.500	0.330	×	0.05	=	0.0165	"
"	0.40	×	0.10	×	1	=	0.040	1.000	0.040	×	0.05	=	0.0020	"
P2-A2 床版01	0.10	×	0.10	×	15	=	0.150	6.000	0.150	×	0.05	=	0.0075	"
"	0.20	×	0.10	×	7	=	0.140	4.200	0.140	×	0.05	=	0.0070	"
"	0.30	×	0.10	×	3	=	0.090	2.400	0.090	×	0.05	=	0.0045	"
"	0.40	×	0.10	×	5	=	0.200	5.000	0.200	×	0.05	=	0.0100	"
"	0.50	×	0.10	×	2	=	0.100	2.400	0.100	×	0.05	=	0.0050	"
"	0.60	×	0.10	×	1	=	0.060	1.400	0.060	×	0.05	=	0.0030	"
"	0.67	×	0.15	×	1	=	0.101	1.640	0.101	×	0.05	=	0.0051	"
P2-A2 床版02	0.10	×	0.10	×	5	=	0.050	2.000	0.050	×	0.05	=	0.0025	"
"	0.10	×	0.20	×	1	=	0.020	0.600	0.020	×	0.05	=	0.0010	"
"	0.10	×	0.30	×	1	=	0.030	0.800	0.030	×	0.05	=	0.0015	"
"	0.10	×	0.40	×	1	=	0.040	1.000	0.040	×	0.05	=	0.0020	"
"	0.10	×	0.55	×	3	=	0.165	3.900	0.165	×	0.05	=	0.0083	"
"	0.15	×	0.15	×	1	=	0.023	0.600	0.023	×	0.05	=	0.0012	"
"	0.20	×	0.10	×	1	=	0.020	0.600	0.020	×	0.05	=	0.0010	"
"	0.20	×	0.20	×	1	=	0.040	0.800	0.040	×	0.05	=	0.0020	"
"	0.20	×	0.55	×	5	=	0.550	7.500	0.550	×	0.05	=	0.0275	"
"	0.30	×	0.55	×	2	=	0.330	3.400	0.330	×	0.05	=	0.0165	"
"	0.60	×	0.20	×	1	=	0.120	1.600	0.120	×	0.05	=	0.0060	"
P2-A2 床版03	0.10	×	0.10	×	5	=	0.050	2.000	0.050	×	0.05	=	0.0025	"
"	0.20	×	0.10	×	1	=	0.020	0.600	0.020	×	0.05	=	0.0010	"
合計					146		4.881	112.380					0.244	

注) カット延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工（左官工法）

断面修復（面積） = 4.881 m²

カッター延長 = 112.380 m

はつり工 = 0.244 m³

プライマー工 = 4.881 m²

断面修復（体積） = 0.244 m³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート v = 0.244 m³

W = 0.244 × 2.35 = 0.573 t

(2) うき

■断面修復工面積・体積 ・補修深さ t= 50 mmとする。

補修箇所	横 (m)	縦 (m)	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考		
A1-P1 床版02	0.10	×	0.20	×	2	=	0.040	1.200	0.040	×	0.05	=	0.0020	下面
"	0.10	×	0.55	×	3	=	0.165	3.900	0.165	×	0.05	=	0.0083	"
P1-P2 床版02	0.10	×	0.55	×	2	=	0.110	2.600	0.110	×	0.05	=	0.0055	"
"	0.20	×	0.55	×	1	=	0.110	1.500	0.110	×	0.05	=	0.0055	"
P2-A2 床版02	0.10	×	0.15	×	1	=	0.015	0.500	0.015	×	0.05	=	0.0008	"
"	0.10	×	0.20	×	1	=	0.020	0.600	0.020	×	0.05	=	0.0010	"
"	0.10	×	0.30	×	1	=	0.030	0.800	0.030	×	0.05	=	0.0015	"
"	0.10	×	0.40	×	1	=	0.040	1.000	0.040	×	0.05	=	0.0020	"
合計					12	0.530	12.100				0.027			

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積)	=	0.530	m ²
カッター延長	=	12.100	m
はつり工	=	0.027	m ³
プライマー工	=	0.530	m ²
断面修復 (体積)	=	0.027	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =		0.027	m ³			
	W =	0.027	×	2.35	=	0.063	t

(3) 断面修復工集計表 (歩道部 床版)

歩道部上部工 (床版)	単位	剥離・鉄筋露出	うき	合計
断面修復工(面積)	m ²	4.881	0.530	5.411
カッター延長	m	112.380	12.100	124.480
はつり工	m ³	0.244	0.027	0.271
プライマー工	m ²	4.881	0.530	5.411
断面修復工(体積)	m ³	0.244	0.027	0.271

殻運搬・処理	m ³	0.244	0.027	0.271
	t	0.573	0.063	0.636

1-6. 橋面工、上部工 断面修復工総括表

橋面工 上部工	単位	車道部				歩道部		合計
		橋面工	上部工			橋面工	上部工	
			地覆	主桁、横桁	床版			
断面修復(面積)	m ²	0.466	0.230	0.140	0.370	1.120	5.411	7.367
断面修復(体積)	m ³	0.024	0.012	0.008	0.020	0.056	0.271	0.371
殻運搬・処理	m ³	0.024	0.012	0.008	0.020	0.056	0.271	0.371
	t	0.056	0.028	0.019	0.047	0.132	0.636	0.871

2. 下部工

2-1. A1橋台(歩道部)

(1) うき

■断面修復工面積・体積 ・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
A1橋台	0.30	×	0.70	×	1	=	0.210	2.000	0.210	×	0.10	=	0.0210	正面
合計						1	0.210	2.000				0.021		

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積)	=	0.210	m ²
カッター延長	=	2.000	m
はつり工	=	0.021	m ³
プライマー工	=	0.210	m ²
断面修復 (体積)	=	0.021	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.021	m ³
	W =	0.021 × 2.35	= 0.049 t

(2) 断面修復工集計表 (歩道部 A1橋台)

A1橋台 (歩道部)	単位	うき		合計
断面修復工(面積)	m ²	0.210		0.210
カッター延長	m	2.000		2.000
はつり工	m ³	0.021		0.021
プライマー工	m ²	0.210		0.210
断面修復工(体積)	m ³	0.021		0.021
殻運搬・処理	m ³	0.021		0.021
	t	0.049		0.049

2-2. P1橋脚(車道部)

(1) うき

■断面修復工面積・体積 ・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
P1橋脚	0.30	×	0.60	×	1	=	0.180	1.800	0.180	×	0.10	=	0.0180	起点側
"	0.80	×	0.30	×	1	=	0.240	2.200	0.240	×	0.10	=	0.0240	下流側
合計							0.420	4.000					0.042	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工(左官工法)

断面修復(面積)	=	0.420	m ²
カッター延長	=	4.000	m
はつり工	=	0.042	m ³
プライマー工	=	0.420	m ²
断面修復(体積)	=	0.042	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =		0.042	m ³			
	W =	0.042	×	2.35	=	0.099	t

(2) 断面修復工集計表(車道部 P1橋脚)

P1橋脚 (車道部)	単位	うき		合計
断面修復工(面積)	m ²	0.420		0.420
カッター延長	m	4.000		4.000
はつり工	m ³	0.042		0.042
プライマー工	m ²	0.420		0.420
断面修復工(体積)	m ³	0.042		0.042

殻運搬・処理	m ³	0.042		0.042
	t	0.099		0.099

2-3. P1橋脚(歩道部)

(1) 剥離・鉄筋露出

■断面修復工面積・体積 ・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
P1橋脚	0.50	×	0.20	×	1	=	0.100	1.400	0.100	×	0.10	=	0.0100	上流側
合計							0.100	1.400				0.010		

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復(面積) = 0.100 m²

カッター延長 = 1.400 m

はつり工 = 0.010 m³

プライマー工 = 0.100 m²

断面修復(体積) = 0.010 m³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート v = 0.010 m³

W = 0.010 × 2.35 = 0.024 t

(2) 断面修復工集計表 (歩道部 P1橋脚)

P1橋脚 (歩道部)	単位	剥離・鉄筋露出		合計
断面修復工(面積)	m ²	0.100		0.100
カッター延長	m	1.400		1.400
はつり工	m ³	0.010		0.010
プライマー工	m ²	0.100		0.100
断面修復工(体積)	m ³	0.010		0.010
殻運搬・処理	m ³	0.010		0.010
	t	0.024		0.024

2-4. P2橋脚(車道部)

(1) 剥離・鉄筋露出

■断面修復工面積・体積 ・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
P2橋脚	0.15	×	0.15	×	1	=	0.023	0.600	0.023	×	0.10	=	0.0023	終点側
合計						1	0.023	0.600				0.002		

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積)	=	0.023	m ²
カッター延長	=	0.600	m
はつり工	=	0.002	m ³
プライマー工	=	0.023	m ²
断面修復 (体積)	=	0.002	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.002	m ³
	W =	0.002 × 2.35	= 0.005 t

(2) うき

■断面修復工面積・体積 ・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
P2橋脚	0.15	×	0.40	×	1	=	0.060	1.100	0.060	×	0.10	=	0.0060	起点側
"	0.20	×	0.20	×	1	=	0.040	0.800	0.040	×	0.10	=	0.0040	下流側
"	1.30	×	0.10	×	1	=	0.130	2.800	0.130	×	0.10	=	0.0130	"
合計						3	0.230	4.700				0.023		

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積)	=	0.230	m ²
カッター延長	=	4.700	m
はつり工	=	0.023	m ³
プライマー工	=	0.230	m ²
断面修復 (体積)	=	0.023	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.023	m ³
	W =	0.023 × 2.35	= 0.054 t

(3) 断面修復工集計表 (車道部 P2橋脚)

P2橋脚 (車道部)	単位	剥離・鉄筋 露出	うき	合計
断面修復工 (面積)	m ²	0.023	0.230	0.253
カッター延長	m	0.600	4.700	5.300
はつり工	m ³	0.002	0.023	0.025
プライマー工	m ²	0.023	0.230	0.253
断面修復工 (体積)	m ³	0.002	0.023	0.025

殻運搬・処理	m ³	0.002	0.023	0.025
	t	0.005	0.054	0.059

2-5. P2橋脚(歩道部)

(1) うき

■断面修復工面積・体積 ・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
P2橋脚	0.30	×	0.10	×	1	=	0.030	0.800	0.030	×	0.10	=	0.0030	上流側
合計					1		0.030	0.800					0.003	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復(面積) = 0.030 m²

カッター延長 = 0.800 m

はつり工 = 0.003 m³

プライマー工 = 0.030 m²

断面修復(体積) = 0.003 m³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート v = 0.003 m³

W = 0.003 × 2.35 = 0.007 t

(2) 断面修復工集計表 (歩道部 P2橋脚)

P2橋脚 (歩道部)	単位	うき		合計
断面修復工(面積)	m ²	0.030		0.030
カッター延長	m	0.800		0.800
はつり工	m ³	0.003		0.003
プライマー工	m ²	0.030		0.030
断面修復工(体積)	m ³	0.003		0.003
殻運搬・処理	m ³	0.003		0.003
	t	0.007		0.007

2-6. A2橋台(車道部)

(1) 変形・欠損

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
A2橋台	0.15	×	0.30	×	1	=	0.045	0.900	0.045	×	0.10	=	0.0045	正面
合計						1	0.045	0.900				0.005		

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復(面積) = 0.045 m²

カッター延長 = 0.900 m

はつり工 = 0.005 m³

プライマー工 = 0.045 m²

断面修復(体積) = 0.005 m³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート v = 0.005 m³

W = 0.005 × 2.35 = 0.012 t

(2) 断面修復工集計表 (A2橋台)

A2橋台(車道部)	単位	変形・欠損		合計
断面修復工(面積)	m ²	0.045		0.045
カッター延長	m	0.900		0.900
はつり工	m ³	0.005		0.005
プライマー工	m ²	0.045		0.045
断面修復工(体積)	m ³	0.005		0.005
殻運搬・処理	m ³	0.005		0.005
	t	0.012		0.012

2-7. A2橋台(歩道部)

(1) 剥離・鉄筋露出

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
A2橋台	0.10	×	0.10	×	1	=	0.010	0.400	0.010	×	0.10	=	0.0010	側面
合計						1	0.010	0.400					0.001	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積)	=	0.010	m ²
カッター延長	=	0.400	m
はつり工	=	0.001	m ³
プライマー工	=	0.010	m ²
断面修復 (体積)	=	0.001	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.001	m ³
	W =	0.001 × 2.35	= 0.002 t

(2) うき

■断面修復工面積・体積

・補修深さ t= 100 mmとする。

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (本)	=	面積 (m ²)	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	×	深さ (m)	=	体積 (m ³)	備考
A2橋台	0.20	×	0.75	×	1	=	0.150	1.900	0.150	×	0.10	=	0.0150	正面
合計						1	0.150	1.900					0.015	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所 で求める

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積)	=	0.150	m ²
カッター延長	=	1.900	m
はつり工	=	0.015	m ³
プライマー工	=	0.150	m ²
断面修復 (体積)	=	0.015	m ³

■殻運搬・処理

無筋コンクリート	v =	0.015	m ³
	W =	0.015 × 2.35	= 0.035 t

(3) 断面修復工集計表 (歩道部 A2橋台)

A2橋台 (歩道部)	単位	剥離・鉄筋露出	うき	合計
断面修復工(面積)	m ²	0.010	0.150	0.160
カッター延長	m	0.400	1.900	2.300
はつり工	m ³	0.001	0.015	0.016
プライマー工	m ²	0.010	0.150	0.160
断面修復工(体積)	m ³	0.001	0.015	0.016

殻運搬・処理	m ³	0.001	0.015	0.016
	t	0.002	0.035	0.037

2-8. 下部工 断面修復工総括表

下部工	単位	A1橋台			P1橋脚		
		車道部	歩道部	小計	車道部	歩道部	小計
断面修復(面積)	m ²	---	0.210	0.210	0.420	0.100	0.520
断面修復(体積)	m ³	---	0.021	0.021	0.042	0.010	0.052

設運搬・処理	m ³	---	0.021	0.021	0.042	0.010	0.052
	t	---	0.049	0.049	0.099	0.024	0.123

P2橋脚			A2橋台			合計
車道部	歩道部	小計	車道部	歩道部	小計	
0.253	0.030	0.283	0.045	0.160	0.205	1.218
0.025	0.003	0.028	0.005	0.016	0.021	0.122

0.025	0.003	0.028	0.005	0.016	0.021	0.122
0.059	0.007	0.066	0.012	0.037	0.049	0.287

§ 5. ひびわれ注入工

1. 下部工

1-1. 歩道部 A1橋台（エポキシ樹脂3種）

(1) 0.2 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)
A1橋台	0.2	×	4	=	0.80	0.3	×	4	=	1.20	0.6	×	1	=	0.60
合計											9			2.60	

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 2.60 \times 0.0002 \times 0.05 = 0.00003 \text{ m}^3$$

(2) 0.8 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)
A1橋台	0.6	×	1	=	0.60		×		=			×		=	
合計											1			0.60	

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 0.60 \times 0.0008 \times 0.05 = 0.00002 \text{ m}^3$$

(3) ひびわれ注入工集計： エポキシ樹脂3種

・ ひびわれ延長

ひびわれ幅	単位	延長	合計
0.2mm	m	2.60	2.60
0.8mm	m	0.60	0.60
合計	m		3.20

・ ひびわれ体積 ※. ひびわれ深さは、全て5cmと仮定

ひびわれ幅	単位	体積	合計
0.2mm	m ³	0.00003	0.00003
0.8mm	m ³	0.00002	0.00002
合計	m ³		0.00005

1-2. 車道部 P1橋脚（エポキシ樹脂1種）

(1) 0.2 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	
P1橋脚	1.3	×	1	=	1.30											
合計															1	1.30

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 1.30 \times 0.0002 \times 0.05 = 0.00001 \text{ m}^3$$

(2) ひびわれ注入工集計： エポキシ樹脂1種

・ ひびわれ延長

ひびわれ幅	単位	延長	合計
0.2mm	m	1.30	1.30
合計	m		1.30

・ ひびわれ体積 ※. ひびわれ深さは、全て5cmと仮定

ひびわれ幅	単位	体積	合計
0.2mm	m ³	0.00001	0.00001
合計	m ³		0.00001

1-3. 歩道部 P1橋脚（エポキシ樹脂1種）

(1) 0.3 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m) × 本数 (本) =	延長 (m)	長さ (m) × 本数 (本) =	延長 (m)	長さ (m) × 本数 (本) =	延長 (m)
P1橋脚	1.1 × 1 =	1.10				
合計					1	1.10

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 1.10 \times 0.0003 \times 0.05 = 0.00002 \text{ m}^3$$

(2) 0.4 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m) × 本数 (本) =	延長 (m)	長さ (m) × 本数 (本) =	延長 (m)	長さ (m) × 本数 (本) =	延長 (m)
P1橋脚	0.8 × 1 =	0.80				
合計					1	0.80

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 0.80 \times 0.0004 \times 0.05 = 0.00002 \text{ m}^3$$

(3) 0.8 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m) × 本数 (本) =	延長 (m)	長さ (m) × 本数 (本) =	延長 (m)	長さ (m) × 本数 (本) =	延長 (m)
P1橋脚	0.3 × 1 =	0.30				
合計					1	0.30

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 0.30 \times 0.0008 \times 0.05 = 0.00001 \text{ m}^3$$

(4) ひびわれ注入工集計： エポキシ樹脂1種

・ ひびわれ延長

ひびわれ幅	単位	延長	合計
0.3mm	m	1.10	1.10
0.4mm	m	0.80	0.80
0.8mm	m	0.30	0.30
合計	m		2.20

・ ひびわれ体積 ※. ひびわれ深さは、全て5cmと仮定

ひびわれ幅	単位	体積	合計
0.3mm	m ³	0.00002	0.00002
0.4mm	m ³	0.00002	0.00002
0.8mm	m ³	0.00001	0.00001
合計	m ³		0.00005

1-4. 車道部 P2橋脚（エポキシ樹脂1種）

(1) 0.2 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)
P2橋脚	0.4	×	1	=	0.40	0.6	×	1	=	0.60	1.9	×	1	=	1.90
〃	2.5	×	1	=	2.50										
合計											4			5.40	

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 5.40 \times 0.0002 \times 0.05 = 0.00005 \text{ m}^3$$

(2) 0.3 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)
P2橋脚	0.2	×	1	=	0.20	0.6	×	3	=	1.80					
合計											4			2.00	

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 2.00 \times 0.0003 \times 0.05 = 0.00003 \text{ m}^3$$

(3) 0.5 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)
P2橋脚	0.2	×	1	=	0.20										
合計											1			0.20	

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 0.20 \times 0.0005 \times 0.05 = 0.00001 \text{ m}^3$$

(4) ひびわれ注入工集計： エポキシ樹脂1種

・ ひびわれ延長

ひびわれ幅	単位	延長	合計
0.2mm	m	5.40	5.40
0.3mm	m	2.00	2.00
0.5mm	m	0.20	0.20
合計	m		7.60

・ ひびわれ体積 ※. ひびわれ深さは、全て5cmと仮定

ひびわれ幅	単位	体積	合計
0.2mm	m ³	0.00005	0.00005
0.3mm	m ³	0.00003	0.00003
0.5mm	m ³	0.00001	0.00001
合計	m ³		0.00009

1-5. 歩道部 P2橋脚（エポキシ樹脂1種）

(1) 0.2 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	
	0.4	×	1	=	0.40	0.6	×	1	=	0.60	0.7	×	1	=	0.70	
	1.0	×	2	=	2.00	1.2	×	2	=	2.40	1.5	×	1	=	1.50	
合計											8					7.60

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 7.60 \times 0.0002 \times 0.05 = 0.00008 \text{ m}^3$$

(2) 0.3 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	
	0.7	×	1	=	0.70											
合計											1					0.70

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 0.70 \times 0.0003 \times 0.05 = 0.00001 \text{ m}^3$$

(3) 0.5 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	
	0.3	×	1	=	0.30	0.7	×	1	=	0.70	0.9	×	1	=	0.90	
合計											3					1.90

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 1.90 \times 0.0005 \times 0.05 = 0.00005 \text{ m}^3$$

(4) ひびわれ注入工集計： エポキシ樹脂1種

・ ひびわれ延長

ひびわれ幅	単位	延長	合計
0.2mm	m	7.60	7.60
0.3mm	m	0.70	0.70
0.5mm	m	1.90	1.90
合計	m		10.20

・ ひびわれ体積 ※. ひびわれ深さは、全て5cmと仮定

ひびわれ幅	単位	体積	合計
0.2mm	m ³	0.00008	0.00008
0.3mm	m ³	0.00001	0.00001
0.5mm	m ³	0.00005	0.00005
合計	m ³		0.00014

1-6. 歩道部 A2橋台（エポキシ樹脂3種）

(1) 0.2 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)
A2橋台	0.3	×	2	=	0.60	0.4	×	1	=	0.40					
合計													3		1.00

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 1.00 \times 0.0002 \times 0.05 = 0.00001 \text{ m}^3$$

(2) 0.3 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)
A2橋台	0.5	×	1	=	0.50	0.7	×	1	=	0.70					
合計													2		1.20

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 1.20 \times 0.0003 \times 0.05 = 0.00002 \text{ m}^3$$

(3) 0.5 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)
A2橋台	0.6	×	3	=	1.80										
合計													3		1.80

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 1.80 \times 0.0005 \times 0.05 = 0.00005 \text{ m}^3$$

(4) 0.6 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)
A2橋台	0.3	×	1	=	0.30										
合計													1		0.30

・ ひびわれ体積 深さ 5 cmと仮定

$$V1 = 0.30 \times 0.0006 \times 0.05 = 0.000010 \text{ m}^3$$

(5) ひびわれ注入工集計： エポキシ樹脂3種

・ ひびわれ延長

ひびわれ幅	単位	延長	合計
0.2mm	m	1.00	1.00
0.3mm	m	1.20	1.20
0.5mm	m	1.80	1.80
0.6mm	m	0.30	0.30
合計	m		4.30

・ ひびわれ体積 ※. ひびわれ深さは、全て5cmと仮定

ひびわれ幅	単位	体積	合計
0.2mm	m ³	0.00001	0.00001
0.3mm	m ³	0.00002	0.00002
0.5mm	m ³	0.00005	0.00005
0.6mm	m ³	0.00001	0.00001
合計	m ³		0.00009

2. 下部工 ひびわれ注入工総括表

注入材			A1橋台			P1橋脚		
			車道部	歩道部	小計	車道部	歩道部	小計
エポキシ1種	延長	m	---	---	---	1.30	2.20	3.50
	体積	m ³	---	---	---	0.00001	0.00005	0.00006
エポキシ3種	延長	m	---	3.20	3.20	---	---	---
	体積	m ³	---	0.00005	0.00005	---	---	---

P2橋脚			A2橋台			合計
車道部	歩道部	小計	車道部	歩道部	小計	
7.60	10.20	17.80	---	---	---	21.30
0.00009	0.00014	0.00023	---	---	---	0.00029
---	---	---	---	4.30	4.30	7.50
---	---	---	---	0.00009	0.00009	0.00014

3. 注入材・シール材・注入器 集計

3-1. ひびわれ延長 (エポキシ樹脂 1種)

ひびわれ延長集計表より

$$L = \quad \quad \quad = 21.30 \quad \text{m}$$

3-2. 注入材 (エポキシ樹脂 1種)

注入体積 ひびわれ体積集計表より

$$V = \quad \quad \quad = 0.00029 \quad \text{m}^3$$
$$= 290 \quad \text{cm}^3$$

注入量

エポキシ樹脂の比重は $\gamma=1.15\text{g/cm}^3$ とする

$$W = 1.15 \times \frac{290}{\text{cm}^3} \times 1.4 \quad / \quad 1000 \quad = 0.47 \quad \text{kg}$$

ロス率40%

3-3. シール材 (質量1.7(1700kg/m³))

$$A = 21.30 \times 0.03 \quad = 0.64 \quad \text{m}^2$$

ひびわれ延長(m) 幅(m)

$$= 0.64 \times 0.002 \times 1700 \times 1.37 \quad = 2.99 \quad \text{kg}$$

(m²) 厚さ(m)

3-4. 注入器

設置間隔は250mmとする

$$N = 21.30 \quad / \quad 0.25 \quad = 85 \quad \text{個}$$

3-5. ひびわれ延長 (エポキシ樹脂 3種)

ひびわれ延長集計表より

$$L = \quad \quad \quad = 7.50 \quad \text{m}$$

3-6. 注入材 (エポキシ樹脂 3種)

注入体積 ひびわれ体積集計表より

$$V = \quad \quad \quad = 0.00014 \quad \text{m}^3$$
$$= 140 \quad \text{cm}^3$$

注入量

エポキシ樹脂の比重は $\gamma=1.15\text{g/cm}^3$ とする

$$W = 1.15 \times \frac{140}{\text{cm}^3} \times 1.4 \quad / \quad 1000 \quad = 0.23 \quad \text{kg}$$

ロス率40%

3-7. シール材 (質量1.7(1700kg/m³))

$$A = 7.50 \times 0.03 \quad = 0.23 \quad \text{m}^2$$

ひびわれ延長(m) 幅(m)

$$= 0.23 \times 0.002 \times 1700 \times 1.37 \quad = 1.08 \quad \text{kg}$$

(m²) 厚さ(m)

3-8. 注入器

設置間隔は250mmとする

$$N = 7.50 \quad / \quad 0.25 \quad = 29 \quad \text{個}$$

§ 6. ひびわれ充填工

1. 下部工(歩道部)

1-1. 歩道部 A1橋台(可とうエポキシ樹脂)

(1) 1.0 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)
A1橋台	0.1	×	1	=	0.10	0.2	×	1	=	0.20	0.4	×	1	=	0.40
〃	0.6	×	2	=	1.20										
合計													5		1.90

・ 充填体積 幅1cm、深さ1cmと仮定

$$V1 = 1.90 \times 0.01 \times 0.01 = 0.00019 \text{ m}^3$$

(2) 2.0 mm

・ ひびわれ延長

損傷箇所	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)	長さ (m)	×	本数 (本)	=	延長 (m)
A1橋台	0.5	×	2	=	1.00										
合計													2		1.00

・ 充填体積 幅1cm、深さ1cmと仮定

$$V1 = 1.00 \times 0.01 \times 0.01 = 0.00010 \text{ m}^3$$

(3) ひびわれ充填工集計: 可とうエポキシ樹脂

・ ひびわれ延長

ひびわれ幅	単位	延長	合計
1.0mm	m	1.90	1.90
2.0mm	m	1.00	1.00
合計	m		2.90

・ 充填体積

ひびわれ幅	単位	体積	合計
1.0mm	m ³	0.00019	0.00019
2.0mm	m ³	0.00010	0.00010
合計	m ³		0.00029

2. 下部工 ひびわれ充填工総括表

注入材			A1橋台		
			車道部	歩道部	小計
可とう エポキシ樹脂	延長	m	---	2.90	2.90
	体積	m ³	---	0.00029	0.00029

可とう性エポキシ樹脂 ※単位重量及びロス率は「エパーボンドEP-600 (ダイフレックス)」を参考とする

$$\gamma = 1.30 \text{ (仮定)}$$

$$w1 = 0.00029 \times 1300 = 0.38 \text{ kg}$$

$$w2 = 0.38 \times 0.20 \text{ (ロス率20\%)} = 0.08 \text{ kg}$$

$$\text{(ロス率含む) } \Sigma W = 0.46 \text{ kg}$$

§ 8. 維持塗装工

1. 維持塗装工 (Rc - I 系)

1-1. 歩道部 鋼桁

箇所	形状	計算式			Net	面数	個数	面積 (m ²)	備考
		塗装面積 (m ² /kg)	× 単位重量 (kg/m)	× 長さ (m)					
主桁									
H-600x300x12x20	H	0.0159	× 147.0	× 20.350		1	6	285.38	
''		-0.300	× 20.350			1	6	-36.63	控除(床版面)
''		-0.300	× 0.600			1	12	-2.16	控除(支承)
横桁	PL								
PL 350x735x6		0.350	× 0.735			2	15	7.72	
垂直補鋼材	PL								
PL 60x548x6		0.060	× 0.548			2	42	2.76	
''									
支承	PL								
PL 600x600x50		0.600	× 0.600			1	12	4.32	
		0.600	× 0.050	× 4		1	12	1.44	
		-0.300	× 0.600			1	12	-2.16	控除(重なり部)
小計						Σ	=	260.67	m ²

1-2. 車道部 ポステン部鋼製支承

・ 430x130x60

側面1 a1= 0.130 × 0.060 × 2 面 × 60 個 = 0.936 m²

側面2 a2= 0.430 × 0.060 × 2 面 × 60 個 = 3.096 ''

下沓平面 a2= 0.430 × 0.060 × 2 面 × 60 個 = 3.096 ''

Σ a = 7.13 m²

1-3. 維持塗装工集計表 : Rc - I 系

仕様	単位	車道部	歩道部	合計
		ポステン支承	鋼桁	
素地調整 (塗膜剥離剤+1種ケレン相当)	m ²	7.13	260.67	267.80
有機ジンクリッチペイント下塗 (600g/m ²)	m ²	7.13	260.67	267.80
弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗 (240g/m ²)	m ²	7.13	260.67	267.80
弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗 (240g/m ²)	m ²	7.13	260.67	267.80
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (170g/m ²)	m ²	7.13	260.67	267.80
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗 (140g/m ²)	m ²	7.13	260.67	267.80

§ 9. 仮設工

1. 維持塗装用 吊足場

1-1. 吊足場 高さ $h < 1.5\text{m}$ 板張り防護、シート防護

A1橋台	a1=	8.783	×	1.500		=	13.17	m ²		
P1橋脚	a2=	8.783	×	1.500	×	2	=	26.35	''	
P2橋脚	a3=	8.783	×	1.500	×	2	=	26.35	''	
A2橋台	a4=	8.783	×	1.500		=	13.17	''		
							Σ A	=	79.04	m ²

1-2. 吊足場 高さ $h < 1.5\text{m}$ 板張り防護、シート防護、朝顔（片面）

A1-P1	a5=	CAD計測				=	29.54	''		
P1-P2	a6=	20.350	×	1.170		=	23.81	''		
P2-A2	a7=	CAD計測				=	29.67	''		
							Σ A	=	83.02	m ²

2. 補修用足場 単管足場

2-1. 上部工補修足場 (P2-A2径間)

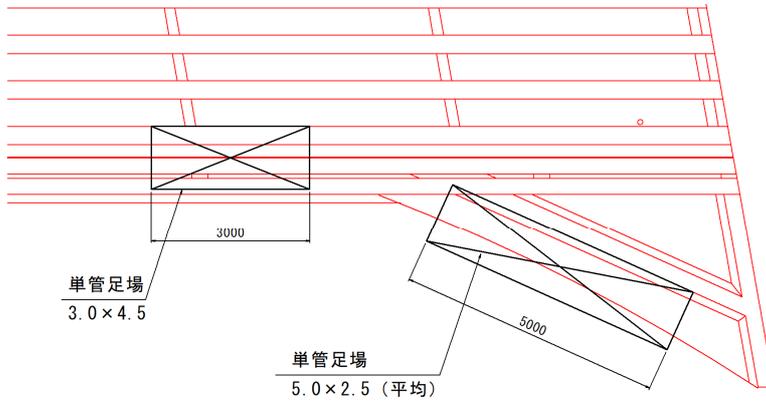
$$\begin{array}{l} \text{高さ} \quad \quad \quad \text{幅} \\ a1 = 4.500 \quad \times \quad 3.000 \end{array}$$

$$= 13.50 \text{ 掛m}^2$$

$$\begin{array}{l} \text{高さ (平均)} \quad \quad \quad \text{幅} \\ a2 = 2.500 \quad \times \quad 5.000 \end{array}$$

$$= 12.50 \text{ ''}$$

$$\Sigma A = 26.00 \text{ 掛m}^2$$

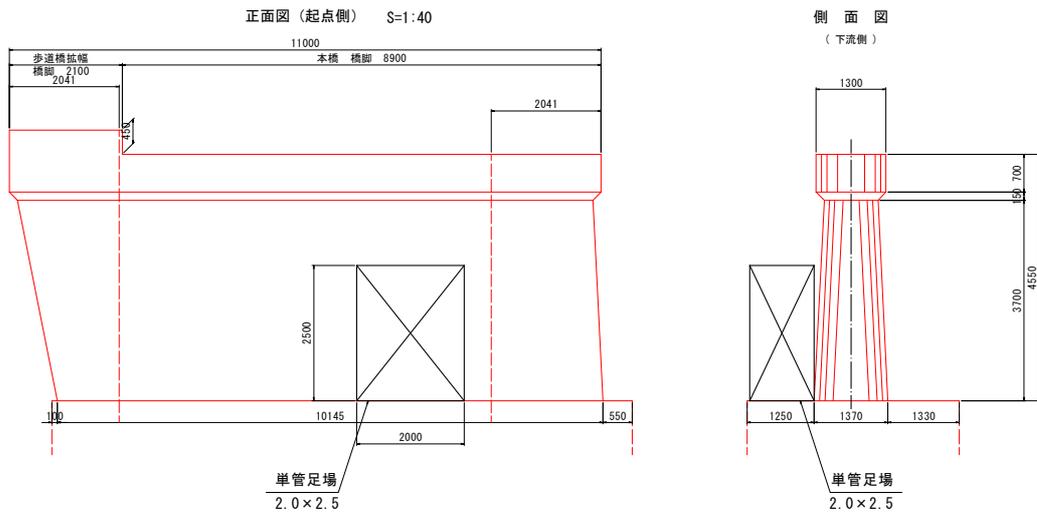


2-2. P1橋脚補修足場

$$\begin{array}{l} \text{高さ} \quad \quad \quad \text{幅} \\ \text{正面} \quad a1 = 2.500 \quad \times \quad 2.000 \end{array}$$

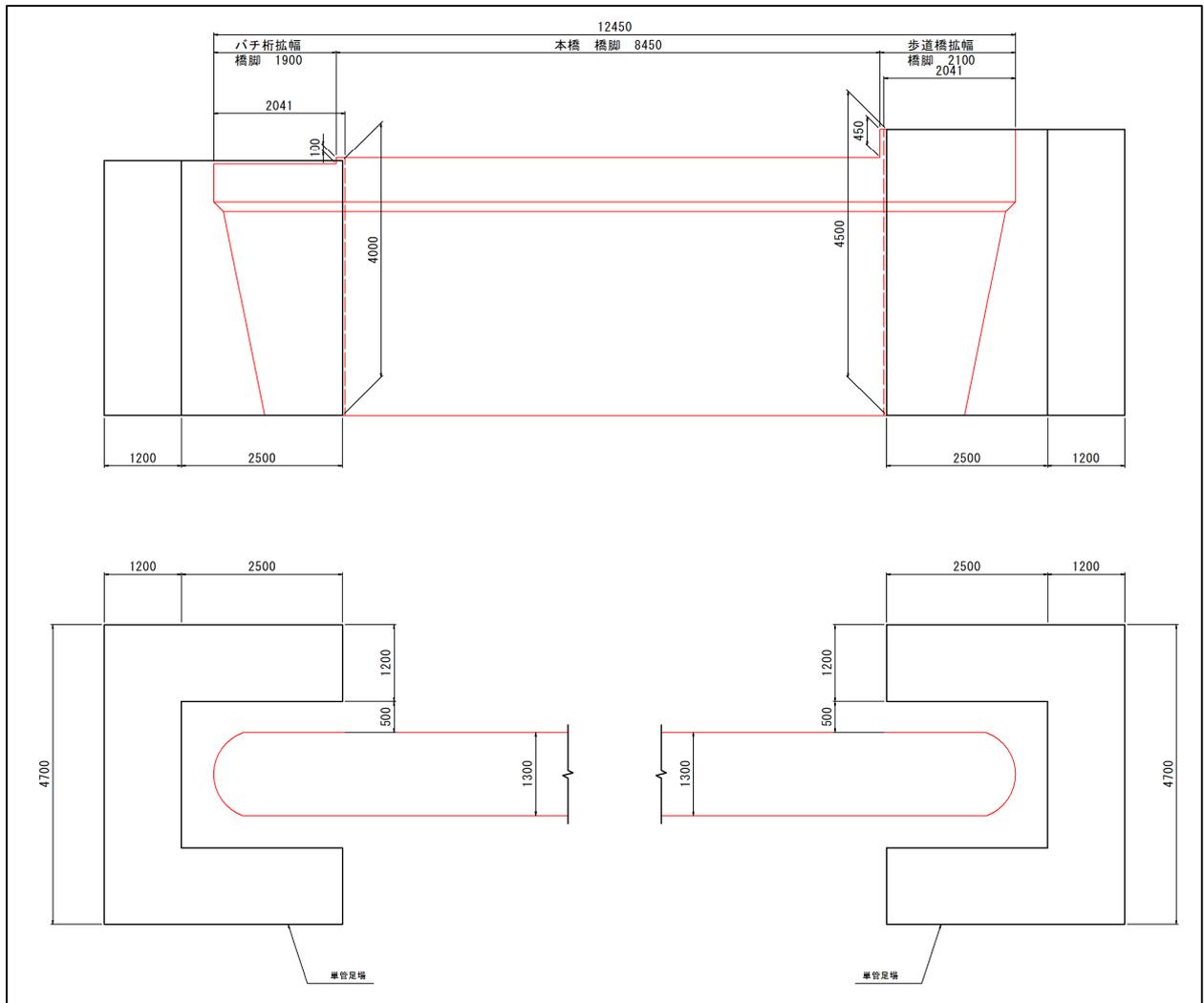
$$= 5.00 \text{ ''}$$

$$\Sigma A = 5.00 \text{ 掛m}^2$$



2-3. P2橋脚補修足場

		高さ		幅		
バチ桁側	a1=	4.000	×	(4.700 + 2.500 × 2)	=	38.80 掛m ²
		高さ		幅		
歩道部側	a2=	4.500	×	(4.700 + 2.500 × 2)	=	43.65 //
					$\Sigma A =$	82.45 掛m ²



3. 足場工 数量総括表

足場工		単位	維持塗装足場	補修用足場			
				上部工補修足場	下部工補修足場		
				P2-A2径間	P1橋脚	P2橋脚	小計
吊足場		m ²	79.04	---	---	---	---
	高さ h<1.5m	m ²	83.02	---	---	---	---
単管足場	高さ h≥2.0m	掛m ²	---	26.00	5.00	82.45	113.45

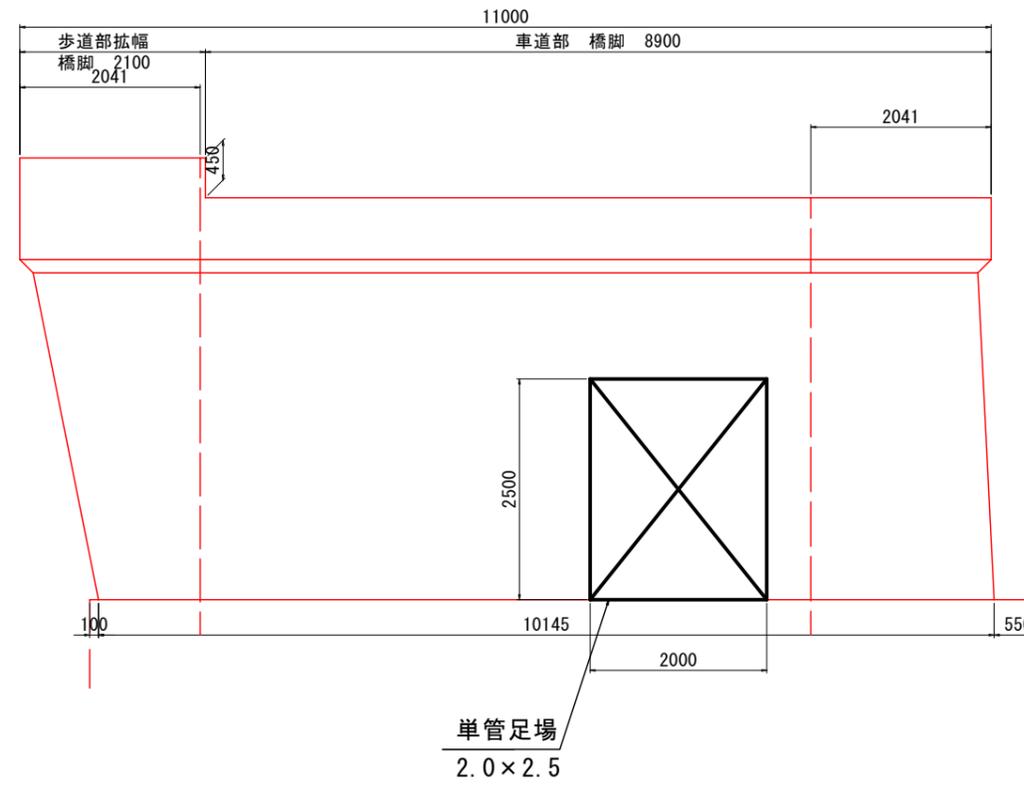
図面番号	26 / 29	縮尺	1:40
工種	橋梁修繕工事		
種別	足場計画図(その1)	番号	1 / 3
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 足場計画図(その1) S=1:40

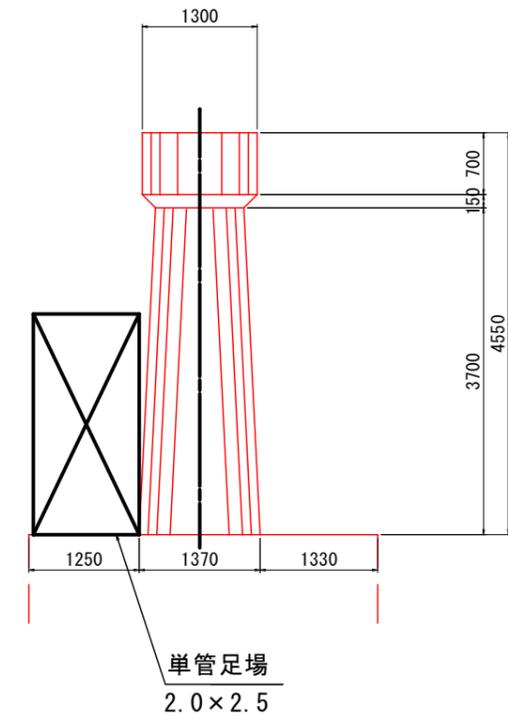
参考図

(P1橋脚 足場図)

正面図(起点側) S=1:40



側面図
(下流側)

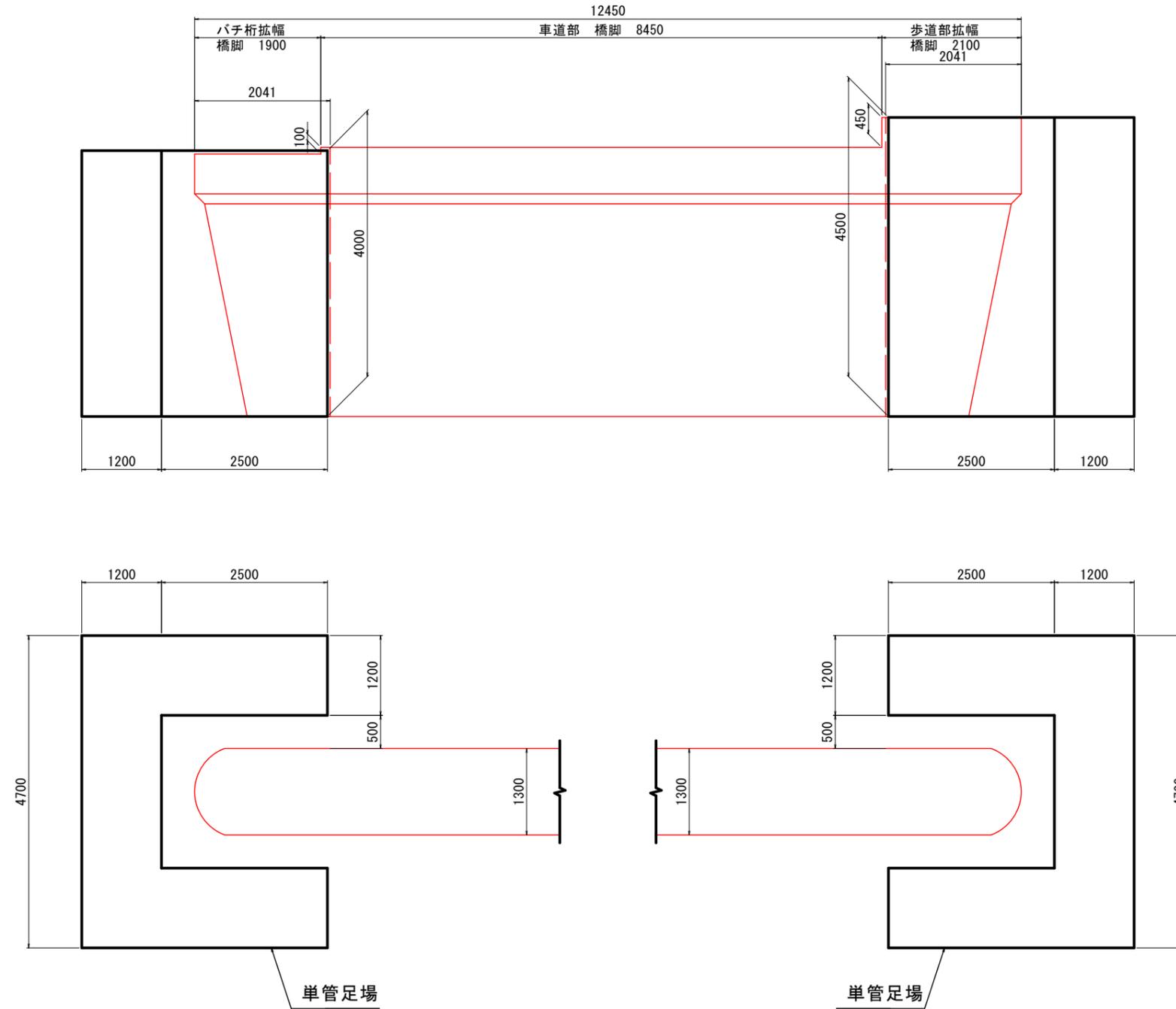


図面番号	27 / 29	縮尺	1:40
工種	橋梁修繕工事		
種別	足場計画図(その2)	番号	2 / 3
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 足場計画図(その2) S=1:40
参考図

(P2橋脚 足場図)

正面図(終点側) S=1:40



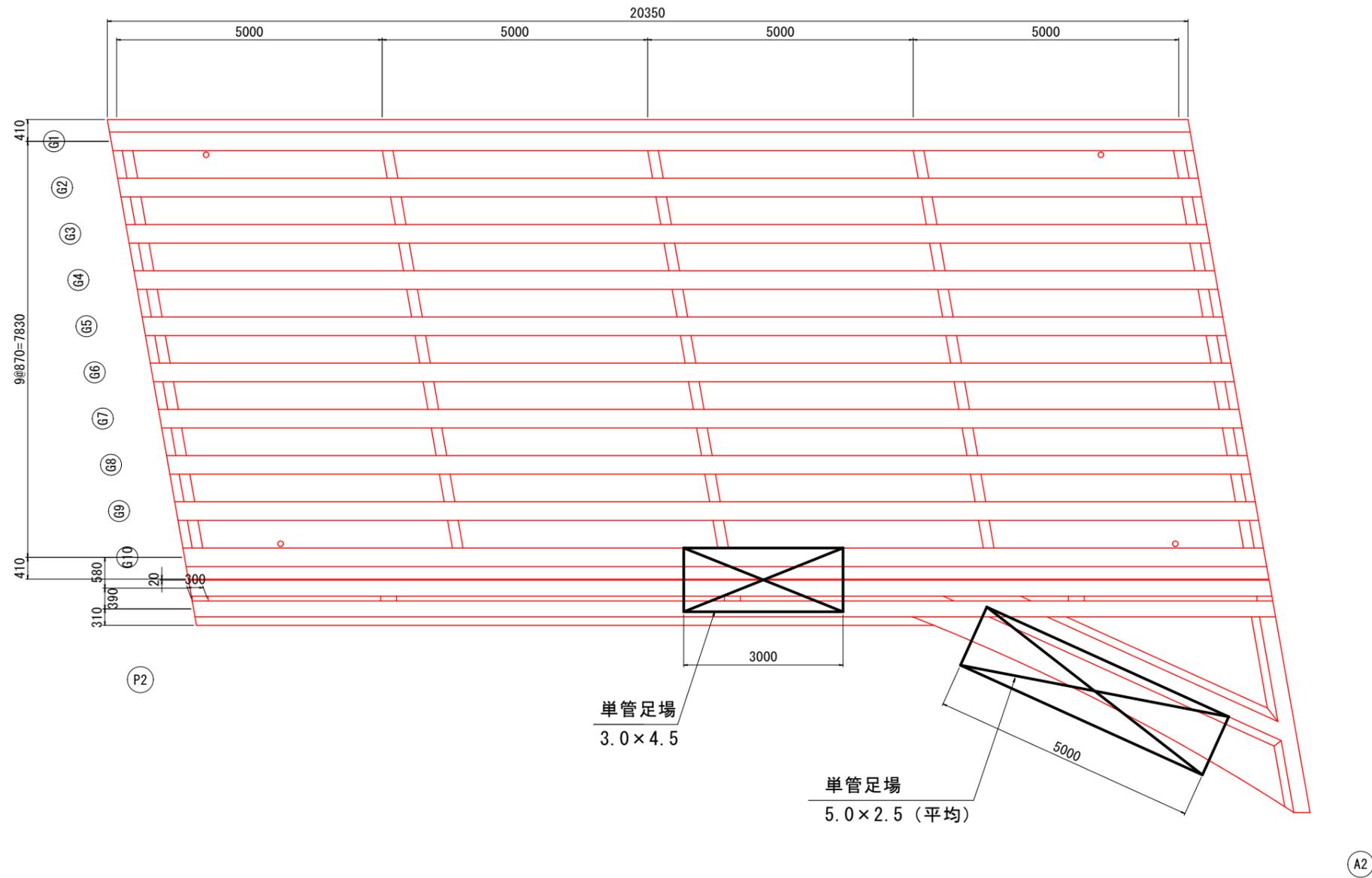
図面番号	28 / 29	縮尺	1:50
工種	橋梁修繕工事		
種別	足場計画図(その3)	番号	3 / 3
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 足場計画図(その3) S=1:50

参考図

(P2-A2径間 足場図)

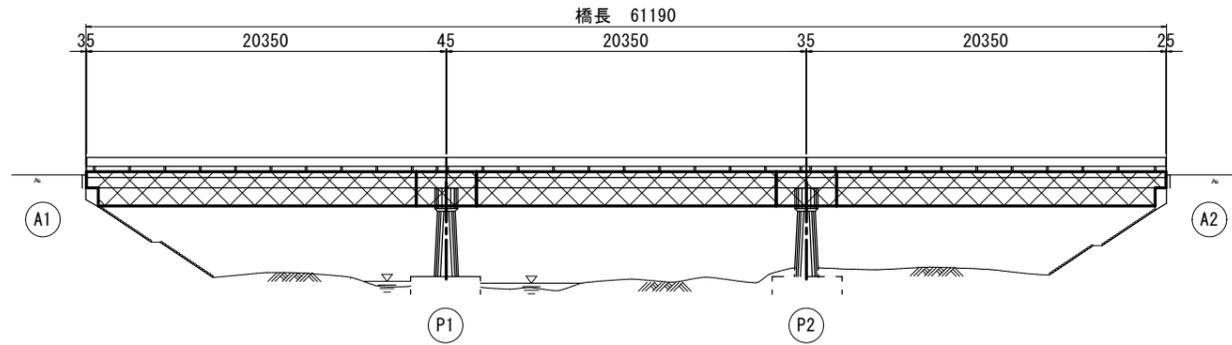
平面図 S=1:50



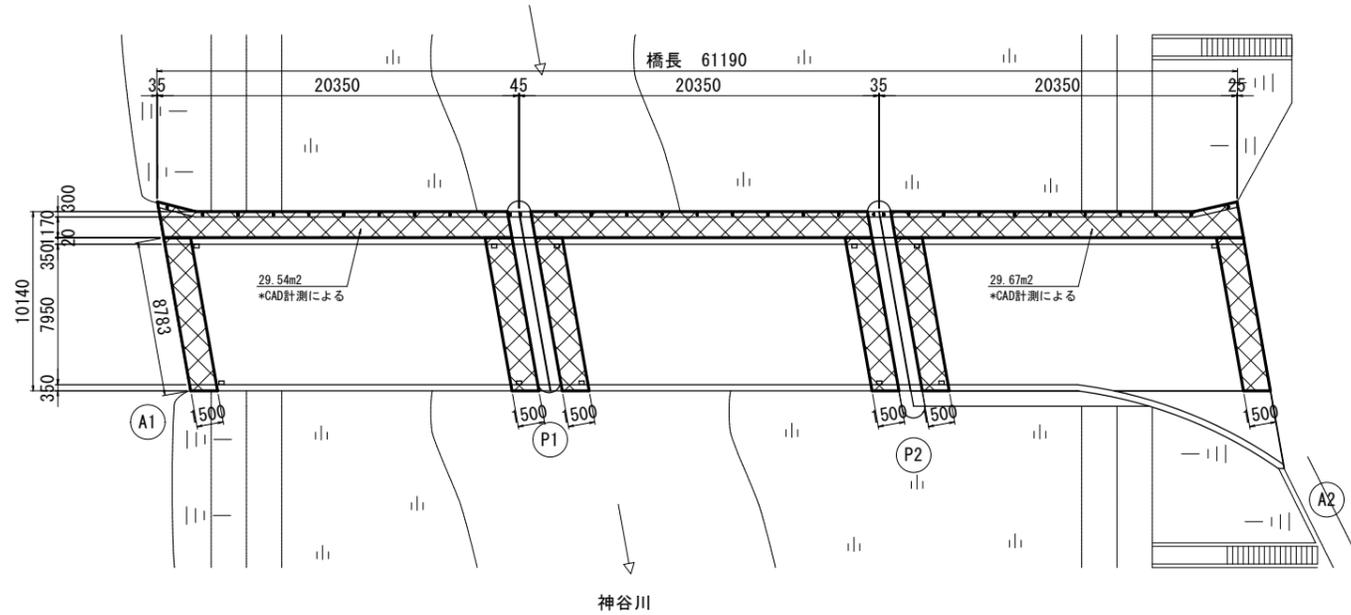
図面番号	29 / 29	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	仮設計画図	番号	1 / 1
路線名	神谷川橋		
工事箇所	福山市新市町地内		
福山市			

神谷川橋 仮設計画図 (その4) 参考図

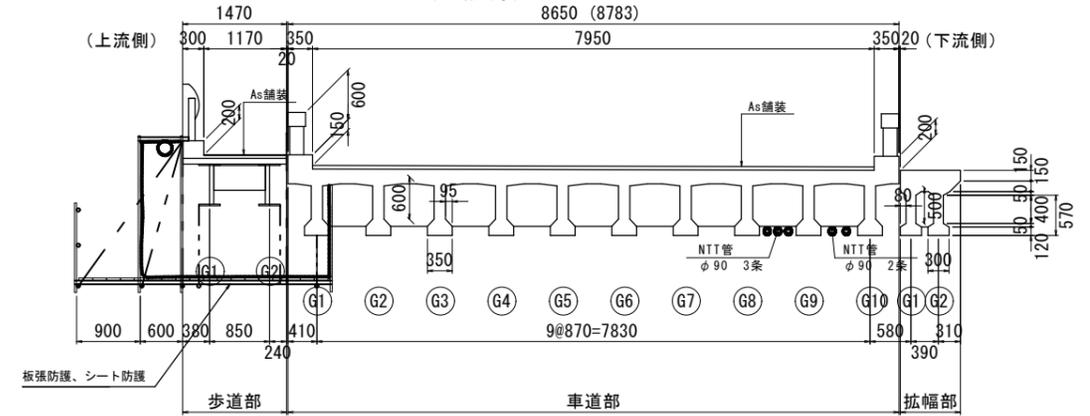
側面図 S=1:200



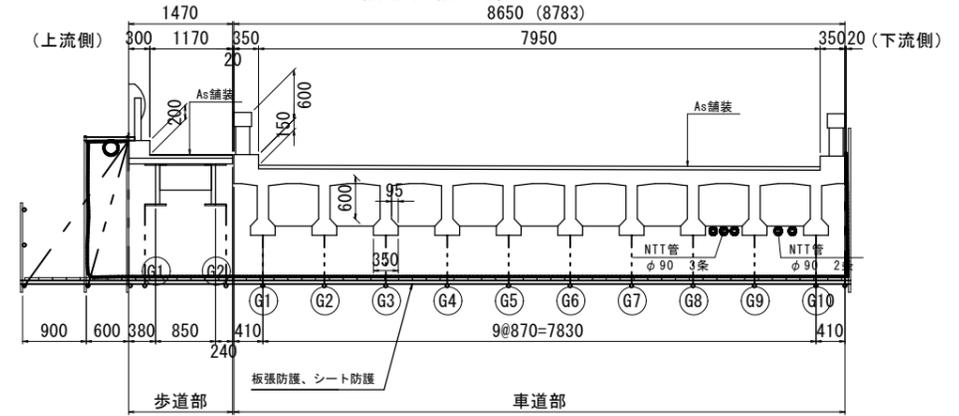
平面図 S=1:200



断面図 吊足場 S=1:50
(一般部)

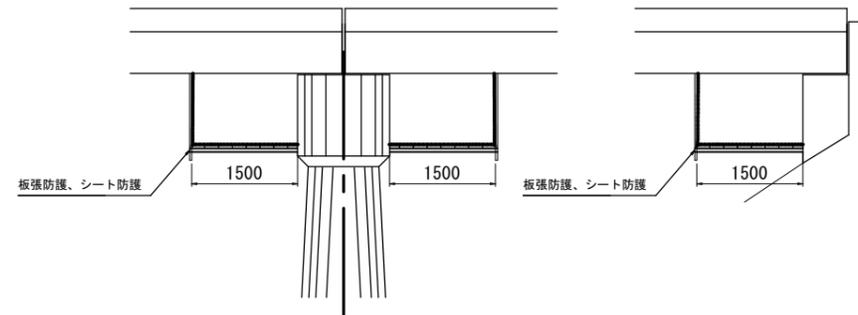


断面図 吊足場 S=1:50
(橋台、橋脚部)



橋脚部

橋台部



注) 本図面は、テープやコンベックスを用いて現地調査を行い作成したものである。
 本図面は、縦断勾配、横断勾配を考慮していない。